



UPSS

ONLINE UPS

UPSS-A3

無停電電源装置

L C D パネル

操作説明書

はじめに

このたびは、当社製品＜Uninterruptible Power Supply 無停電電源装置 UPSS-A3（以下UPSという）＞をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この操作説明書には、LCDパネルのメニュー、機能と操作方法について記載されています。

LCDパネルの操作をする前に必ずこのLCDパネル操作説明書をお読みください。UPSの設置、操作についてはUPSS-A3の取扱説明書をご覧ください。お読みになった後は、UPSS-A3取扱説明書と一っしょにいつでもご覧になれる場所に保管してください。

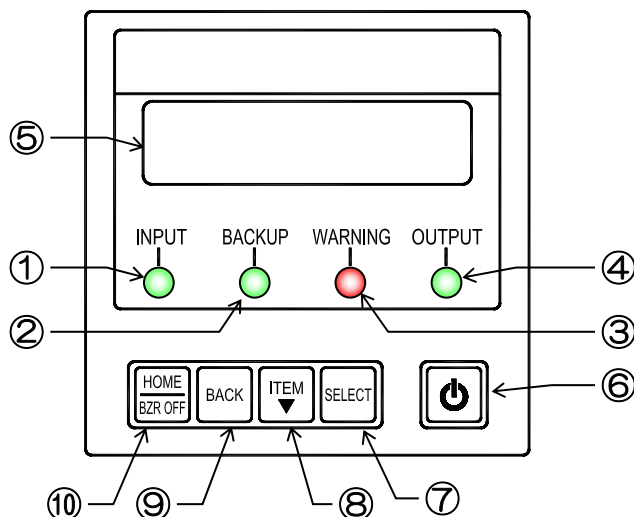
目次

1. LCDパネルの名称と機能.....	1
1.1 LCDパネルの各部の名称	1
1.2 ホームメニューの機能	2
1.3 LCDパネルの操作方法	3
2. UPS の状態を見る	5
2.1 UPSの運転状態を見る	5
2.2 UPSの出力コンセントの状態を見る	7
2.3 UPSの計測情報を見る	8
3. UPSの設定をする	9
3.1 電圧を設定する	11
3.2 周波数変動範囲を設定する	12
3.3 インタフェースを設定する	13
3.4 通信ポーレートを設定する	14
3.5 使用する PC I/F コネクタを設定する	15
3.6 復電時の動作を設定する	16
3.7 ブザー音が鳴る条件を設定する	17
3.8 過負荷時の動作を設定する	18
3.9  OFF 時の UPS 給電状態を設定する	19
3.10 入力異常時のバイパス給電切り換え 有効／無効 を設定する	20
3.11 軽故障時に転送信号を送出するか設定する	21
3.12 試験用の「装置異常」転送信号を送出する	22
3.13 試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号を送出する	23
3.14 バッテリー起動時の出力周波数を設定する	24
3.15 バッテリー電圧低下警告発生のタイミングを設定する	25
3.16 バッテリーテストの実行時間を設定する	26
3.17 バッテリーテストのスケジュールを設定する	27
3.18 系統コントロールの 有効／無効 を設定する	28
3.19 OUTPUT0 コンセントの動作を設定する	29
3.20 OUTPUT1 コンセントの「ON」遅延時間を設定する	30
3.21 OUTPUT2 コンセントの「ON」遅延時間を設定する	31
3.22 OUTPUT1 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する	32
3.23 OUTPUT2 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する	33
3.24 OUTPUT1 コンセントの停電時出力時間を設定する	34
3.25 OUTPUT2 コンセントの停電時出力時間を設定する	35
3.26 連動運転時の「ON」遅延時間を設定する	36
3.27 連動運転時の「OFF」遅延時間を設定する	37

3.28 R I N G信号の設定をする.....	38
3.29 PC I/F RS-232C の停電信号の極性を設定する.....	39
3.30 PC I/F RS-232C のバッテリー電圧低下信号の極性を設定する.....	40
3.31 復電確認時間を設定する.....	41
3.32 エアフィルタを使用 する／しない を設定する	42
3.33 出力電圧の調整値を設定する	43
3.34 時刻を設定する	44
3.35 設定値をリセットする.....	45
3.36 UPSを再起動する	46
4. UPSの操作をする.....	47
4.1 UPSを起動する または 停止する.....	48
4.2 バッテリテストをする.....	49
4.3 バッテリテストの結果を見る	51
4.4 バイパス運転に切り換える.....	52
5. メンテナンスメニュー（サービス員用）	53
6. メニュー一覧.....	54
7. 状態表示説明.....	59
8. 計測情報表示について	60

1. LCDパネルの名称と機能

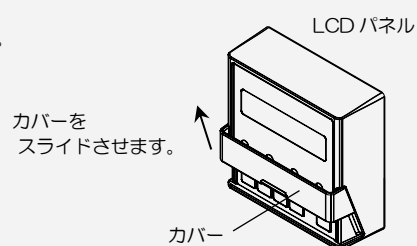
1.1 LCDパネルの各部の名称



番号	名称	表示	色	機能
①	入力 LED	INPUT	緑	点灯 入力電源が正常な場合
				点滅 入力電源が異常な場合
②	バックアップ LED	BACKUP	緑	点灯 バッテリ運転中
③	警告 LED	WARNING	赤	点灯 注意・警告情報または故障発生時、バッテリー運転放電終止
④	出力 LED	OUTPUT	緑	点灯 インバータ運転による給電中
				点滅 バイパス運転による給電中
⑤	LCD 画面	—	—	UPS の状態情報、計測値、保守支援情報、各種設定値、操作などを表示
⑥	ON/OFF ボタン		—	インバータ運転の起動・停止操作
⑦	SELECT キー	SELECT	—	LCD 表示項目・内容の選択・決定
⑧	ITEM キー	ITEM ▼	—	LCD 表示項目・内容の切り換え
⑨	BACK キー	BACK	—	選択の取り消し、LCD 表示（メニュー）階層を戻す
⑩	HOME キー	HOME BZR OFF	—	LCD 表示（メニュー）階層をホームメニューに戻す ブザー鳴動中、ブザー音の停止

LCDパネルについて

- LED の図表示について
LED は、操作説明書の中で【INPUT(緑)】、【WARNING(赤)】のように表示されています。
- LCD パネル操作部のカバーについて
ON/OFF ボタン、キーを操作するときは、カバーを上のスライドさせます。
操作後は、誤操作防止のため、もとに戻してください。



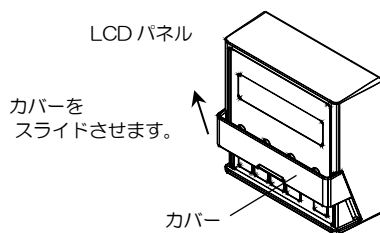
1.2 ホームメニューの機能

LCDパネルには、下記の6つのホームメニューがあります。それぞれのメニューの機能により、設定グループ、設定項目などがあります。表示文字の内容、設定方法の詳細は、それぞれのページをご覧ください。表示項目、設定項目の一覧は「6.メニュー一覧」をご覧ください。

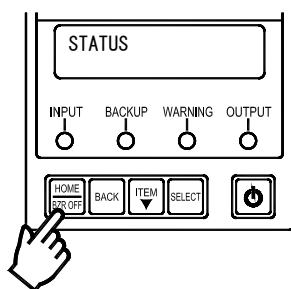
ホームメニュー	機能	詳細
STATUS 5ページ参照	ステータス／状態表示 UPSの状態が表示されます。	状態表示項目： 装置の運転モード、 交流入力、交流出力、バッテリー状態、 装置内部の異常、負荷率 など
OUTPUT STATUS 7ページ参照	アウトプット ステータス／出力状態 UPSの出力の状態が表示されます。	表示項目： 出力コンセント 0, A, B, C の 給電 ON/OFF 状態 出力コンセント 1 給電 ON/OFF 状態 出力コンセント 2 給電 ON/OFF 状態
MEASUREMENT 8ページ参照	メジャーメント／計測表示 UPSの計測値が表示されます。	計測表示項目： 入力（電圧、周波数） 出力（電圧、電流、電力、負荷率、周波数） バッテリー（電圧、充電率、運転時間、バッテリー放電時間、 寿命、停電発生回数） 充電電力（電圧、電流） 温度（装置周囲）
SETTING 9～45ページ参照	セッティング／設定 UPSの各種設定をします。	設定項目： 入出力：電圧、周波数 インタフェース：インタフェース、通信ボーレート 動作：起動動作、ブザー音、過負荷時の動作、 出力停止時の動作、入力異常時の動作、 軽故障信号の設定、疑似転送信号の送出、 バッテリー起動時周波数 バッテリー：バッテリー電圧低下警告タイミグ バッテリーテスト時間、テスト周期 機能1：系統コントロール、連動運転 機能2：RING 信号、PC I/F 信号極性、復電確認時間、 エアフィルタ使用時の設定、出力電圧調整 システム：時刻
CONTROL 47～52ページ参照	コントロール／操作 UPSの操作をします。	操作項目： UPSの起動／停止 バッテリーテスト、テスト結果表示 バイパス運転切り換え
MAINTENANCE 保守説明書（サービス員用）	メンテナンス／保守 サービス員用のメニューです。 保守用の情報表示、または 設定をします。 お客様は操作をしないでください。 操作方法はサービス員用の保守 説明書に記載されています。	表示項目： 故障履歴表示、操作履歴表示、バッテリー情報、 UPS運転状態、UPS計測値 設定項目： バッテリーバックアップ時間、バッテリー寿命

1.3 LCDパネルの操作方法

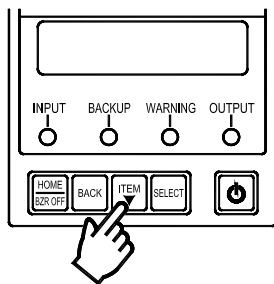
- ① カバーを上へスライドさせます。



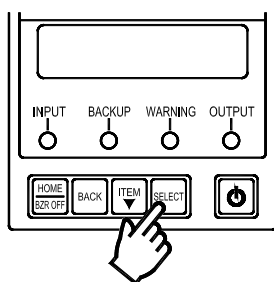
- ②  を押して LCD 画面を表示させます。



- ③  を押して画面を切り換えます。



- ④  を押して項目を決定します。



- ⑤  を押してホームメニューに戻り、カバーをもとの位置に戻します。

ご注意

- UPSのブザーが鳴っているときに、 を押した場合は、ブザー音が停止します。1回押してブザー音が停止しない場合は、ブザー音が停止するまで、複数回押してください。ブザーが鳴っていない状態で  を押さないとLCD画面にメニューは表示されません。
- LCD画面は、10分以上操作をしないとパネルのライトが消灯します。約30秒後にスクリーンセーバーとして、UPS運転モード、入出力電力の計測値情報などがランダムに表示されます。いずれかのキーを押すとホームメニューの「STATUS」が表示されます。
- 実際にLCD画面に表示される文字は、操作説明書に記載されている文字列、配置と異なる場合があります。

手順③と手順④を繰り返して表示または設定をします。

メニューはすべて下図のような階層で構成されています。

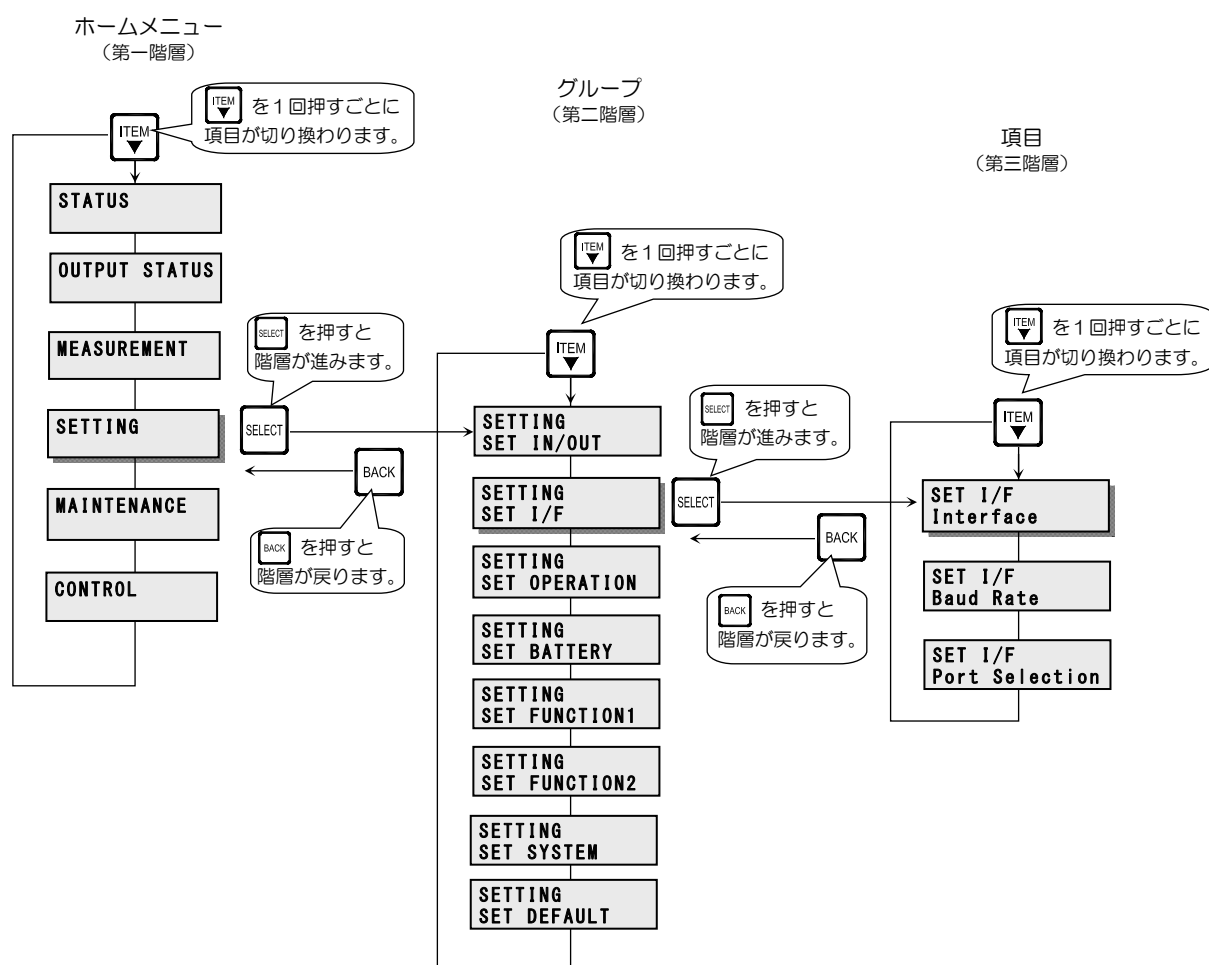
 を押すと階層が進み、 を押すと階層が戻ります。

それぞれの階層に項目があり、 を1回押すごとに項目が切り換わり巡回します。

画面に表示されている項目で、 を押すと、項目が決定され階層が進みます。

階層、項目の数はメニューにより異なりますが、操作方法は同様です。

例：「SETTING」画面で  を押して、SETTING メニューの項目から、インタフェース設定へ進む場合。



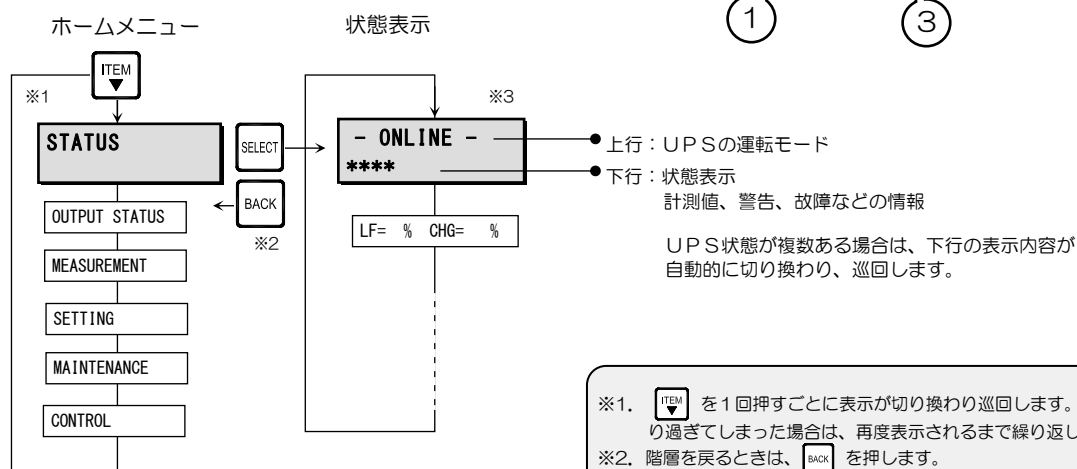
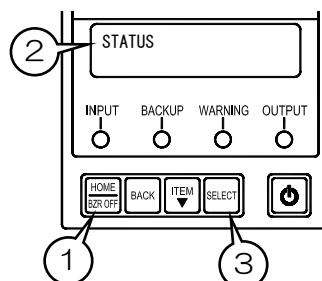
メニューの内容、選択画面の詳細などは各項目のページをご覧ください。

2. UPSの状態を見る

2.1 UPSの運転状態を見る

現在のUPSの運転状態を見ることができます。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② 「STATUS」が表示されていることを確認します。
- ③ **SELECT** を押して状態を表示させます。



ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

表示される状態表示は次ページの表のとおりです。

- ④ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

UPSの状態表示の一覧は下表のとおりです。
UPSの状態により、画面上行にいずれかのUPS運転モード、下行にいずれかの状態が表示されます。
表示された状態の詳細、対応方法は「7. 状態表示説明」をご覧ください。

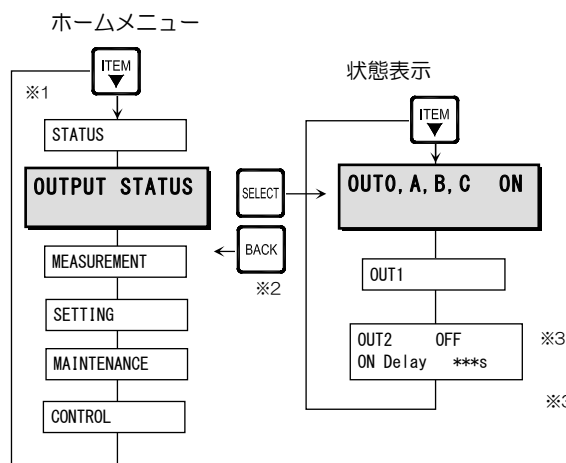
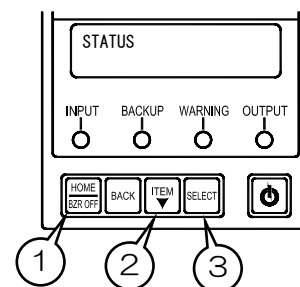
UPS運転モード（上行）		状態表示（下行）			
表示	内容	表示	内容	表示	内容
STANDBY	待機中	Input Error	入力異常	Batt Life End	バッテリー寿命
ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	Batt Life Warn	バッテリー寿命警告
BYPASS	バイパス運転中	Input Vol High	入力過電圧	Batt Vol Error	バッテリー電圧異常（軽故障）
BATTERY	バッテリー運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	Batt Vol End	バッテリー放電終止
BATT TEST	バッテリーテスト中	INV Vol High	インバータ過電圧（重故障）	Batt Vol Low	バッテリー電圧低下
SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Low	インバータ電圧低下（重故障）	Over Load	過負荷
		Output Stop (HV)	バイパス出力断（過電圧）	CHG Vol High	充電器過電圧（重故障）
		Output Stop (LV)	バイパス出力断（不足電圧）	CHG Vol Low	充電器不足電圧（重故障）
		Byp MCCB Error	バイパスブレーカ異常（軽故障）	Temp Warn	周囲温度警告（軽故障）
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	FAN Error	ファン異常（軽故障）
		Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	EEPROM Error	ROM 異常（重故障）
		LF= % CHG= % ※1	負荷率 %、バッテリー充電率 %	Arrestor Error	避雷器異常 ※2（軽故障）
		LF= % Tim= m ※1	負荷率 %、バッテリー残保持時間 分	LCD COM Error	UPSとLCDパネルの通信異常（軽故障）
		Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	DSP Error	コントローラ異常（重故障）
		Remote	遠隔操作によるバッテリーテスト実行中	BUS Error	直流電圧異常（重故障）
		Remote OFF	Remote OFF による停止中	Fin Temp Error	フィン温度異常（重故障）
		EPO ON	EPO による停止中	Minor Error	軽故障
		Wakeup Wait	復電時確認時限中	Fatal Error	重故障
		ChgRate Wait	充電率起動待ち中	Linked ON = s	連動 ON 遅延中
		Wakeup = s	スケジュール起動遅延中	Linked OFF= s	連動 OFF 遅延中
		Shutdown= s	スケジュール停止遅延中	Req To Restart	再起動要

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。
※2. UPSS-10A3, 15A3 の場合は表示されません。

2.2 UPSの出力コンセントの状態を見る

UPSの出力コンセント、出力端子台の電力供給状態を見ることができます。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して状態を表示させます。



ポイント

※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。

※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。

※3. システムコントロール運転の ON/OFF 遅延時間が設定されている場合は図のように表示されます。

出力の状態により、下表のいずれかの状態が表示されます。
UPSのモデルにより出力端子の形状（出力コンセントまたは端子台）、表示は異なります。
ご使用のUPS背面を確認してください。

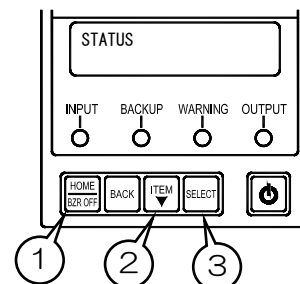
表示	内容
OUTPUT0, A, B, C ON	OUTPUT0,A,B,C コンセントから電力が供給されています。
OFF	OUTPUT0,A,B,C コンセントの電力供給は停止しています。
OUTPUT1 ON	OUTPUT1 コンセントから電力が供給されています。
OFF	OUTPUT1 コンセントからの電力供給は停止しています。
OUTPUT1 ON Delay **s	システムコントロール運転の OFF 遅延時間の設定により、OFF 遅延実行中です。OUTPUT1 コンセントからの電力供給は、**秒後に停止します。停止するまでの秒数がカウントダウン表示されます。
OUTPUT1 OFF Delay **s	システムコントロール運転の ON 遅延時間の設定により、ON 遅延実行中です。OUTPUT1 コンセントからの電力供給は、**秒後に開始します。開始するまでの秒数がカウントダウン表示されます。
OUTPUT2 ON	OUTPUT2 コンセントから電力が供給されています。
OFF	OUTPUT2 コンセントからの電力供給は停止しています。
OUTPUT2 ON Delay **s	システムコントロール運転の OFF 遅延時間の設定により、OFF 遅延実行中です。OUTPUT2 コンセントからの電力供給は、**秒後に停止します。停止するまでの秒数がカウントダウン表示されます。
OUTPUT2 OFF Delay **s	システムコントロール運転の ON 遅延時間の設定により、ON 遅延実行中です。OUTPUT2 コンセントからの電力供給は、**秒後に開始します。開始するまでの秒数がカウントダウン表示されます。

- ④ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

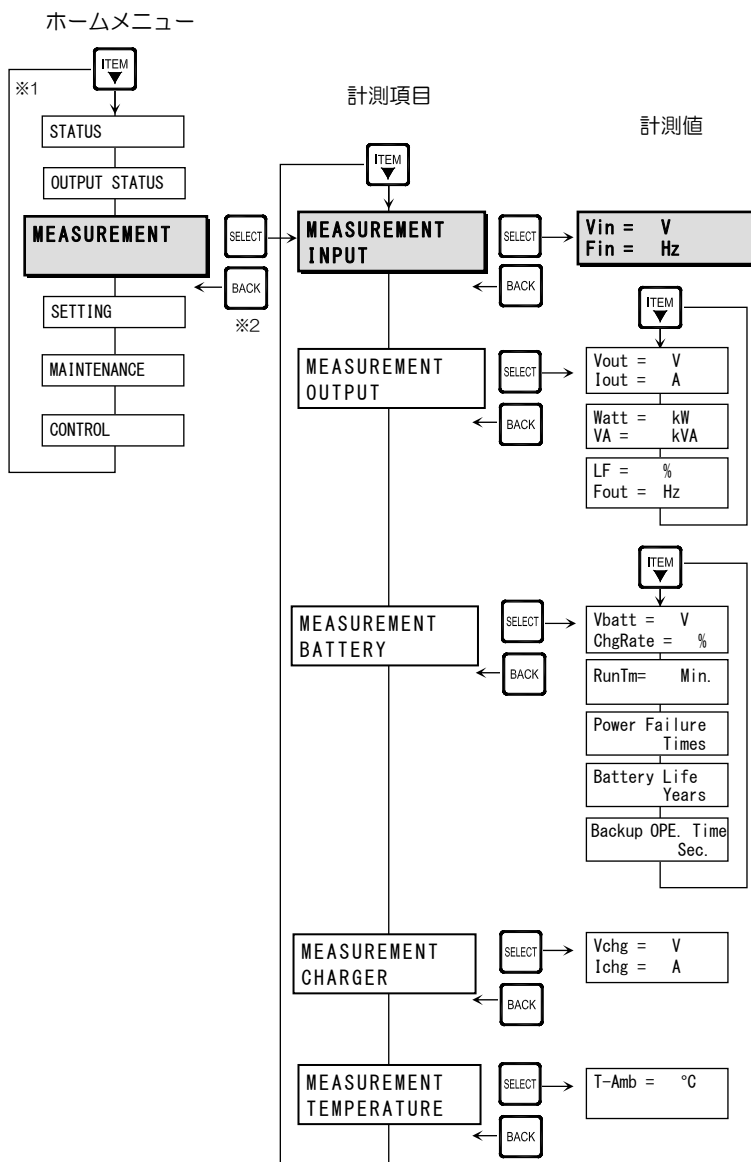
2.3 UPSの計測情報を見る

UPSの各種の計測値を見ることができます。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「計測項目」→「計測値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で計測項目を切り換え、見たい計測値を表示させます。



例：UPSの入力電圧値を見る



ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。

計測項目	計測値	
	計測値表示	内容
INPUT 入力計測値	Vin = V Fin = Hz	入力電圧 入力周波数
OUTPUT 出力計測値	Vout = V Iout = A	出力電圧 出力電流
	Watt = kW	出力電力(W)
	VA = kVA	出力電力(VA)
	LF = %	負荷率
	Fout = Hz	出力周波数
BATTERY バッテリー計測値	Vbatt = V ChgRate = % ※1	バッテリー電圧 バッテリー充電率
	RunTm = Min ※1	バッテリー 残保持時間
	Power Failure Times	停電発生回数
	Battery Life Years ※2	バッテリー残寿命が 1年以上のとき
	Battery Life Days ※2	バッテリー残寿命が 1年未満のとき
	Backup OPE. Time Sec.	バッテリー運転 積算時間
CHARGER 充電器計測値	Vchg = V Ichg = A	充電器電圧 充電器電流
TEMPERATURE 温度計測値	T-Amb = °C	周囲温度

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

※2. バッテリーの残寿命が1年以上の場合は、「**Years」と年数で表示されます。1年未満のときは「**Days」と日数で表示されます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3. UPSの設定をする

設定メニューには、設定項目別に8つの設定グループがあります。工場出荷時は、初期設定欄に「※」印がある設定値に設定されています。ご使用の環境、用途に合わせて設定してください。設定方法、設定値の詳細は、3.1～3.34の各項目をご覧ください。設定を変更した場合は、現在の設定欄にチェックをしておくことをお勧めします。

設定項目一覧表

ホームメニュー：SETTING

設定グループ	設定項目			設定値		初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ
	表示	内容		表示	内容				
SET IN/OUT 入出力設定	Voltage	電圧 ★ *1	UPSの電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	100V	出力電圧100V	※		3.1	11
	FREQ Range	周波数変動範囲 ★ *1	出力周波数の変動範囲(%)を設定。	110V	出力電圧110V				
				120V	出力電圧120V				
				1%	±1%				
				3%	±3%	※		3.2	12
				5%	±5%				
				7%	±7%				
SET I/F インタフェース設定	Interface	インタフェース	外部インタフェース部のコネクタ使用時のインタフェースを設定。	Standalone	スタンドアロン				
				WS	ワークステーション	※		3.3	13
				Terminal	ターミナル				
	Baud Rate	通信ボーレート	パーソナルコンピュータ、LANインタフェースカード、ワークステーション接続時の通信ボーレートを設定。	9600	9600bps	※		3.4	14
				4800	4800bps				
				2400	2400bps				
	Port Selection	PC I/F ポートの選択	使用する PC I/F コネクタを設定。	RS-232C	RS-232C コネクタ	※		3.5	15
				USB	USB コネクタ				
SET OPERATION 動作設定	Start Condition	復電時の動作	停電発生時、バッテリー放電終了によるUPS停止後、商用電源が復電した場合のUPSの動作を設定。	Auto	自動起動	※			
				STOP	停止				
				BATT>30%	充電率30%以上で起動			3.6	16
				BATT>50%	充電率50%以上で起動				
				BATT>80%	充電率80%以上で起動				
	BUZZER	ブザー音	ブザー音が鳴る条件を設定。	ALL	すべて				
				Group #0	グループ0	※		3.7	17
				Group #1	グループ1				
				Group #2	グループ2				
				SILENT	停止				
	OVERLOAD	過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電への切替後の動作を設定。	Auto Ret BYP	バイパスから自動復帰			3.8	18
				Stay on BYP	過負荷時/バイパス給電	※			
	Output @OFF	OFF時給電状態 ★ *1	UPS停止時の給電状態を設定。	OFF	出力停止	※		3.9	19
				BYPASS	バイパス給電				
	Byp OPE. @InputLV	入力異常時のバイパス給電	入力異常時のバイパス給電への切り換え 有効/無効を設定。	Enabled	有効	※		3.10	20
				Disabled	無効				
	MinorErr Signal	軽故障時の転送信号	軽故障発生時に転送信号を送出する/しないを設定。	Output	送出する	※		3.11	21
				None	送出しない				
	Test Err Signal	装置異常の疑似転送信号送出	試験用の装置異常の転送信号を送出する/しないを設定。	Output	送出する			3.12	22
				None	送出しない	※			
	Tst BatLV Signal	バッテリーLVの疑似転送信号送出	試験用のバッテリー電圧低下の転送信号を送出。	Output	送出する			3.13	23
				None	送出しない	※			
	Bat Start Freq.	バッテリー起動時出力周波数	バッテリー電力で起動するときの出力周波数を設定。	50Hz	50Hz	※		3.14	24
				60Hz	60Hz				
SET BATTERY バッテリー設定	BATLV Timing	バッテリーLVタイミング	バッテリー電圧低下警告の発生タイミングを設定。	Voltage	バッテリー電圧レベル検出	※			
				2 Min.	バッテリー容量残り2分			3.15	25
				3 Min.	バッテリー容量残り3分				
				5 Min.	バッテリー容量残り5分				
				10 Min.	バッテリー容量残り10分				
	BATT TST Length	バッテリーテスト時間	バッテリーテストの実行時間を設定。	2 Min.	2分間実行	※			
				5 Min.	5分間実行			3.16	26
				10 Min.	10分間実行				
				15 Min.	15分間実行				
				30 Min.	30分間実行				
				90 Min.	90分間実行				
	BATT TST Period	バッテリーテスト周期	自動的に実施されるバッテリーテストの期間(日数)を設定。	180 Days	180日で自動テスト	※			
				90 Days	90日で自動テスト			3.17	27
				30 Days	30日で自動テスト				
				None	自動テストしない				

設定グループ	設定項目			設定値		初期 設定	現在の 設定	参照 項目	参照 ページ
	表示	内容		表示	内容				
SET FUNCTION1 機能設定 1	Output Ctrl	系統コントロール有無 ★ *1,*2	出力コンセントの系統コントロール有効／無効の設定。	Enabled	有効			3.18	28
	OUTPUT0 OPE.	OUTPUT0の動作	*2 OUTPUT1,2コンセント停止後のOUTPUT0の動作を設定。	Disabled	無効	※		3.19	29
	OUT1 ON Delay	OUTPUT1 ON遅延時間	*2 系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT1コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	Stop	給電停止	※		3.20	30
				Continue	給電継続				
				0 Sec.	0秒				
				5 Sec.	5秒				
				30 Sec.	30秒				
	OUT2 ON Delay	OUTPUT2 ON遅延時間	*2 系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT2コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	1 Min.	1分			3.21	31
				5 Min.	5分				
				10 Min.	10分				
				0 Sec.	0秒	※			
				6 Sec.	6秒				
OUT1 OFF Delay	OUTPUT1 OFF遅延時間	*2 系統コントロール時、UPS停止後、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントから電力供給を停止するタイミングを設定。	35 Sec.	35秒			3.22	32	
			1 Min.30 Sec	1分30秒					
			5 Min.30 Sec	5分30秒					
			10 Min.30 Sec	10分30秒					
			0 Sec.	0秒	※				
OUT2 OFF Delay	OUTPUT2 OFF遅延時間	*2	10 Sec.	10秒			3.23	33	
			30 Sec.	30秒					
			1 Min.	1分					
			3 Min.	3分					
			5 Min.	5分					
OUT1 RUN TIM @PF	OUTPUT1 停電時運転時間	*2 停電発生時、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントがバックアップを開始してから電力供給を停止するまでの時間を設定。	BATT END	放電終止まで	※		3.24	34	
			0 Sec.	0秒					
			30 Sec.	30秒					
			1 Min.	1分					
			3 Min.	3分					
OUT2 RUN TIM @PF	OUTPUT2 停電時運転時間	*2	5 Min.	5分			3.25	35	
			0 Sec.	0秒	※				
			10 Sec.	10秒					
			30 Sec.	30秒					
			1 Min.	1分					
Linked ON Delay	連動ON遅延時間	*3 複数台のUPSを連動運転する場合のON/OFF遅延時間を設定。	3 Min.	3分			3.26	36	
			5 Min.	5分					
			10 Min.	10分					
			15 Min.	15分					
			0 Sec.	0秒	※				
Linked OFF Delay	連動OFF遅延時間	*3	10 Sec.	10秒			3.27	37	
			30 Sec.	30秒					
			1 Min.	1分					
			3 Min.	3分					
			5 Min.	5分					
SET FUNCTION2 機能設定 2	RING Output	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する／しないを設定。	Output	出力する			3.28	38
	Polarity:PF	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性を設定。	None	出力しない	※		3.29	39
				Positive	正	※			
	Polarity:BatLV	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性を設定。	Negative	負			3.30	40
				Positive	正	※			
	Recov. Chk Time	復電時確認時間	復電時、商用電源が復旧したとUPSが認識するまでの時間を設定。	Negative	負	※		3.31	41
				0 Sec.	0秒				
				10 Sec.	10秒				
				30 Sec.	30秒				
	Air Filter	エアフィルタ使用の有無	エアフィルタを使用する／しないを設定。	60 Sec.	60秒			3.32	42
				Use	使用する	※			
	Out Vol Adj.	出力電圧調整	定格電圧に対する調整値を設定。 1段階で約1Vの調整。	No Use	使用しない			3.33	43
				-5	5段階マイナス				
				-4	4段階マイナス				
				-3	3段階マイナス				
-2				2段階マイナス					
-1				1段階マイナス					
0				調整しない	※				
+1				1段階プラス					
+2				2段階プラス					
+3				3段階プラス					
SET SYSTEM システム設定	DATE/TIME	年月日／時刻	UPSの時刻を設定。	DATE YY/MM/DD	月日 年/月/日			3.34	44
				TIME HH:MM:SS	時刻 時：分：秒				
SET DEFAULT 設定値 初期化	SET DEFAULT	工場出荷時の状態にリセット。		—	—	—	—	3.35	45

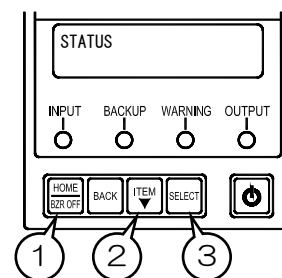
ご注意

- *1. 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。
設定変更をした場合は「3.36 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。
UPSの運転操作の詳細はUPS取扱説明書をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。
- *2. UPSS-20A3, 30A3, 50A3の場合、系統コントロール機能はオプションのコンセントボックスを接続した場合に利用できます。
「3.18 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「有効」に設定されていないと、「3.19」～「3.25」の機能が有効になりません。
- *3. UPSを複数台接続し連動運転をする場合は、オプションの連動ケーブル、リモートスイッチが必要です。

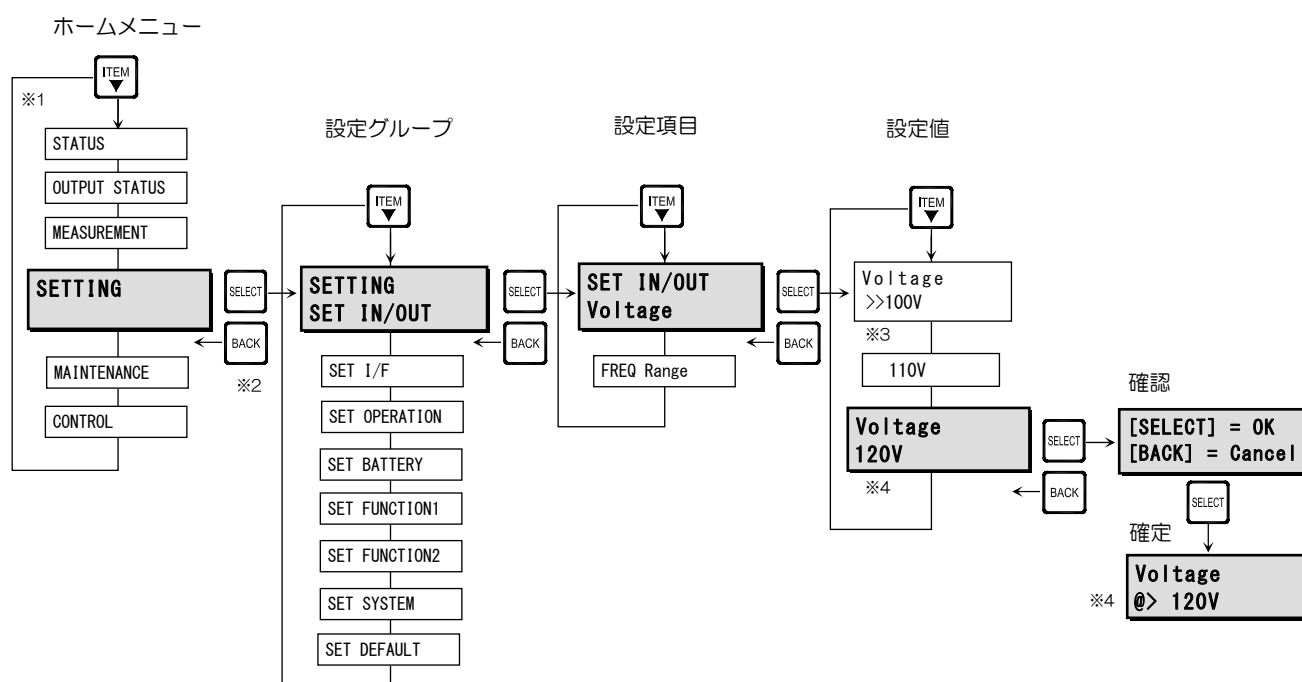
3.1 電圧を設定する

UPSの電圧を設定します。

- ①  を押してLCD画面を表示させます。
- ②  を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③  を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤  で設定値を切り換え、設定する値を  で選択し、確認画面で再度  を押して確定します。



例：出力電圧を「120V」に設定変更する場合



ポイント

- ※1.  を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 100V	UPSの出力電圧を設定します。
110V	入力電圧と出力電圧は同一です。
120V	入力電圧を確認し、同じ電圧を選択してください。

- ⑥  でホームメニューに戻ります。

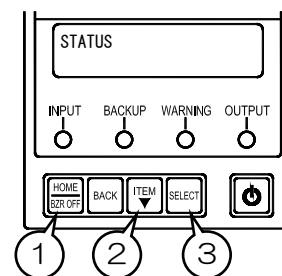
ご注意

- 設定を変更した後は、「3.36 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.36 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

3.2 周波数変動範囲を設定する

出力周波数が入力周波数に同期する追従範囲を設定します。

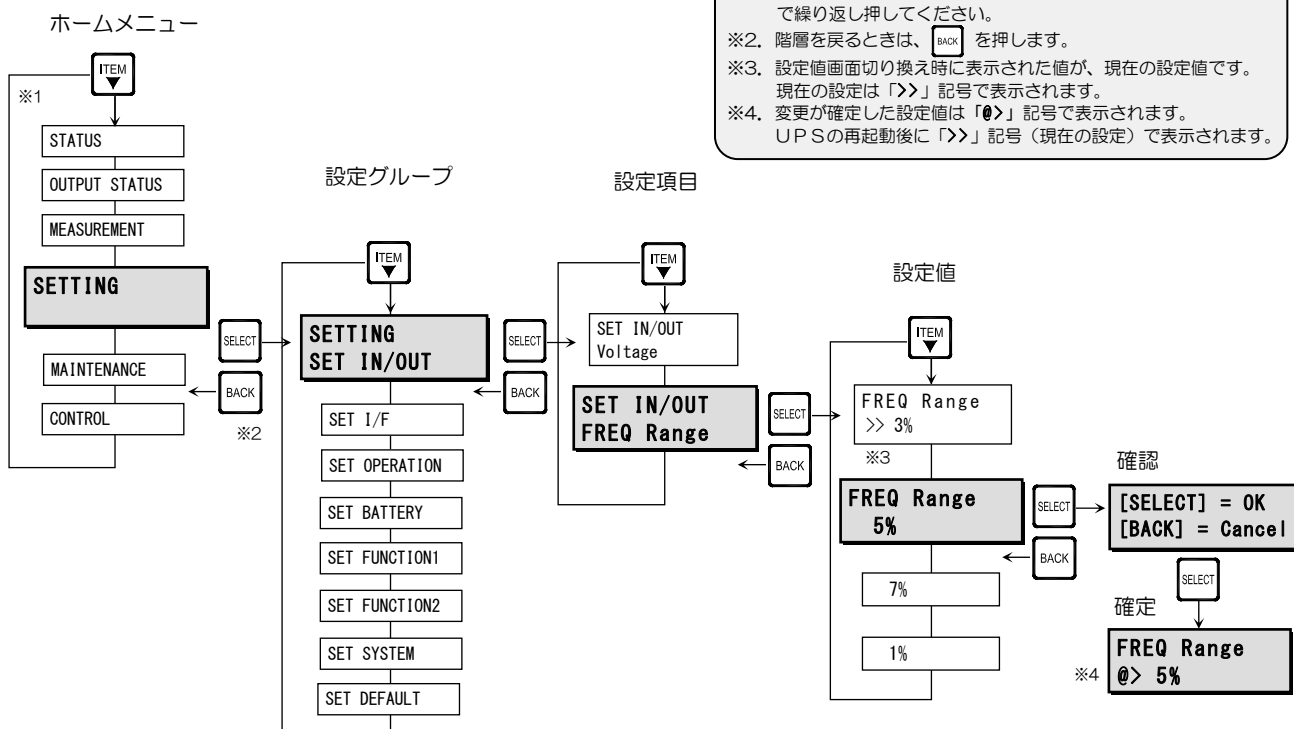
- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：周波数変動範囲を「5%」に設定変更する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更が確定した設定値は「0>」記号で表示されます。UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
1 %	入力周波数の±1 %
3 %	入力周波数の±3 %
5 %	入力周波数の±5 %
7 %	入力周波数の±7 %

初期設定

数値が小さいほど出力周波数の精度がよくなりますが、入力周波数が不安定な場合はバッテリー運転に切り換わりやすくなります。
エンジン発電機の出力に接続する場合などは「5%」以上を選択してください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

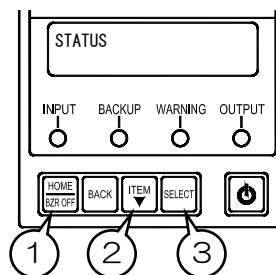
ご注意

- ・設定を変更した後は、「3.36 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ・UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.36 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

3.3 インタフェースを設定する

UPS 背面の PC I/F、CARD I/F、REMOTE コネクタを使用する場合のインタフェースを設定します。
詳細は、UPS 取扱説明書「5. UPS を使う・・・応用編」をご覧ください。

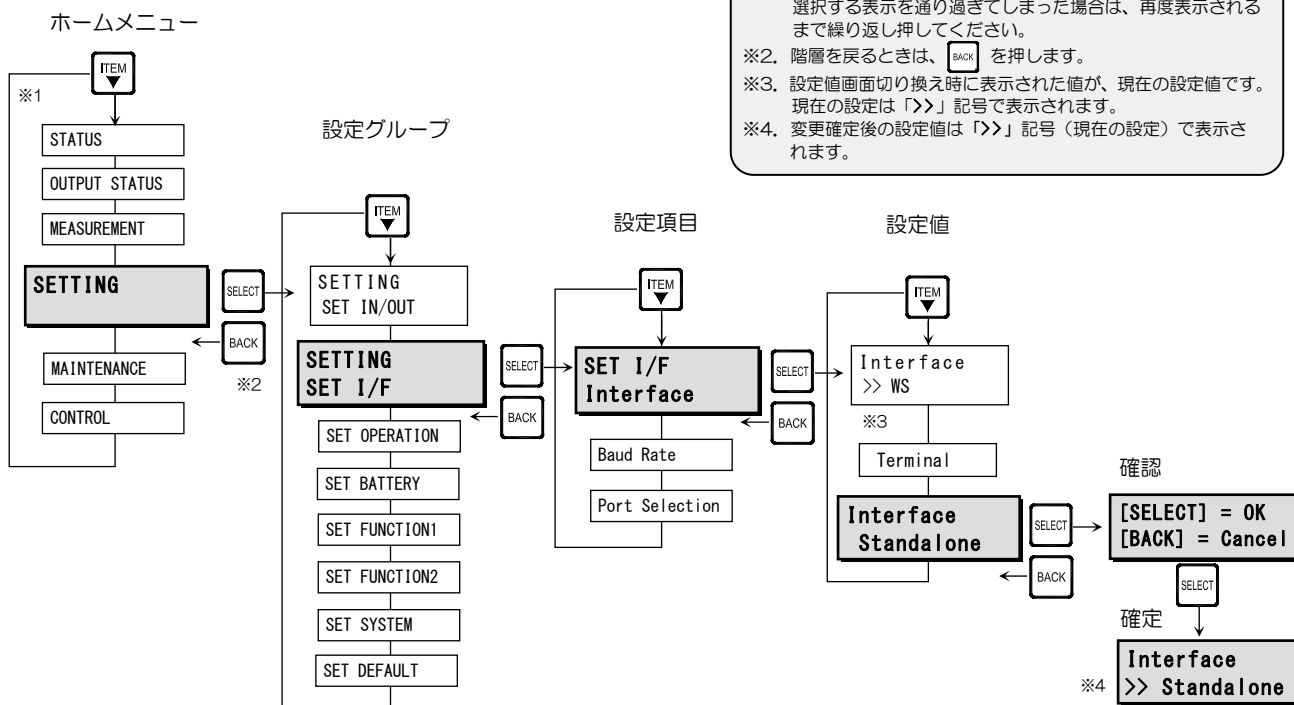
- ① **HOME** ON/OFF を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：インタフェースを「Standalone」に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
Standalone スタンドアロン	下記を使用する場合に選択。 ・リモートスイッチによるUPSのリモート ON/OFF 機能
初期設定 WS ワークステーション	下記を使用する場合に選択。 ・電源管理ソフトウェア ・LANインタフェースカード ・リモートスイッチによるコンピュータのワンタッチシャットダウン機能
Terminal ターミナル	この設定値には設定しないでください。

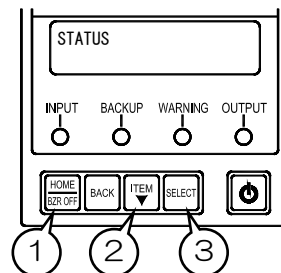
接点インタフェースカードは、「Standalone」または「WS」のどちらに設定されていても使用できます。

- ⑥ **HOME** ON/OFF でホームメニューに戻ります。

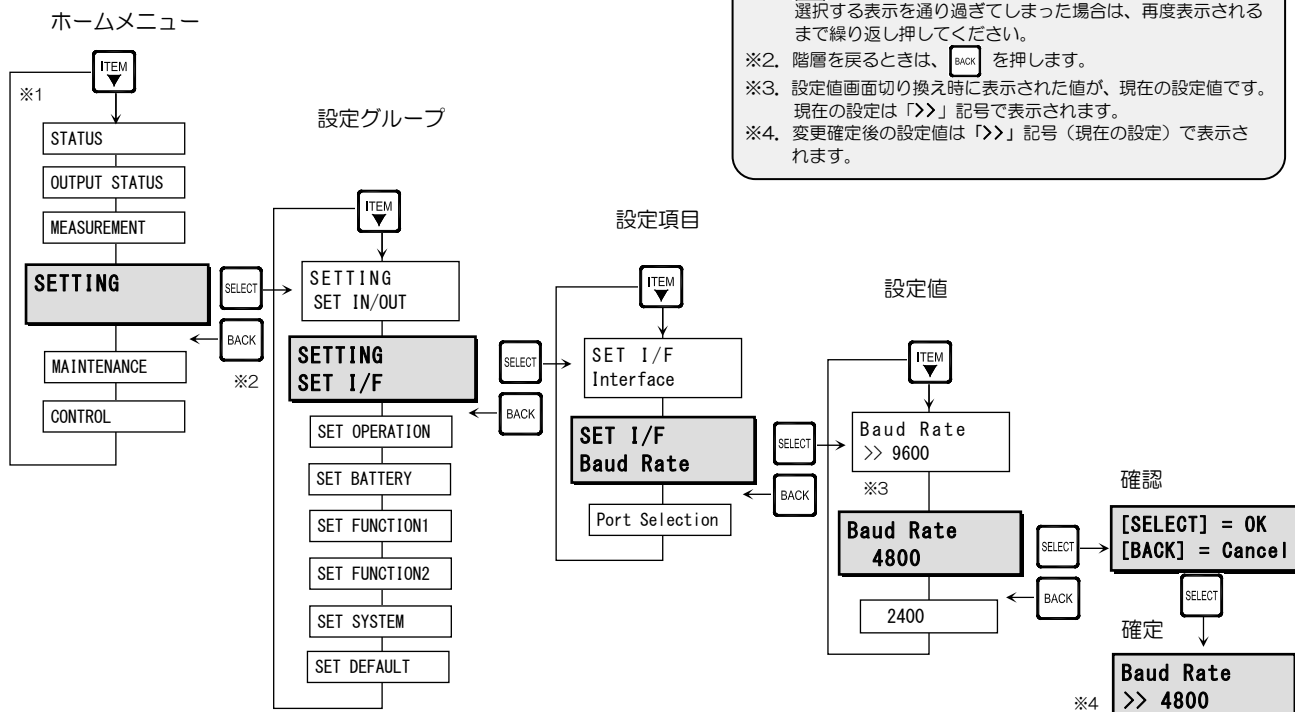
3.4 通信ボーレートを設定する

ワークステーション、パーソナルコンピュータ、LANインタフェースカードなどを接続する場合の通信ボーレートを設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：通信ボーレートを「4800」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	9600	通信ボーレート 9600 bps
	4800	通信ボーレート 4800 bps
	2400	通信ボーレート 2400 bps

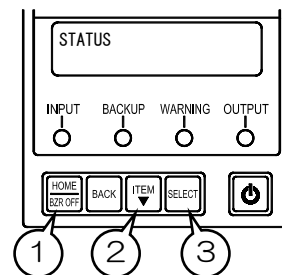
LAN インタフェースカードを使用する場合は「9600bps」に設定してください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

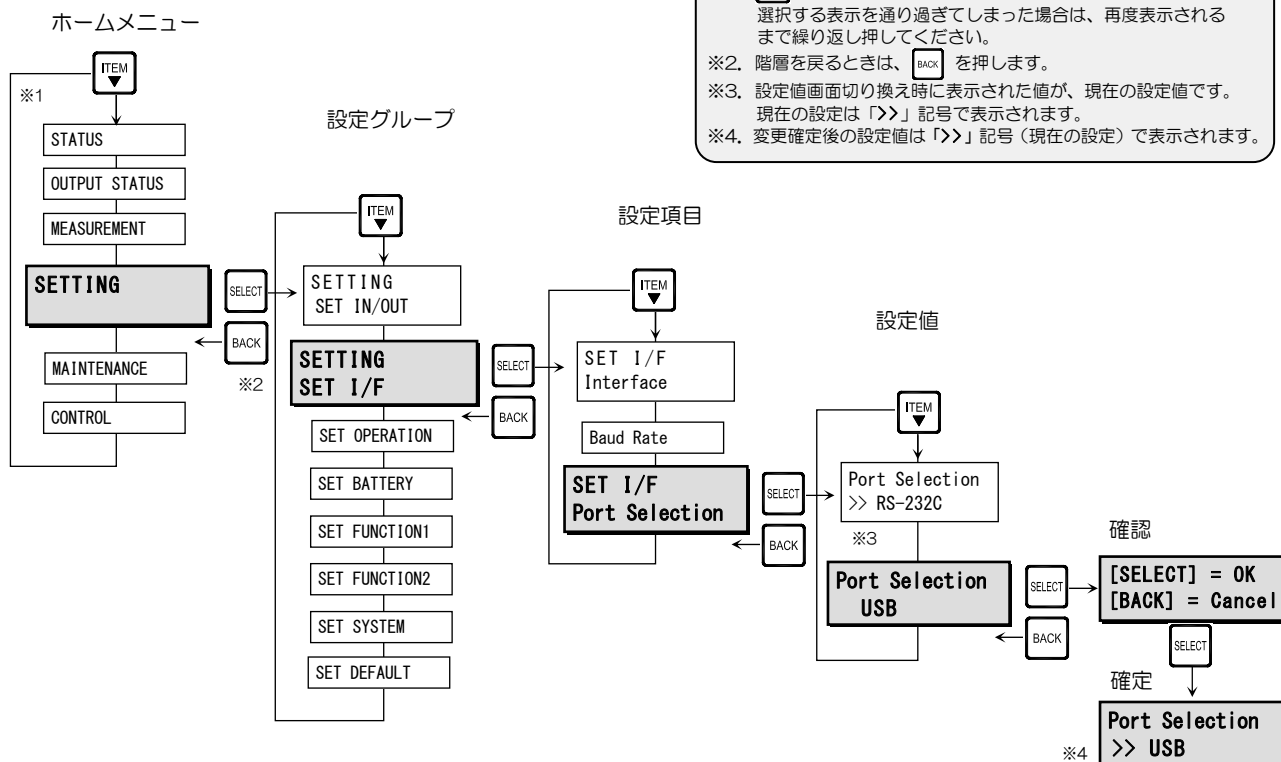
3.5 使用するPC I/F コネクタを設定する

UPS背面のPC I/F コネクタを使用する場合、RS-232C か USB かどちらのコネクタを使用するか設定します。

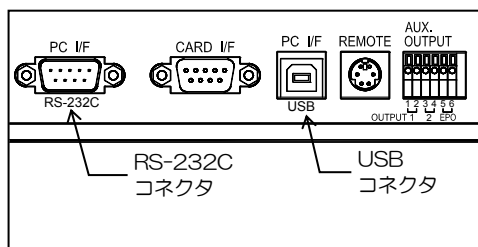
- ① **HOME** **BSR OFF** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：使用するコネクタを「USB」に設定する場合



UPSの外部インタフェース



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	RS-232C	RS-232C コネクタを使用する。
	USB	USB コネクタを使用する。

設定値で選択したコネクタと異なるコネクタに接続した場合は機能しません。
両方のコネクタを同時に使用することはできません。

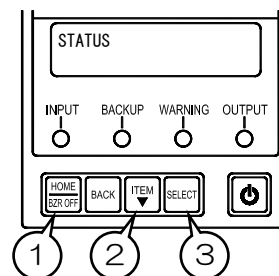
USB コネクタを使用する場合は、USB ドライバのインストールが必要です。UPS取扱説明書「5.3 電源管理ソフトウェアを使う」をご覧ください。

- ⑥ **HOME** **BSR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.6 復電時の動作を設定する

停電発生時、バッテリー放電終止によりUPSが停止した後、商用電源が復帰した場合のUPSの動作を設定します。

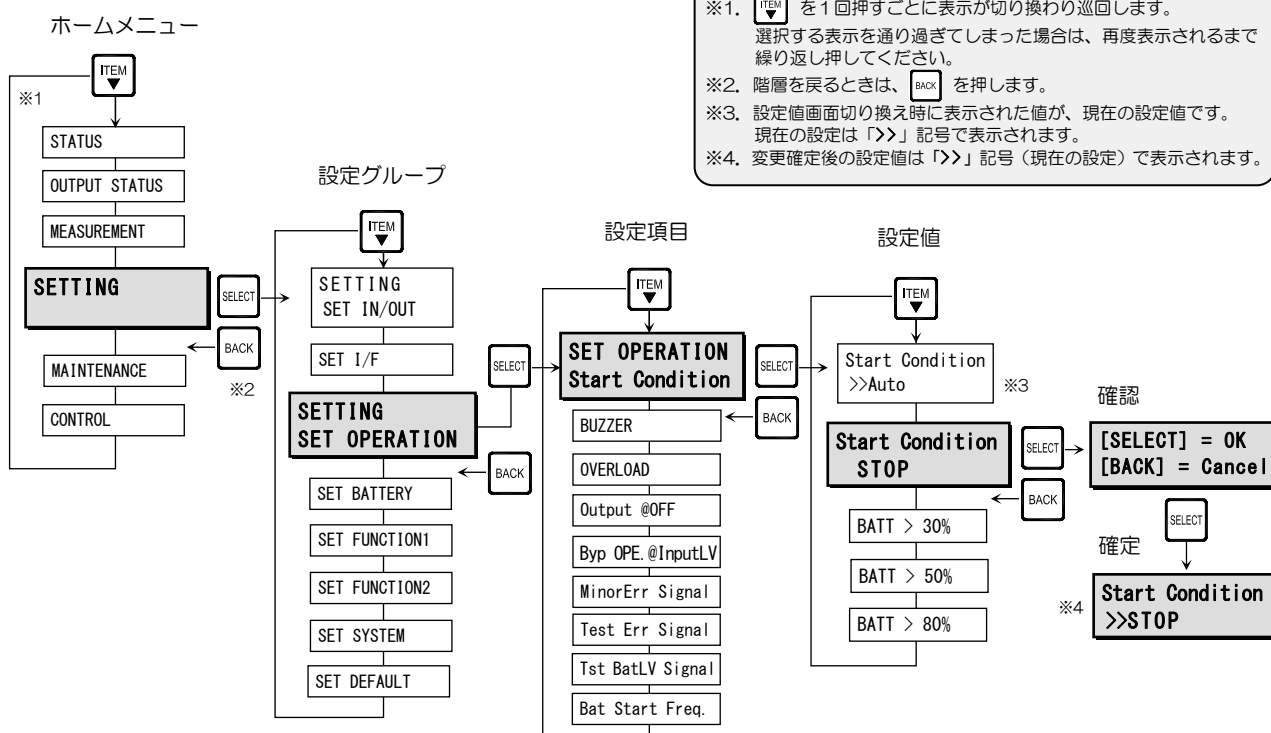
- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：復電時の動作を「STOP」（停止）に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	Auto	自動
	STOP	停止
	BATT > 30%	30%以上
	BATT > 50%	50%以上
	BATT > 80%	80%以上
		商用電源が復帰した場合、UPSは自動的に起動します。
		商用電源が復帰しても、UPSは停止したままです。ただし、「3.9」で「BYPASS」が選択されている場合は、バイパス給電となります
		商用電源が復帰した場合、バッテリーが30%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
		商用電源が復帰した場合、バッテリーが50%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
		商用電源が復帰した場合、バッテリーが80%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。

- ・復電時「3.31 復電確認時間を設定する」で設定した時間が経過した時点で、UPSは商用電源が復帰したと認識し、動作を開始します。
- ・電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した充電率でUPSが起動します。上記の操作で「STOP」以外の設定に設定した場合、設定値は有効になりません。

この場合、上記の操作で設定値を表示させると **Start Condition >> BATT > 5% (Val)** のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。

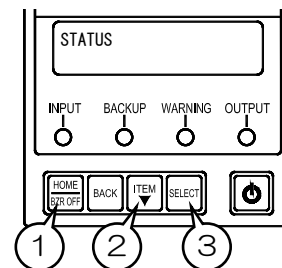
この設定値は **ITEM** を押すと表示されなくなりますが、いったん、**BACK** で戻り **SELECT** を押すと再度、表示されます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

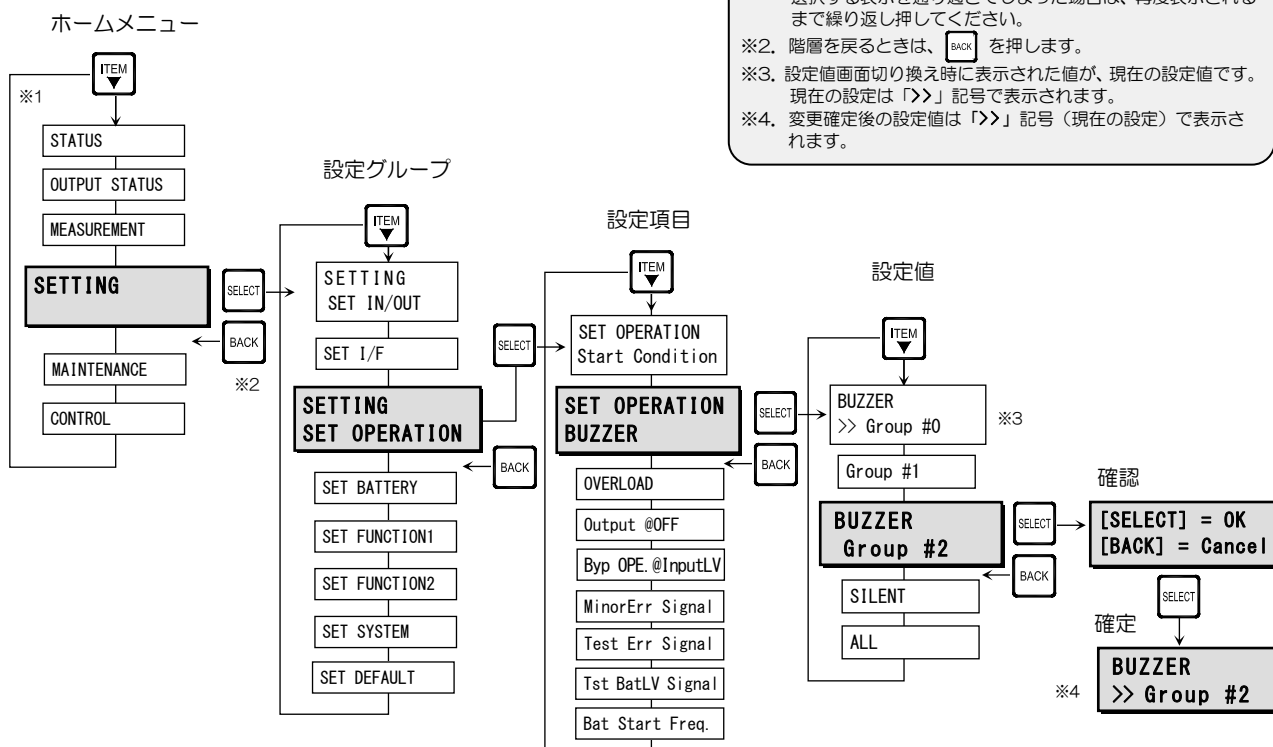
3.7 ブザー音が鳴る条件を設定する

ブザー音が鳴る条件を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：ブザーが鳴る条件を「Group #2」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

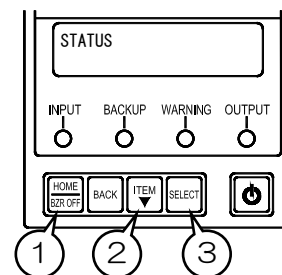
設定値	ブザー音が鳴る条件			
ALL	すべての状態	・キークリック音 ・放電終止発生中 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時 ・自動、手動、電源管理ソフトウェアによるバッテリーテスト中 ・自動、手動によるバッテリーテスト結果異常時	・重故障発生時 ・軽故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時	・バッテリー余命警告 ・バッテリー寿命 ・バッテリー電圧低下時 ・過負荷時（バイパス運転中） ・バッテリー運転中 ・バッテリー電圧異常時
初期設定	Group #0	グループ0	・キークリック音 ・放電終止発生中 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時 ・手動によるバッテリーテスト中 ・自動、手動によるバッテリーテスト結果異常時	・重故障発生時 ・軽故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時
	Group #1	グループ1	・キークリック音 ・放電終止発生中 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時	・重故障発生時 ・軽故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時
	Group #2	グループ2	・キークリック音 ・放電終止発生中	・重故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時
	SILENT	停止	・キークリック音	

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

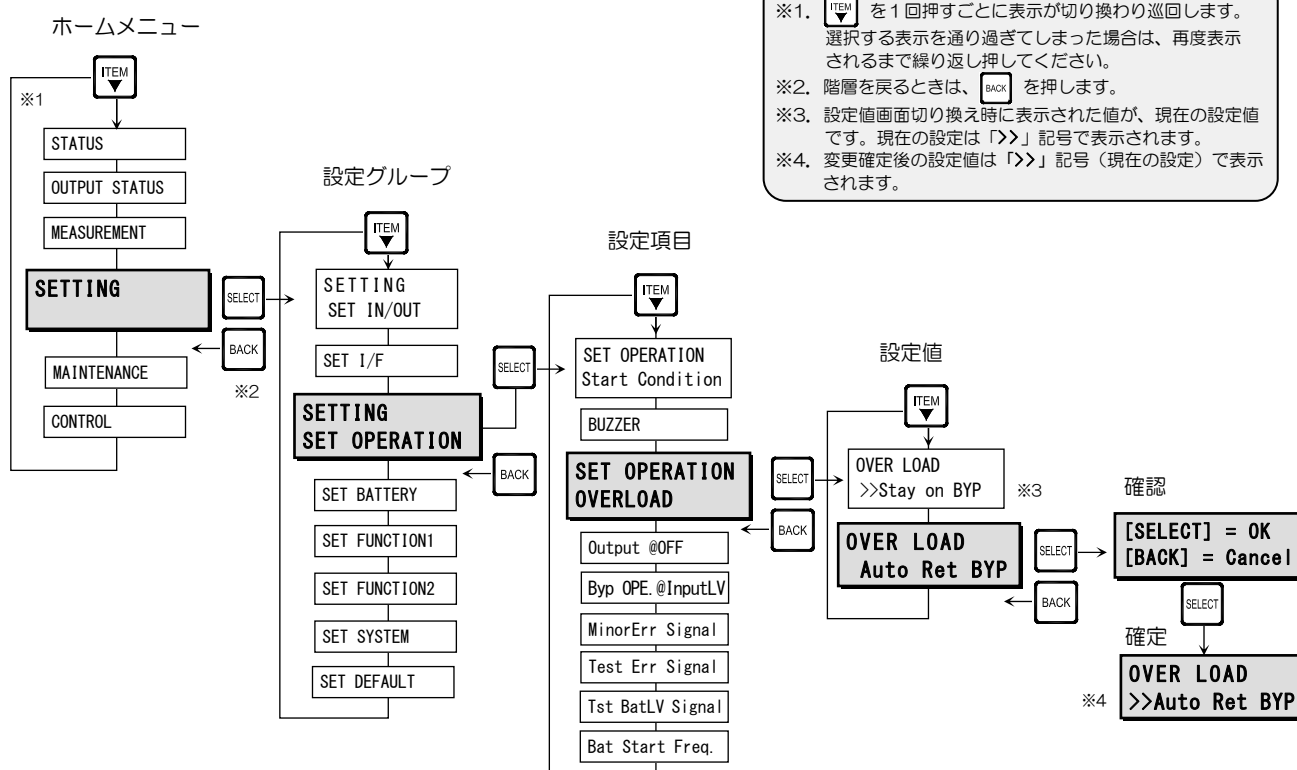
3.8 過負荷時の動作を設定する

過負荷によりバイパス給電へ切り換った後にUPS給電に戻るための条件を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：過負荷時の動作を「Auto Ret BYP」（自動復帰）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
Auto Ret BYP	自動復帰	過負荷によりバイパス給電に切り換った後、一定時間で自動的にUPS給電へ切り換わります。過負荷状態が継続している場合は、再度バイパス給電へ切り換わり、この動作が繰り返されます。
初期設定	Stay on BYP	過負荷状態が継続している場合は、バイパス給電が継続されます。過負荷状態が解消されるとUPS給電に切り換わります。バイパス給電に切り換ったときの商用電源の電圧値により、UPS給電とバイパス給電の切り換えが繰り返されることがあります。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.9 OFF 時*のUPS給電状態を設定する

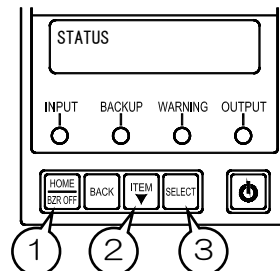
 ボタンのOFF 操作によりUPS を停止した場合のUPS の給電状態を設定します。

*  OFF 時とは・・・

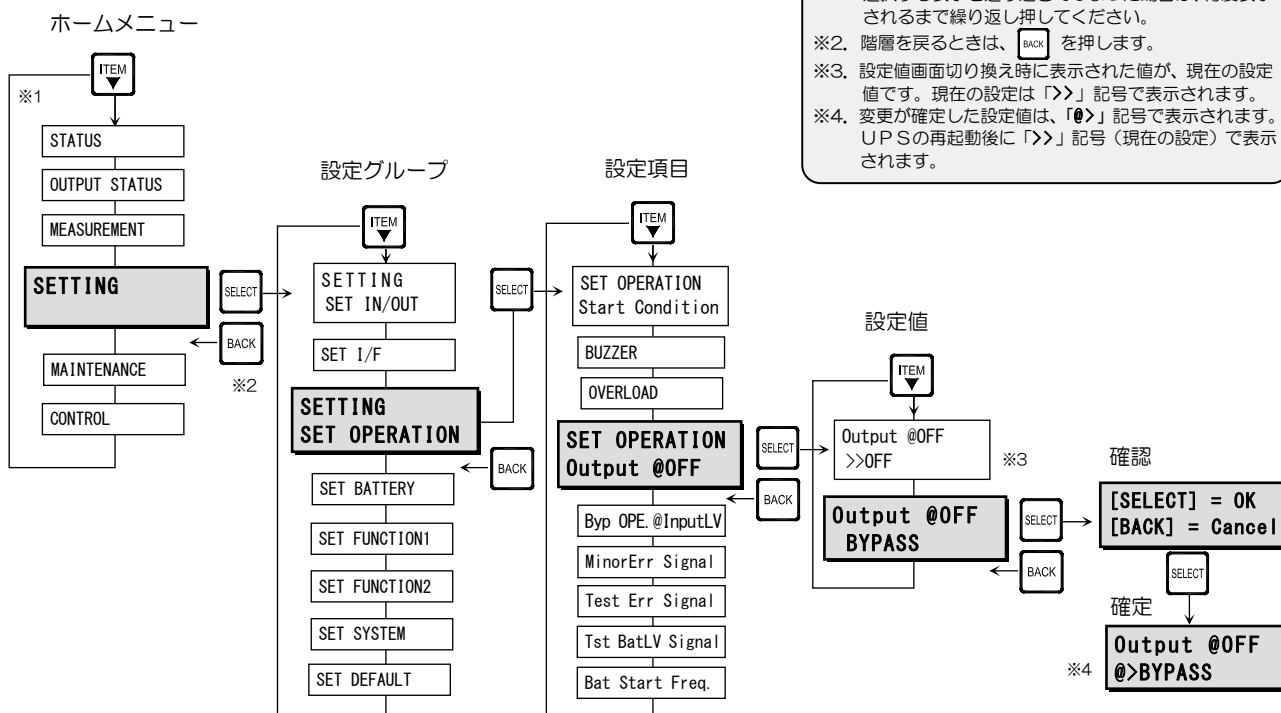
この場合のOFF 時とはUPS が下記の状態を指します。

- LCD パネルの  ボタンを押して「INV OFF」操作をしてUPS を停止。
- LCD 画面に「-STANDBY-」または「-BYPASS-」が表示、【INPUT 】が点灯。
- UPS の入力電源プラグは商用電源に接続されている、かつ入力ブレーカがあるモデルの場合 **MAIN MCCB** は「ON」。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：OFF 時の給電状態を「BYPASS」（バイパス給電）に設定する場合



ポイント

- ※1. **ITEM** を1 回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更が確定した設定値は、「>>」記号で表示されます。UPS の再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	OFF	出力停止 UPS は停止し、電力は供給されません。
	BYPASS	バイパス給電 バイパス給電へ切り換わり給電が継続します。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「3.36 UPS を再起動する」をご覧ください。UPS を再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPS を停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS 状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPS が再起動されていない状態です。「3.36 UPS を再起動する」をご覧ください。

3.10 入力異常時のバイパス給電切り換え 有効／無効 を設定する

入力異常*¹が発生している場合に、UPSが下記の状態*²になったとき、UPSがバイパス給電に切り換わるか、切り換わないかを設定します。

★ご注意

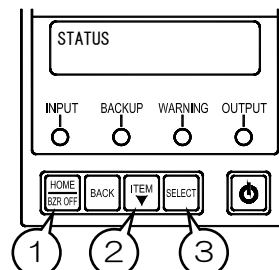
★1. 入力異常とは、つぎの2つの状態です。

- ・入力電圧低下
- ・入力周波数異常

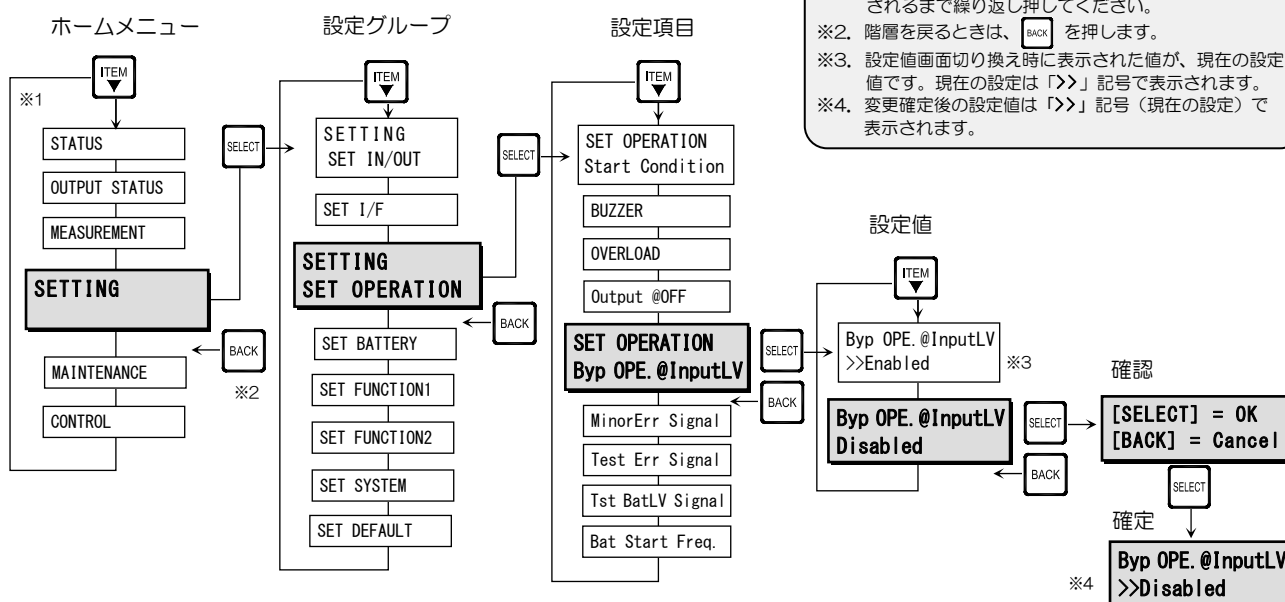
★2. 下記の状態とは、つぎの3つの状態です。

- ・過負荷
- ・UPS故障
- ・バッテリー放電終止

- ① **HOME B2R OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バイパス給電に切り換わらない「Disabled」（無効）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 Enabled	有効
Disabled	無効

入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合、バイパス給電に切り換わり給電が継続します。

入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合は、バイパス給電に切り換わりません。この設定値に設定した場合、バイパス給電中に入力電圧低下、または入力周波数異常が発生したときは、電力供給が停止します。

入力過電圧はこの場合の入力異常に含まれません。

入力過電圧の場合は、「Enabled」（有効）／「Disabled」（無効）のどちらに設定されていても、バイパス給電に切り換わりません。

- ⑥ **HOME B2R OFF** でホームメニューに戻ります。

軽故障が発生したとき、CARD I/F コネクタから「装置異常」転送信号を送出するかしないかを設定します。

-
- The diagram shows a control panel with a 'STATUS' display at the top. Below the display are four indicator lights labeled 'INPUT', 'BACKUP', 'WARNING', and 'OUTPUT'. At the bottom are five buttons: 'HOME (SZR OFF)', 'BACK', 'ITEM' (with a downward arrow), 'SELECT', and a power button. Three numbered circles indicate the sequence: 1 points to 'HOME (SZR OFF)', 2 points to 'BACK', and 3 points to 'ITEM'.

ホームメニユー

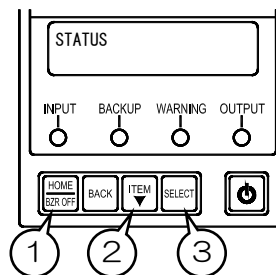


⑥  でホームメニューに戻ります。

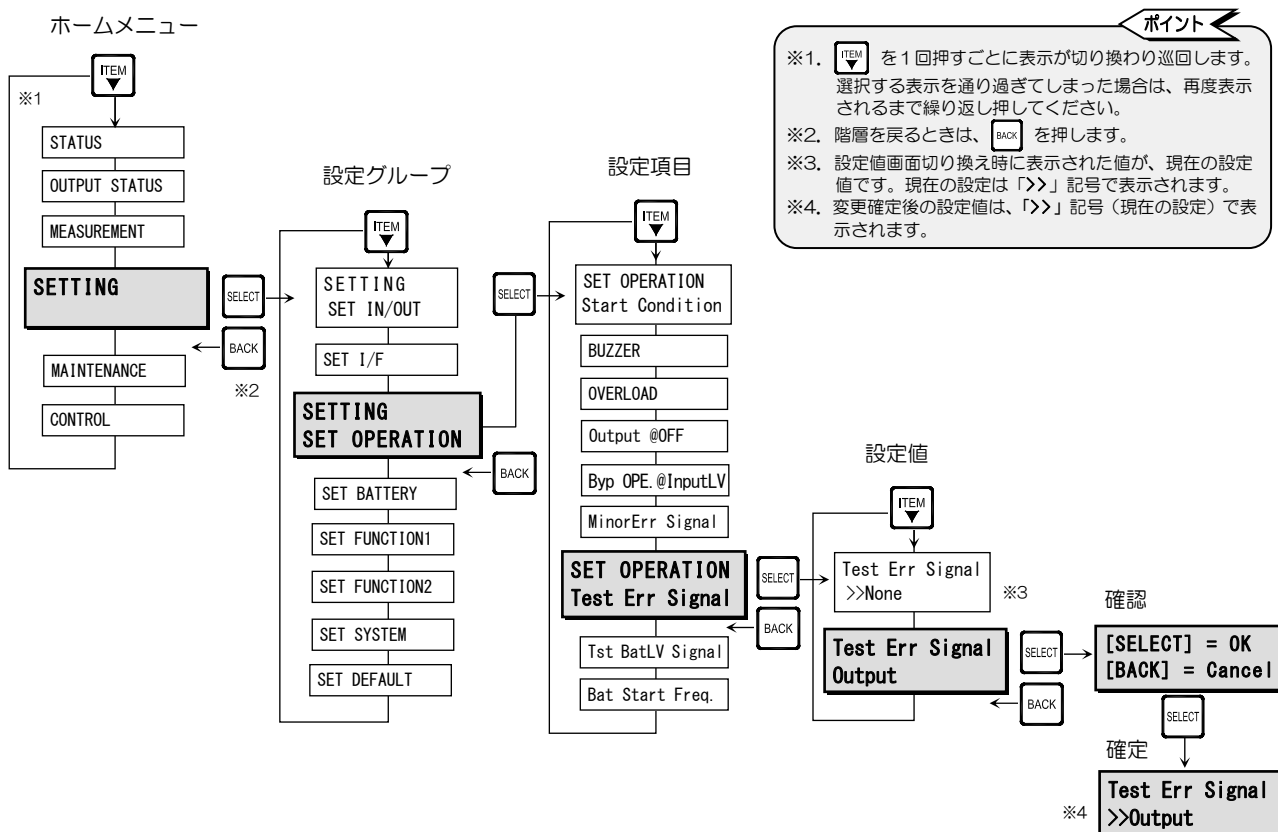
3.12 試験用の「装置異常」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に CARD I/F コネクタから「装置異常」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：試験用の「装置異常」転送信号を送出する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	None	信号を送出しない
	Output	信号を送出する
		信号は送出されません。試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。
		外部インタフェース部の CARD I/F コネクタから擬似的に「装置異常」信号が送出されます。設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「None」に設定してください。

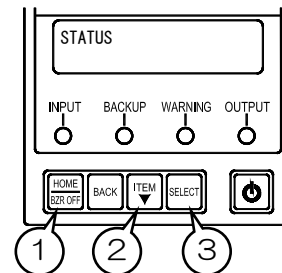
「Output」に設定しても、UPS を停止（入力プラグを抜く、または **MAIN MCCB** を「OFF」）した場合は、再起動時に、初期設定「None」に戻ります。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

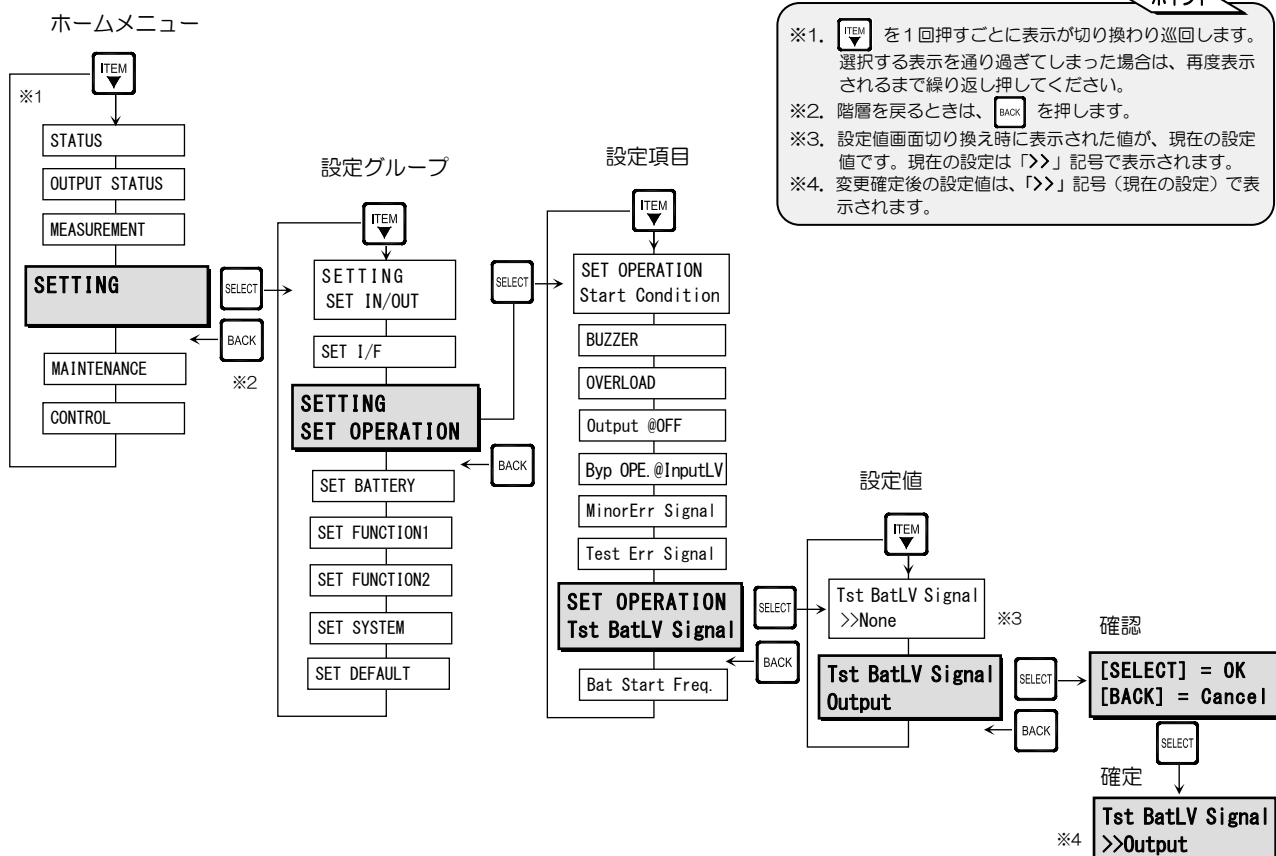
3.13 試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に CARD I/F コネクタから「バッテリー電圧低下」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：試験用の「バッテリー電圧低下」信号を送信する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 None	信号を送出しない 信号は送出されません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。
Output	信号を送出する 外部インタフェース部の CARD I/F コネクタから擬似的に「バッテリー電圧低下」信号が送出されます。 設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「None」に設定してください。

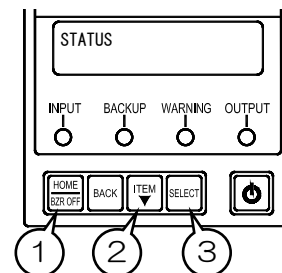
「Output」に設定しても、UPSを停止（入力プラグを抜く、または **MAIN MCCB** を「OFF」）した場合は、再起動時に、初期設定「None」に戻ります。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

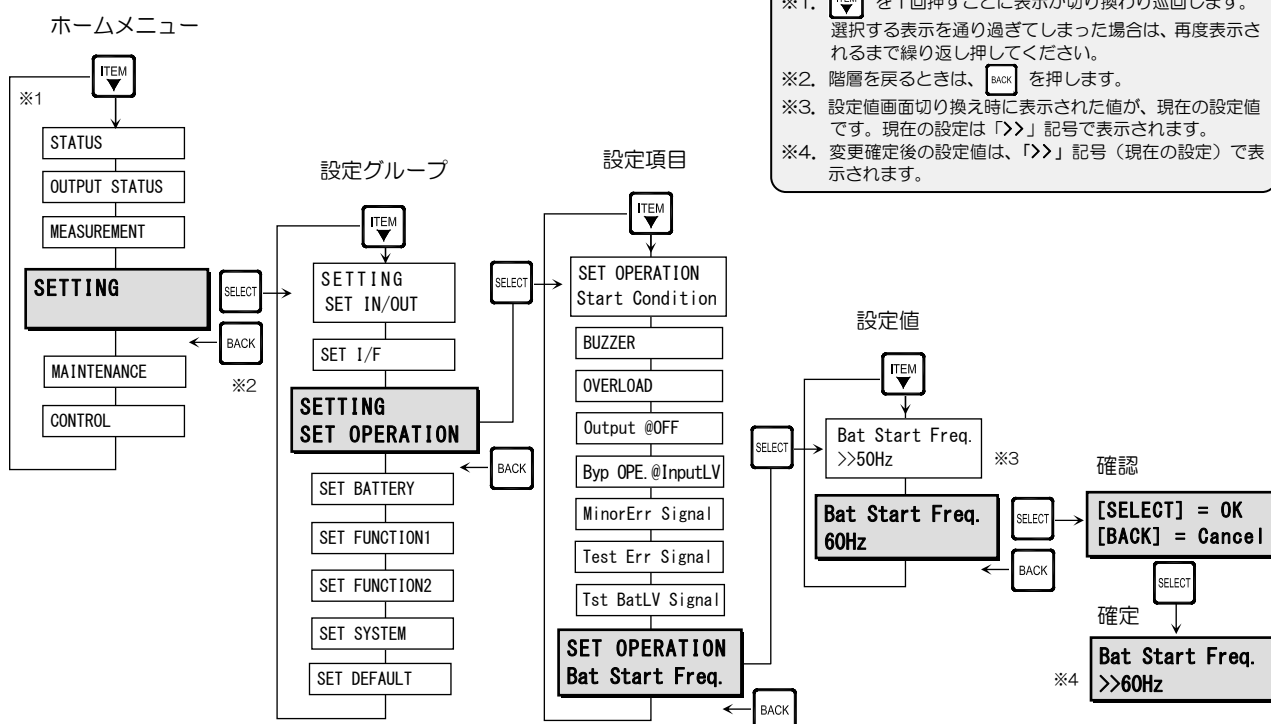
3.14 バッテリー起動時の出力周波数を設定する

UPSをバッテリー電力から起動する場合の出力周波数を設定します。

- ① **HOME BDR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリー起動時周波数を「60Hz」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 50Hz	出力周波数 50Hz
60Hz	出力周波数 60Hz

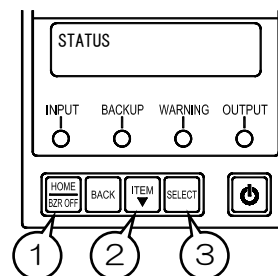
バッテリー電力起動時の出力周波数を設定します。ご使用の環境、負荷機器の仕様に合わせて設定してください。交流入力周波数と異なる周波数を選択した場合、バッテリー電力起動でUPSを運転した後、交流入力が正常になったときは、自動的に交流入力電源の周波数と同じ周波数になります。

- ⑥ **HOME BDR OFF** でホームメニューに戻ります。

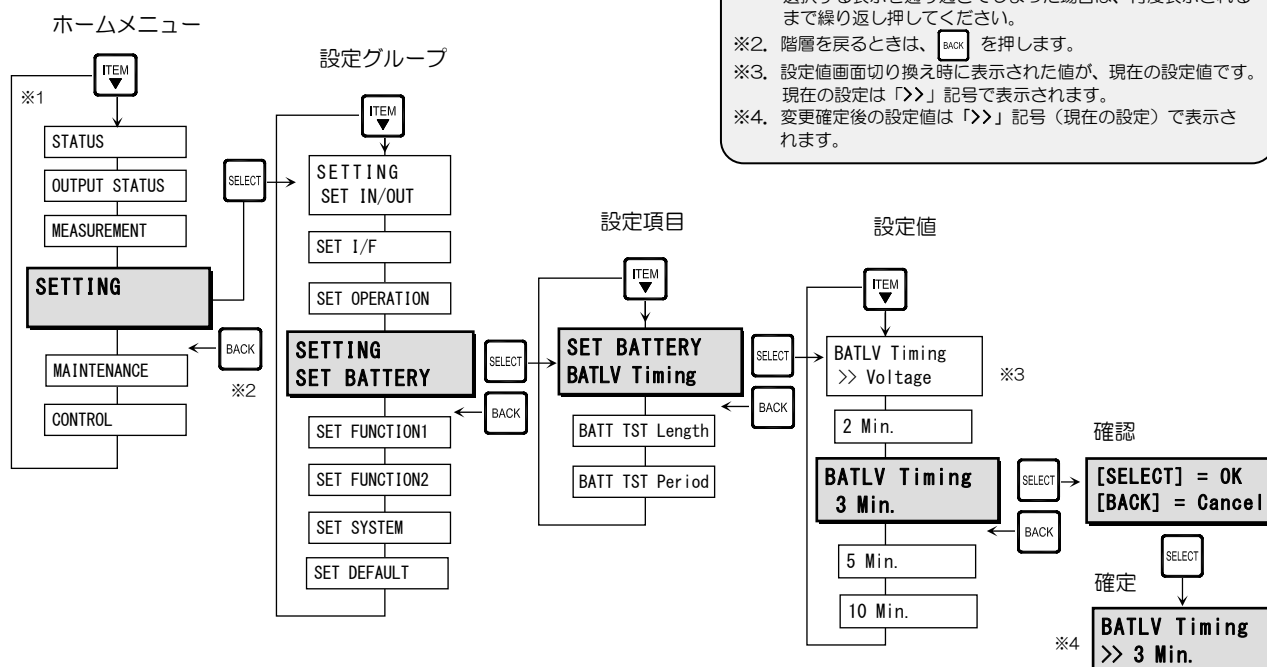
3.15 バッテリ電圧低下警告発生タイミングを設定する

バッテリー電圧低下警告が発生するタイミングを設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：警告発生タイミングを「3 Min.」（3分）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
Voltage	電圧
2 Min.	2分
3 Min.	3分
5 Min.	5分
10 Min.	10分

バッテリー電圧低下レベルを検出した時点で警告：LCD 画面「Batt Vol Low」表示、ブザー音「ビビビビ・・」が発生します。

バッテリー残保持時間が2分*未満で警告が発生します。

バッテリー残保持時間が3分*未満で警告が発生します。

バッテリー残保持時間が5分*未満で警告が発生します。

バッテリー残保持時間が10分*未満で警告が発生します。

標準バッテリー仕様（10分バックアップ仕様）以外のUPSを使用している場合、および負荷率が30%以下の状態の場合は、この設定値には設定しないでください。

※. 時間（分）は目安です。「8 計測情報表示について」をご覧ください。

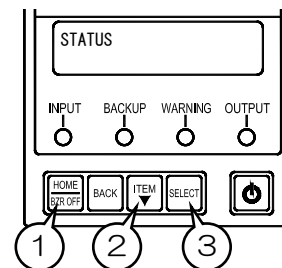
- 「3.7 ブザー音が鳴る条件を設定する」で設定値「SILENT」または「Group #2」に設定されている場合は、ブザーは鳴りません。
 - 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定したUPSシャットダウン実行のタイミングで警告が発生します。
- この場合、上記の操作で設定値を表示させると **BATLV Timing >> 4 Min. (Val)** のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
- この設定値は **ITEM** を押すと表示されなくなりますが、いったん、**BACK** で戻り **SELECT** を押すと再度、表示されます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

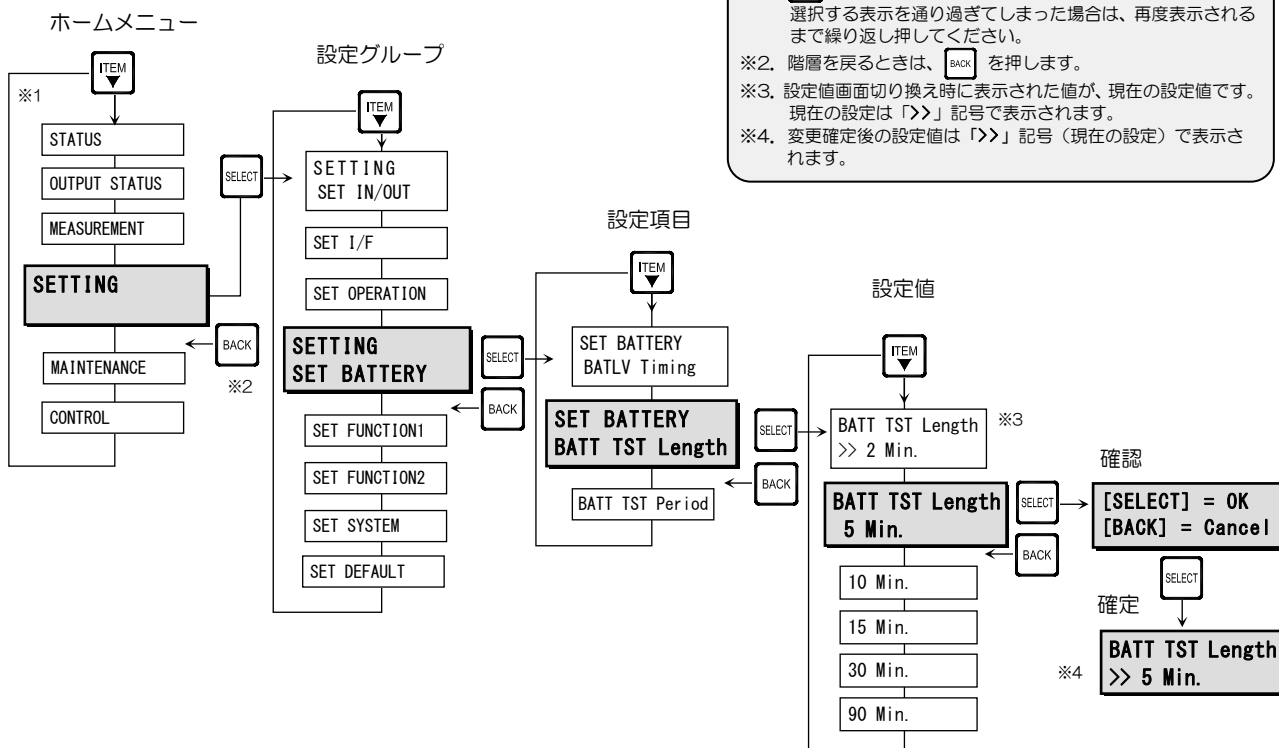
3.16 バッテリテストの実行時間を設定する

定期的、または手動で実施するバッテリテストの実行時間を設定します。

- ① **HOME B2R OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリテスト時間を「5 Min.」（5 分）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	2 Min.	2 分
	5 Min.	5 分
	10 Min.	10 分
	15 Min.	15 分
	30 Min.	30 分
	90 Min.	90 分

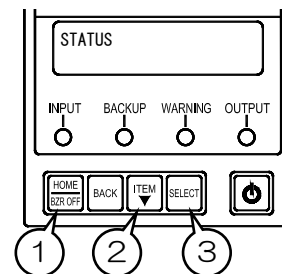
UPS に接続している負荷容量とバッテリー容量に応じてバッテリテスト実行時間を設定してください。

- ⑥ **HOME B2R OFF** でホームメニューに戻ります。

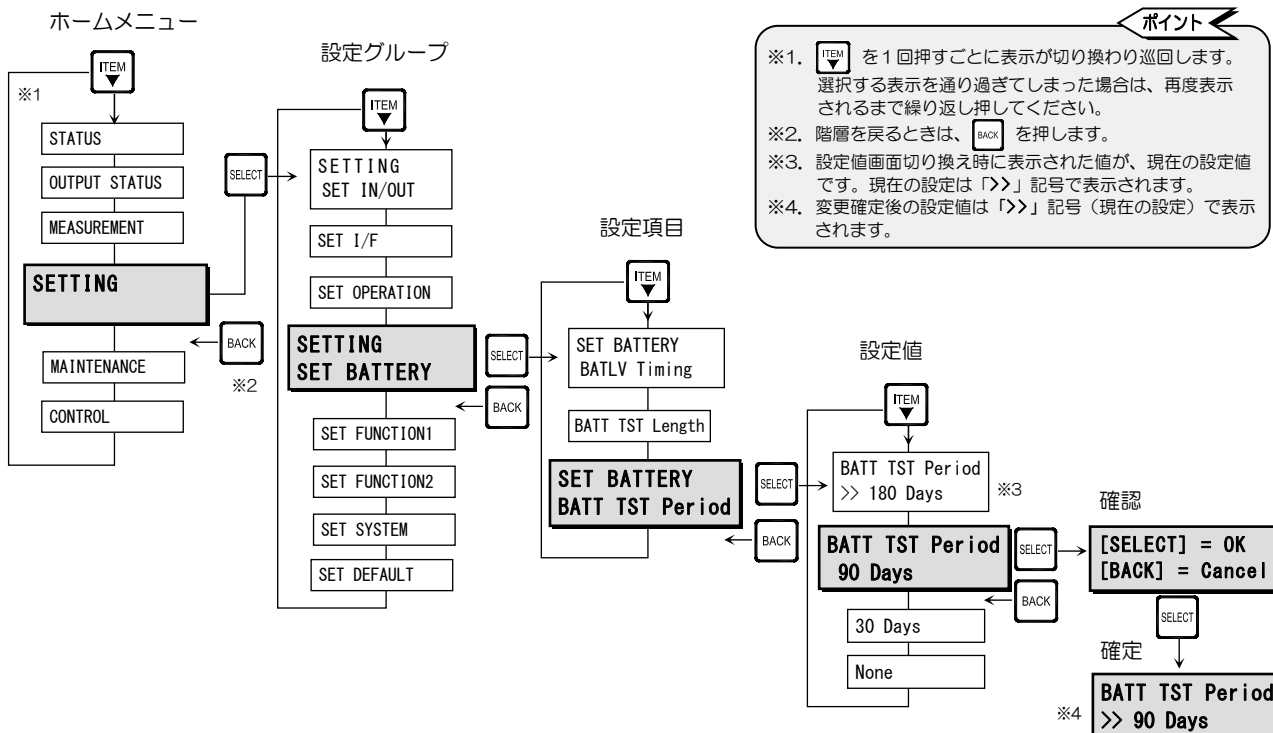
3.17 バッテリテストのスケジュールを設定する

自動的に実施されるバッテリテストの周期（日数）を設定します。設定した日数が経過すると自動的にバッテリテストが実施されます。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリテストスケジュールを「90 Days」（90 日）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	180 Days	180 日
	90 Days	90 日
	30 Days	30 日
	None	しない
		180 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
		90 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
		30 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
		バッテリテストは自動的に実施されません。

- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定したスケジュールでバッテリテストが実施されます。
上記の操作で電源管理ソフトウェアと異なる設定値に設定した場合、いったん設定値は変更されますが、再度、設定値を表示させたときは電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
- バッテリテスト実施時に、UPS がバッテリテストをできない状態の場合は（インバータ停止状態など）、バッテリテストができる状態になった時点でバッテリテストが実施されます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.18 系統コントロール※の有効／無効を設定する

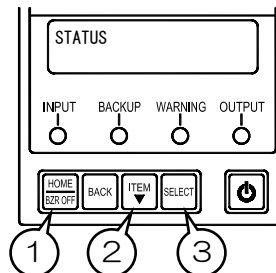
出力コンセントまたはコンセントボックス（オプション）の系統コントロール機能の「有効／無効」を設定します。
「3.19」～「3.25」の項目を設定しても、この項目で「Enabled」（有効）設定されていないと系統コントロールは機能しません。

※系統コントロールとは・・・

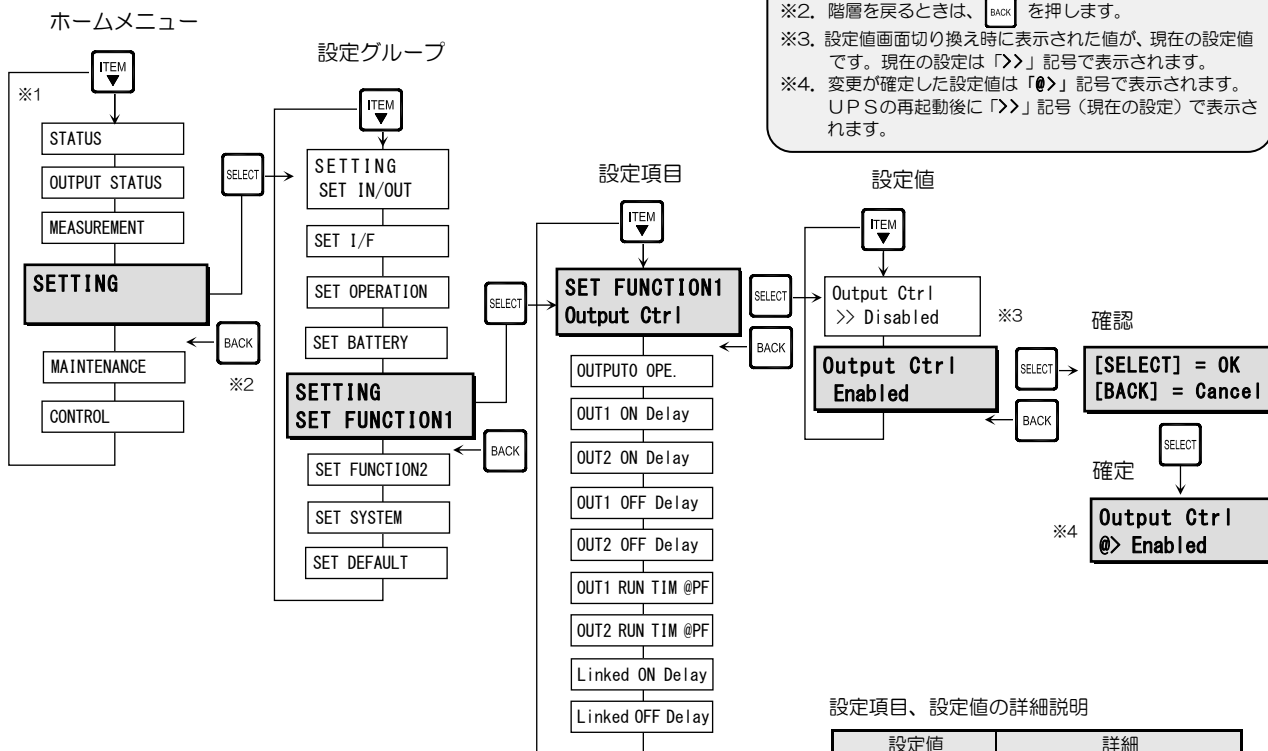
UPSにはOUTPUT 0, 1, 2の3系統の出力があります。「OUTPUT 1」と「OUTPUT 2」の2系統の出力には、ON/OFF 遅延時間を設定し、起動／停止をコントロールすることができます。この機能を利用した運用を「系統コントロール」と呼びます。この機能によりそれぞれのコンセントに接続した負荷機器を順次、起動／停止させることができます。

UPSS-10A3, 15A3 の場合はUPSの出力コンセントで、20A3, 30A3, 50A3 の場合はコンセントボックスを接続して運用します。

- ① **HOME B2R OFF** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：系統コントロールを「Enabled」（有効）に設定する場合



- ⑥ **HOME B2R OFF** でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「3.36 UPSを再起動する」をご覧ください、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.36 UPSを再起動する」をご覧ください、UPSを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	Disabled	無効 系統コントロールをしない
	Enabled	有効 系統コントロールをする

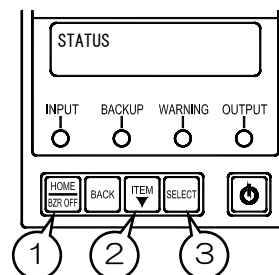
「無効」が選択されていると、「3.19」～「3.25」で設定する項目が有効になりません。
「Enabled」（有効）を選択し設定確定後に、「Disabled」（無効）に変更しUPSを再起動すると、「3.19」～「3.25」で設定した系統遅延時間は初期値に戻ります。

3.19 OUTPUT0 コンセントの動作を設定する

出力コンセントまたはコンセントボックス（オプション）のOUTPUT1, OUTPUT2 が、電源管理ソフトウェアにより停止、および「OUTPUT1, 2 停電時出力時間」の設定により停止した後の、OUTPUT0 の動作を設定します。

「3.18 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

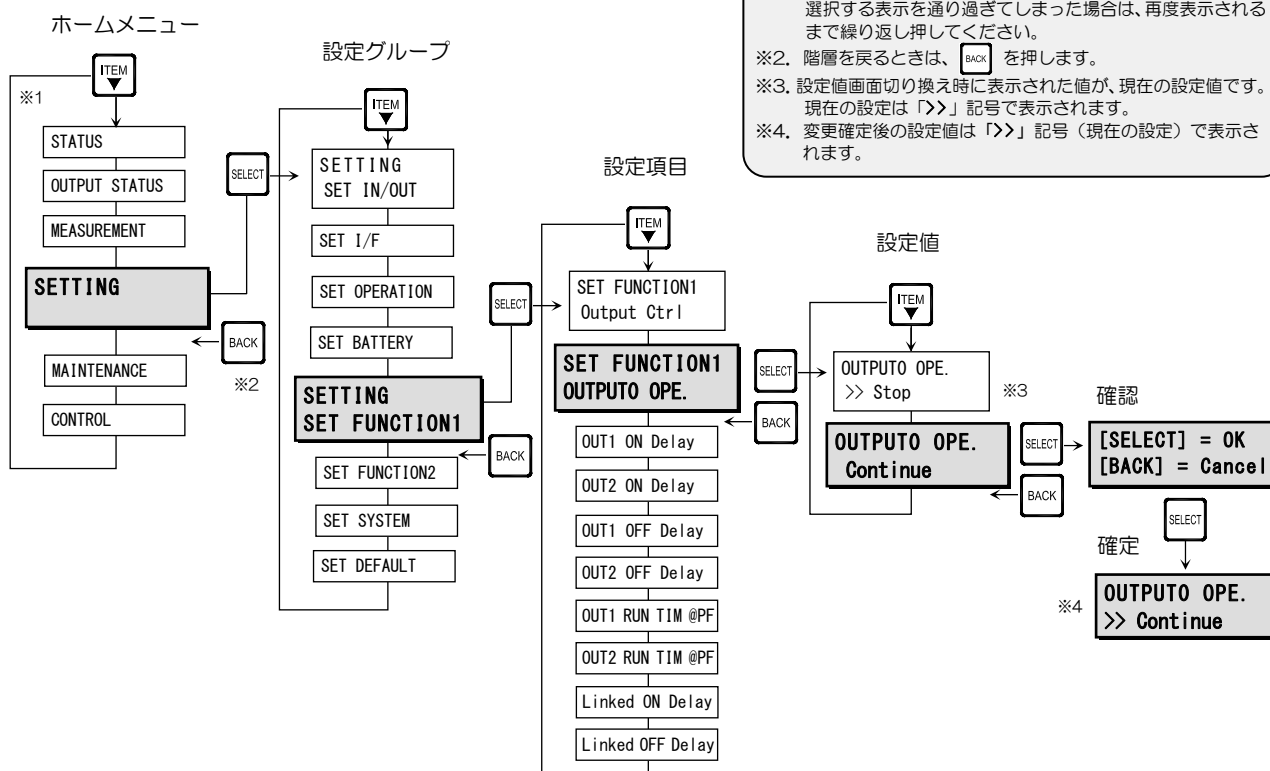
- ① **HOME B2R OFF** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：OUTPUT0 の動作を「Continue」（継続）に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 Stop	給電停止 OUTPUT0は給電を停止します。 ただし「3.9 OFF時のUPS給電状態を設定する」で、「OFF」に設定されている場合は給電を停止し、「バイパス」に設定されている場合はバイパス給電となります。
Continue	給電継続 OUTPUT0は給電を継続します。

下記の条件によりOUTPUT1, OUTPUT2 コンセントが停止した場合のOUTPUT0 の動作です。

- ・電源管理ソフトウェアによる停止
- ・「3.24 OUTPUT1 コンセントの停電時出力時間を設定する」の設定
- ・「3.25 OUTPUT2 コンセントの停電時出力時間を設定する」の設定

ただし、正面パネルのOFF 操作、リモートスイッチ OFF 操作（インタフェース設定：Standalone スタンドアロン）をした場合は、「給電継続」が選択されていても、OUTPUT1, 2 の停止後、OUTPUT0 は停止します。

「3.18 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

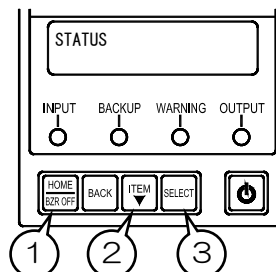
- ⑥ **HOME B2R OFF** でホームメニューに戻ります。

3.20 OUTPUT1 コンセントの「ON」遅延時間を設定する

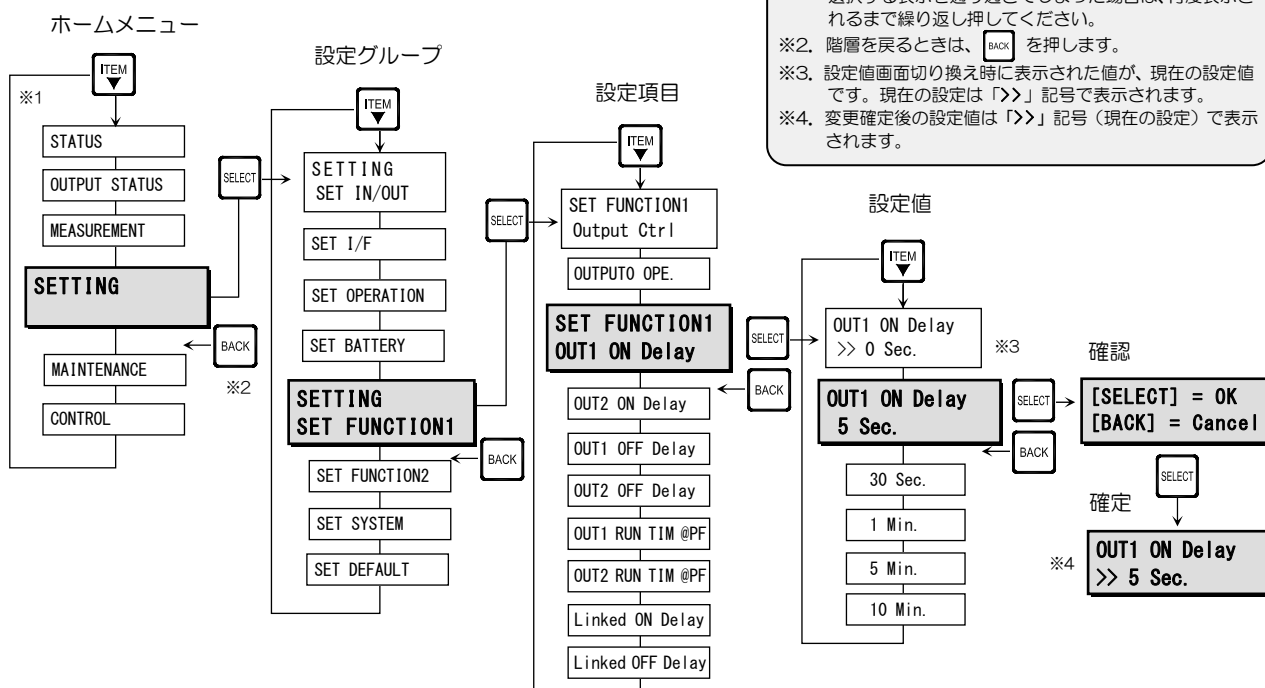
UPSを起動した後、OUTPUT1 コンセントから電力供給が開始されるタイミングを設定します。選択した時間が経過した時点でOUTPUT1 コンセントからの電力が供給されます。システムを順次起動させる場合などに設定します。

「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。電源管理ソフトウェアをご使用の場合、この項目はUPSで設定することができません。電源管理ソフトウェアで設定してください。詳細は、電源管理ソフトウェアのユーザガイドをご覧ください。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：ON 遅延時間を「5 Sec.」（5 秒）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	0 Sec. 0 秒	UPSの起動操作後、設定した時間が経過した時点でOUTPUT1 コンセントから電力が供給されます。
	5 Sec. 5 秒	
	30 Sec. 30 秒	
	1 Min. 1 分	
	5 Min. 5 分	
	10 Min. 10 分	

- 「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」で「Enabled」（有効）に設定されていないと、設定したON遅延時間が有効になりません。
- 「3.18」の設定値を「Enabled」（有効）に確定後、「Disabled」（無効）に変更しUPSを再起動すると、この設定項目で設定した ON 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。

この場合、上記の操作で設定値を表示させると **OUT1 ON Delay >> 2 Min. (Val)** のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。

この設定値は **ITEM** を押すと表示されなくなりますが、いったん、**BACK** で戻り **SELECT** を押すと再度、表示されます。

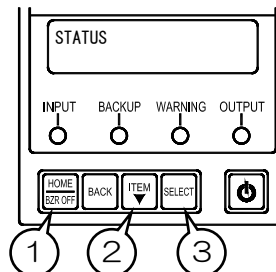
- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.21 OUTPUT2 コンセントの「ON」遅延時間を設定する

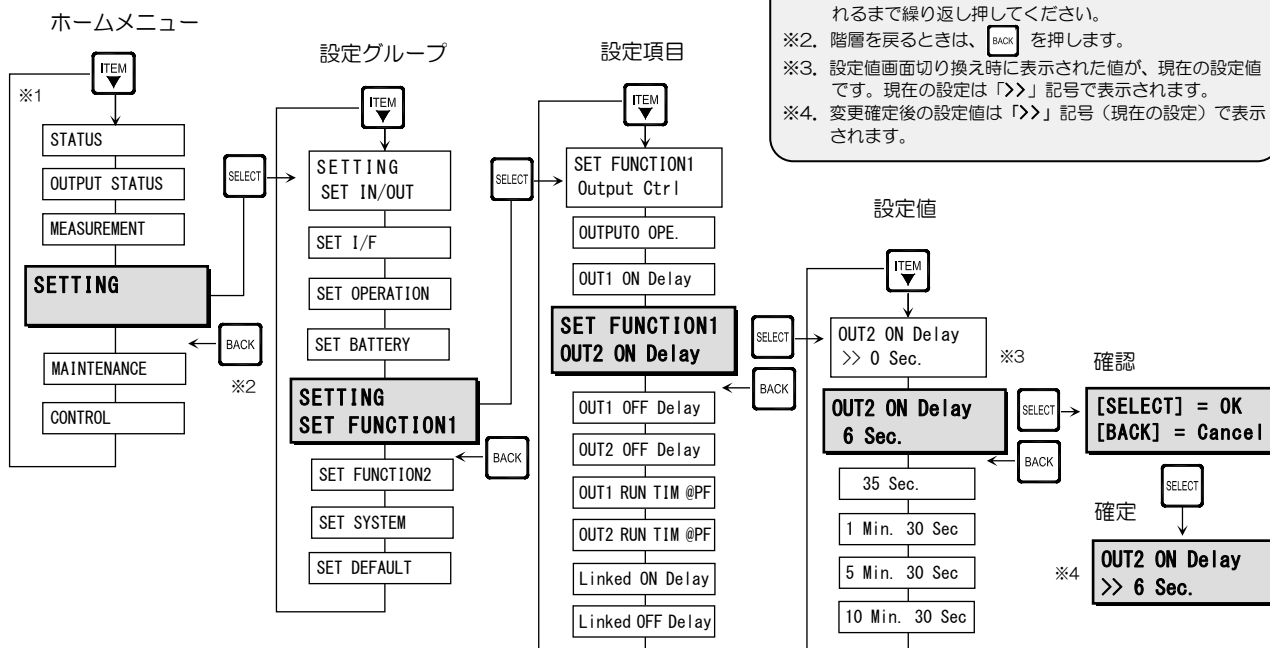
UPSを起動した後、OUTPUT2 コンセントから電力供給が開始されるタイミングを設定します。選択した時間が経過した時点でOUTPUT2 コンセントからの電力が供給されます。システムを順次起動させる場合などに設定します。

「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。電源管理ソフトウェアをご使用の場合、この項目はUPSで設定することができません。電源管理ソフトウェアで設定してください。詳細は、電源管理ソフトウェアのユーザガイドをご覧ください。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：ON 遅延時間を「6 Sec.」（6秒）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	0 Sec.	0 秒	UPSの起動操作後、設定した時間が経過した時点でOUTPUT2コンセントから電力が供給されます。
	6 Sec.	6 秒	
	35 Sec.	35 秒	
	1 Min. 30 Sec	1 分 30 秒	
	5 Min. 30 Sec	5 分 30 秒	
	10 Min. 30 Sec	10 分 30 秒	

- 「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」で「Enabled」（有効）に設定されていないと、設定したON遅延時間が有効になりません。
- 「3.18」の設定値を「Enabled」（有効）に確定後、「Disabled」（無効）に変更しUPSを再起動すると、この設定項目で設定した ON 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
この設定値は を押すと表示されなくなりますが、いったん、 で戻り を押すと再度、表示されます。

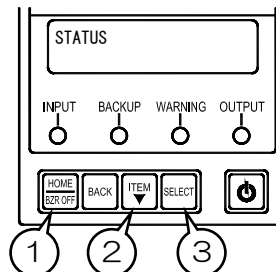
- ⑥ でホームメニューに戻ります。

3.22 OUTPUT1 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する

UPS を停止した後、OUTPUT1 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した時間が経過した時点で OUTPUT1 コンセントからの電力が停止します。システムを順次停止させる場合などに設定します。

「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。電源管理ソフトウェアをご使用の場合、この項目は UPS で設定することができません。電源管理ソフトウェアで設定してください。詳細は、電源管理ソフトウェアのユーザガイドをご覧ください。

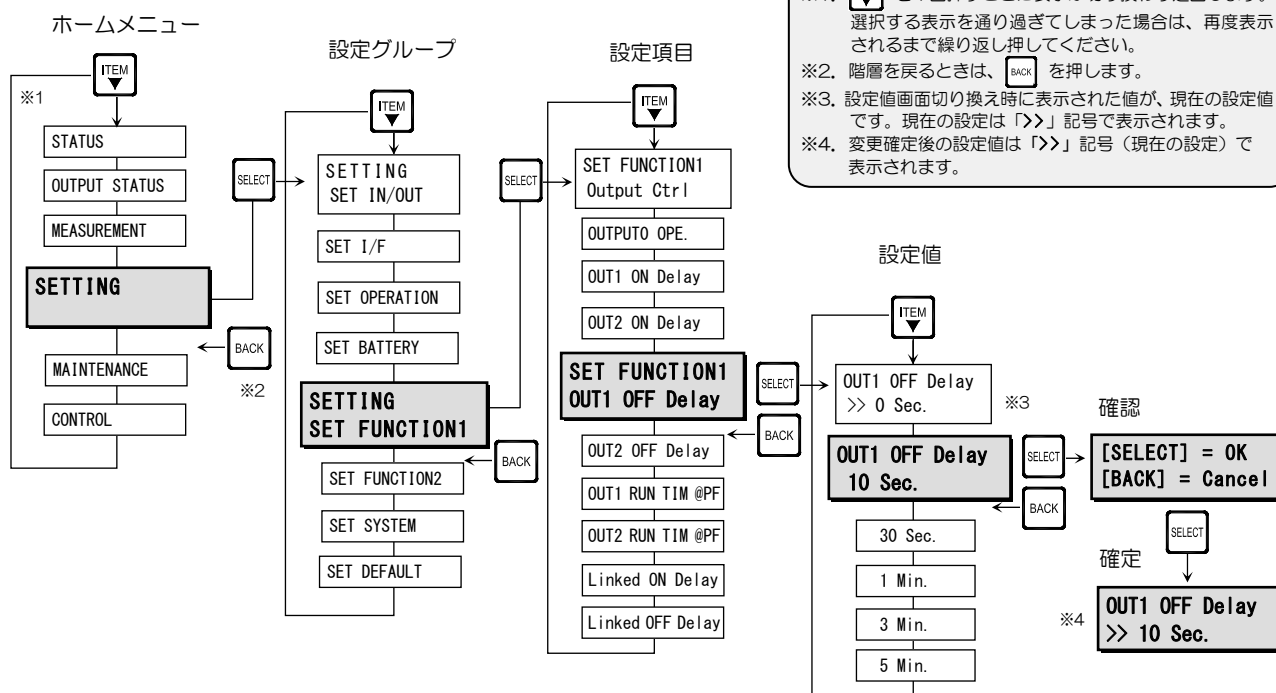
- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：OFF 遅延時間を「10 Sec.」（10 秒）に設定する場合

ポイント

- ※1. を 1 回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	0 Sec. 0 秒	UPS の停止操作後、設定した時間が経過した時点で OUTPUT1 コンセントからの電力が停止します。
	10 Sec. 10 秒	
	30 Sec. 30 秒	
	1 Min. 1 分	
	3 Min. 3 分	
	5 Min. 5 分	

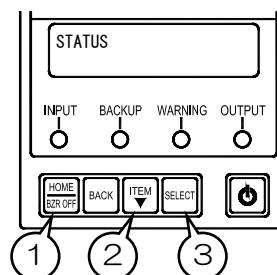
- ⑥ でホームメニューに戻ります。
- 「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」で「Enabled」（有効）に設定されていないと、設定した OFF 遅延時間が有効になりません。
- 「3.18」の設定値を「Enabled」（有効）に確定後、「Disabled」（無効）に変更し UPS を再起動すると、この設定項目で設定した OFF 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。この設定値は を押すと表示されなくなりますが、いったん、 で戻り を押すと再度、表示されます。

3.23 OUTPUT2 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する

UPS を停止した後、OUTPUT2 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した時間が経過した時点で OUTPUT2 コンセントからの電力が停止します。システムを順次停止させる場合などに設定します。

「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

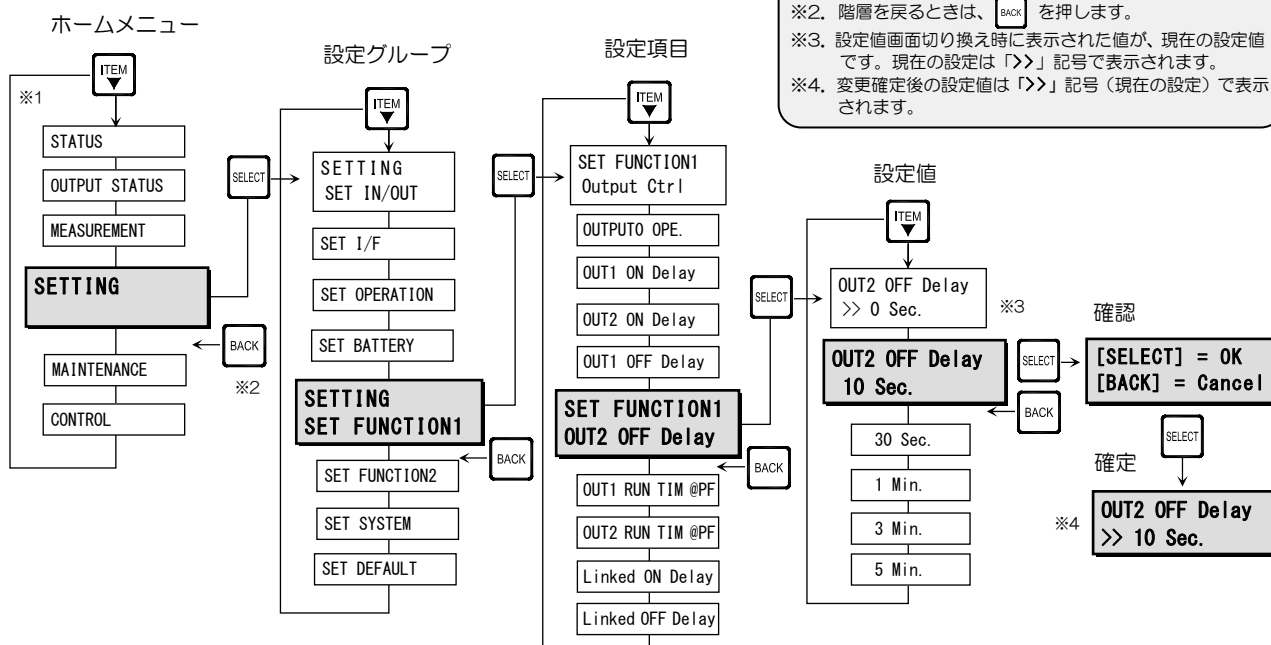
- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：OFF 遅延時間を「10 Sec.」（10 秒）に設定する場合

ポイント

- ※1. を 1 回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	0 Sec.	0 秒
	10 Sec.	10 秒
	30 Sec.	30 秒
	1 Min.	1 分
	3 Min.	3 分
	5 Min.	5 分
		UPS の停止操作後、設定した時間が経過した時点で OUTPUT2 コンセントからの電力が停止します。

- 「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」で「Enabled」（有効）に設定されていないと、設定した OFF 遅延時間が有効になりません。
- 「3.18」の設定値を「Enabled」（有効）に確定後、「Disabled」（無効）に変更し UPS を再起動すると、この設定項目で設定した OFF 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。この設定値は を押すと表示されなくなりますが、いったん、 で戻り を押すと再度、表示されます。

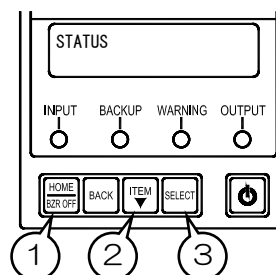
- ⑥ でホームメニューに戻ります。

3.24 OUTPUT1 コンセントの停電時出力時間を設定する

停電が発生した時点から OUTPUT1 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した設定値になった時点で OUTPUT1 コンセントからの電力が停止します。

「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

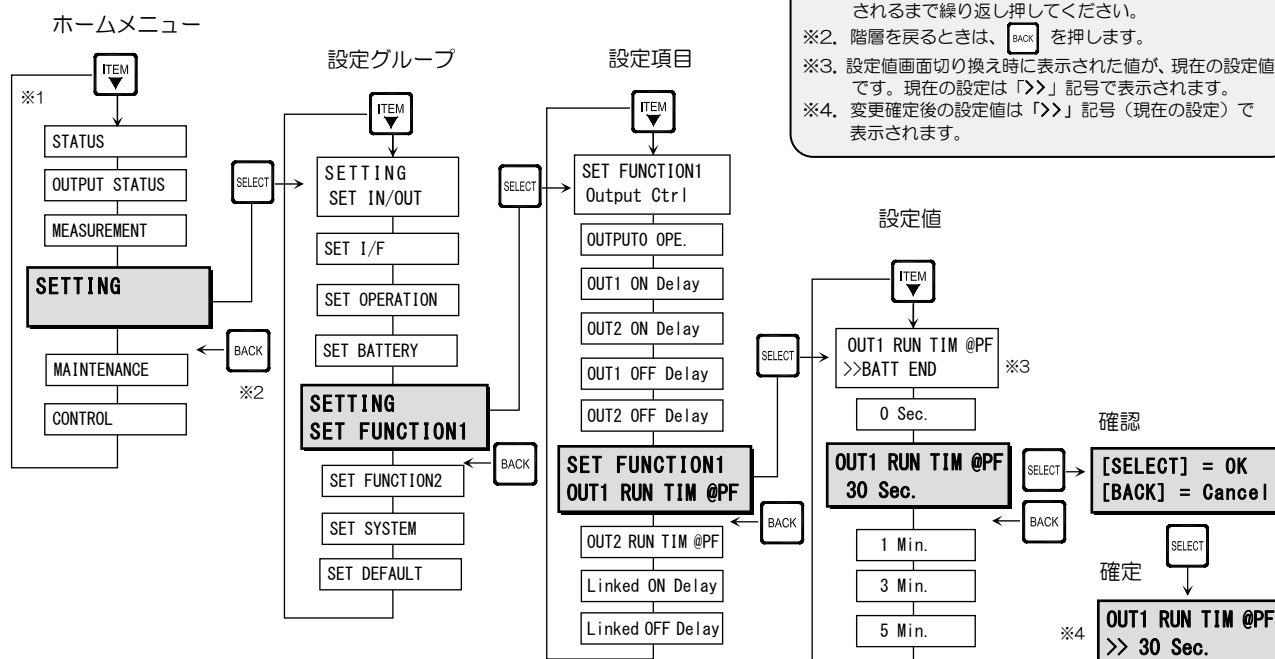
- ①  を押して LCD 画面を表示させます。
- ②  を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③  を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤  で設定値を切り換え、設定する値を  で選択し、確認画面で再度  を押して確定します。



例：停電時出力時間を「30 Sec.」（30 秒）に設定する場合

ポイント

- ※1.  を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定	BATT END	放電終止まで
	0 Sec.	0 秒
	30 Sec.	30 秒
	1 Min.	1 分
	3 Min.	3 分
	5 Min.	5 分

- ・「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」で「Enabled」（有効）に設定されていないと、設定したOFF 遅延時間が有効になりません。
- ・この機能は、「3.3 インタフェースを設定する」で「Standalone」（スタンドアロン）に設定されていないと有効になりません。
- ・電源管理ソフトウェアを使用する場合は、「BATT END」（放電終止まで）以外の設定値に設定しないでください。

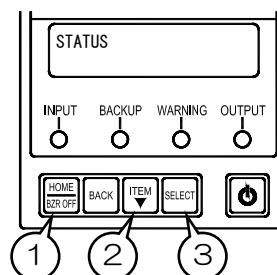
- ⑥  でホームメニューに戻ります。

3.25 OUTPUT2 コンセントの停電時出力時間を設定する

停電が発生した時点から OUTPUT2 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した設定値になった時点で OUTPUT2 コンセントからの電力が停止します。

「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

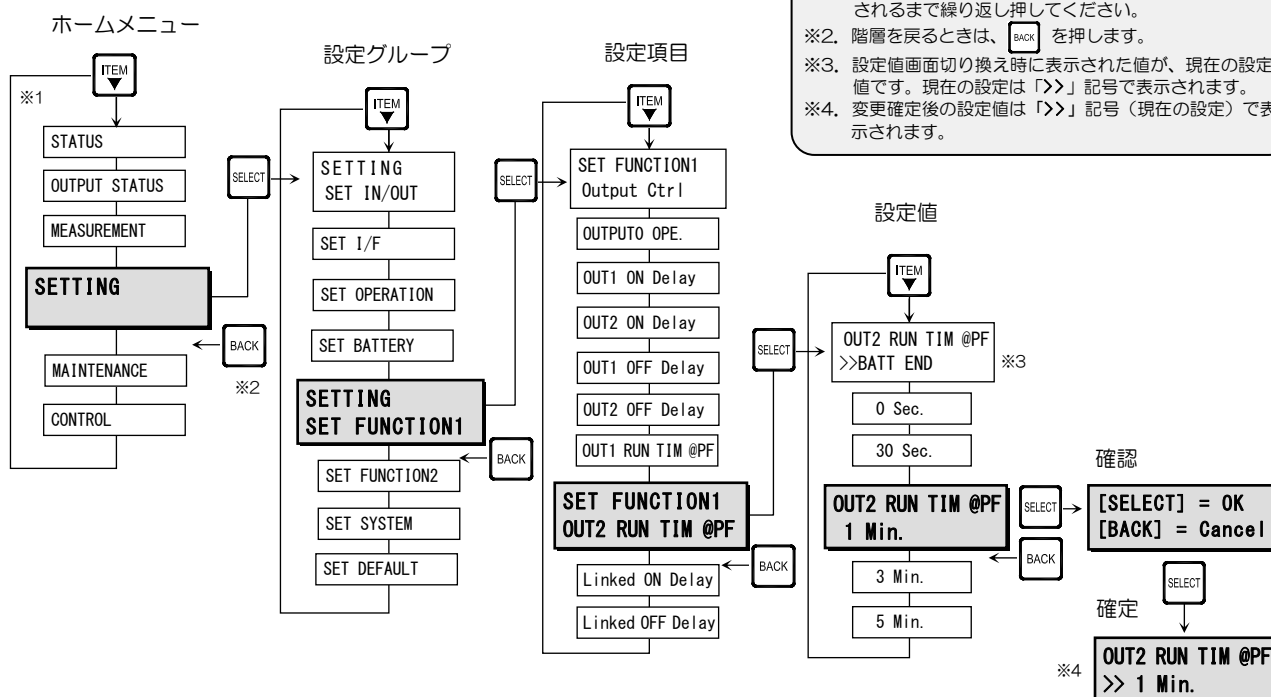
- ① **HOME B2R OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：停電時出力時間を「1 Min.」（1 分）に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	BATT END	放電終止まで
	0 Sec.	0 秒
	30 Sec.	30 秒
	1 Min.	1 分
	3 Min.	3 分
	5 Min.	5 分

- 「3.18 系統コントロールの有効／無効を設定する」で「Enabled」（有効）に設定されていないと、設定したOFF 遅延時間が有効になりません。
- この機能は、「3.3 インタフェースを設定する」で「Standalone」（スタンドアロン）に設定されていないと有効になりません。
- 電源管理ソフトウェアを使用する場合は、「BATT END」（放電終止まで）以外の設定値に設定しないでください。

- ⑥ **HOME B2R OFF** でホームメニューに戻ります。

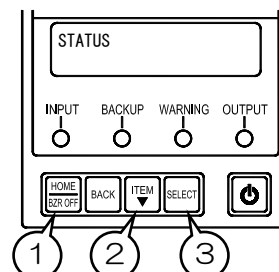
3.26 連動運転*時の「ON」遅延時間を設定する

連動運転をする場合の「ON」遅延時間を設定します。複数台のUPSを接続している場合は、それぞれのUPSに「ON」遅延時間を設定してください。

*連動運転とは・・・

複数台（最大5台）のUPSをケーブルで接続、それぞれのUPSにON/OFF遅延時間を設定し、順次、起動/停止させる運転方法を連動運転と呼びます。オプションの連動ケーブルとリモートスイッチが必要です。

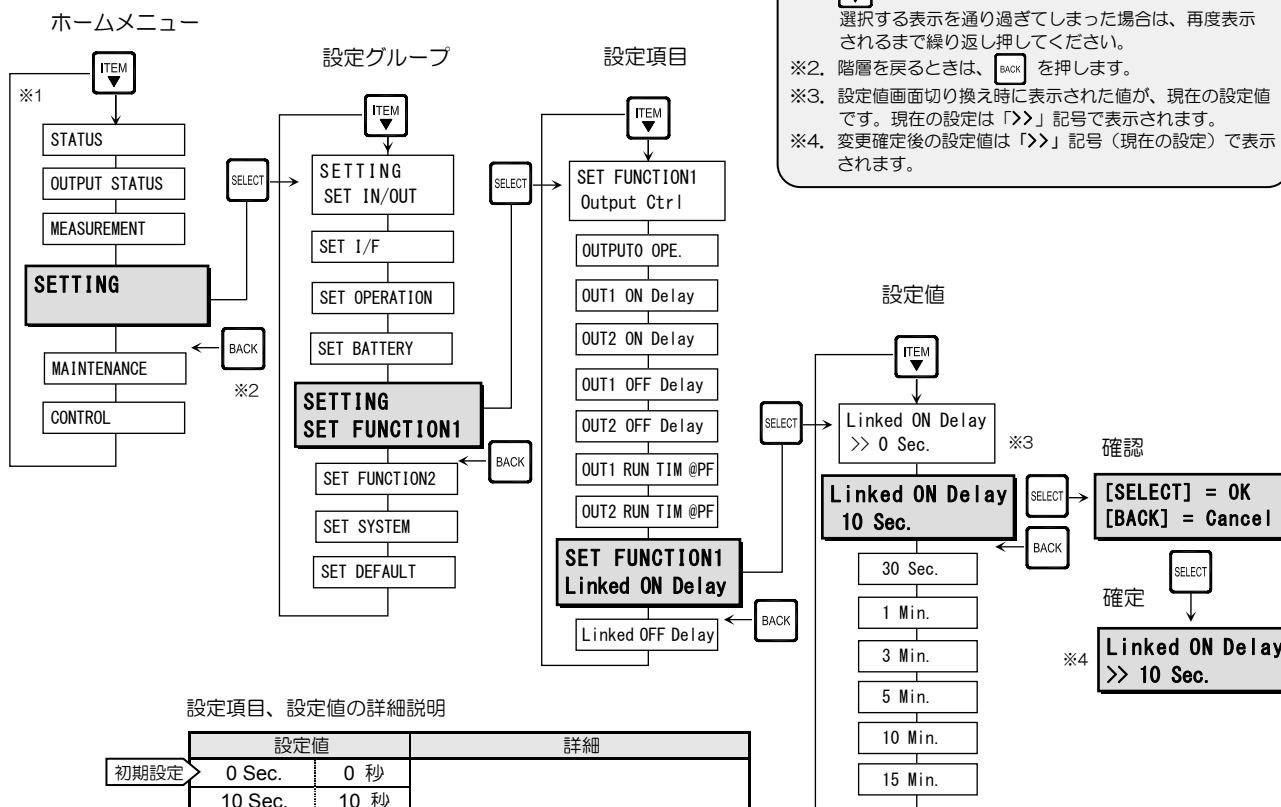
- ① **HOME** **BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：ON 遅延時間を「10 Sec.」（10 秒）に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	0 Sec.	0 秒
	10 Sec.	10 秒
	30 Sec.	30 秒
	1 Min.	1 分
	3 Min.	3 分
	5 Min.	5 分
	10 Min.	10 分
	15 Min.	15 分

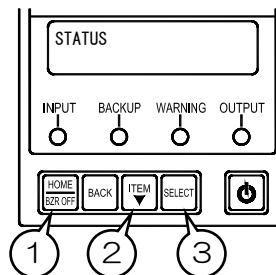
UPSが複数台の場合は、それぞれのUPSの設定値にしたがい、順次電力が供給されます。1台の場合は設定した時間が経過した時点で電力が供給されます。

- ⑥ **HOME** **BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.27 連動運転時の「OFF」遅延時間を設定する

連動運転をする場合の「OFF」遅延時間を設定します。複数台のUPSを接続している場合は、それぞれのUPSに「OFF」遅延時間を設定してください。

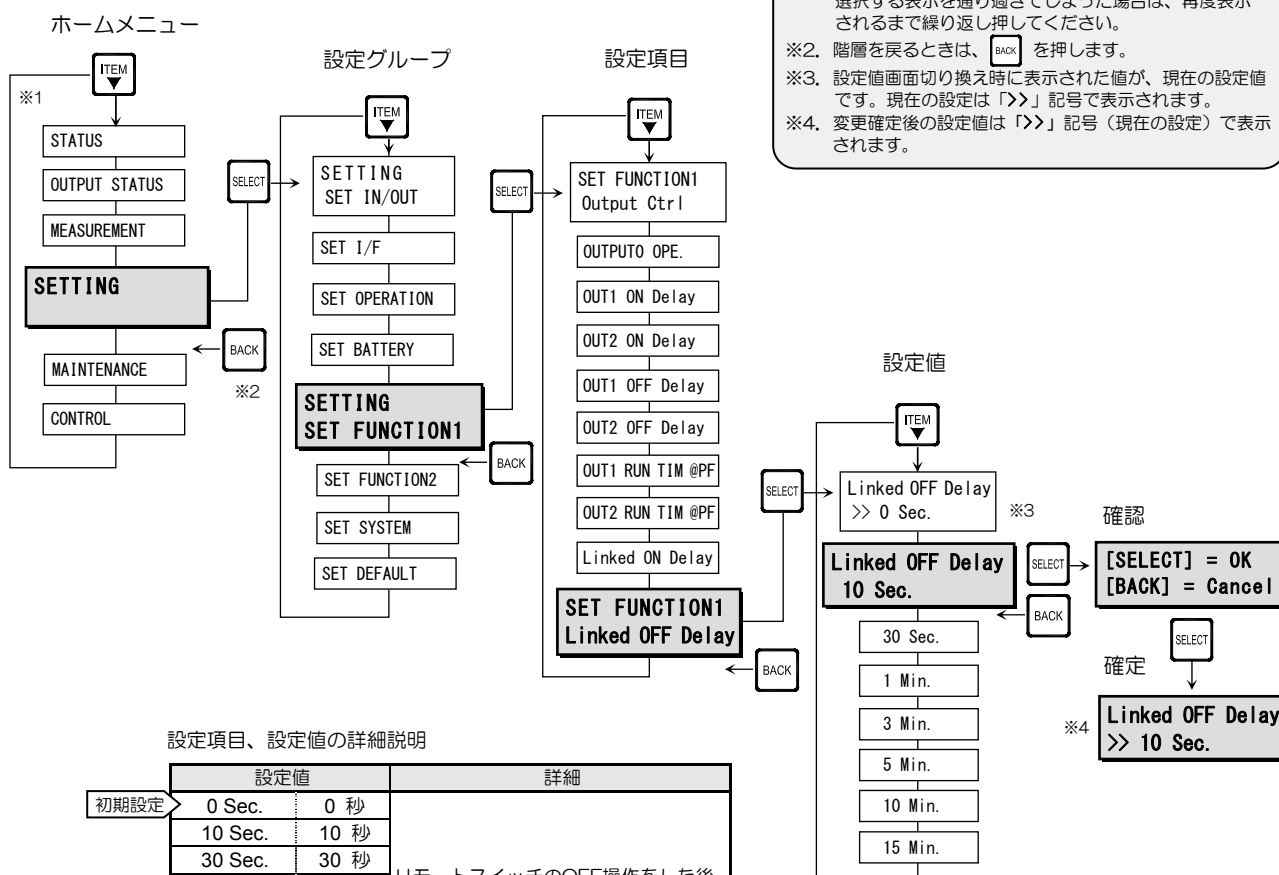
- ① **HOME BSR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：OFF 遅延時間を「10 Sec.」（10 秒）に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	0 Sec. 0 秒	リモートスイッチのOFF操作をした後、設定した時間が経過した時点で電力供給が停止します。
	10 Sec. 10 秒	
	30 Sec. 30 秒	
	1 Min. 1 分	
	3 Min. 3 分	
	5 Min. 5 分	
	10 Min. 10 分	
	15 Min. 15 分	

UPSが複数台の場合は、それぞれのUPSの設定値にしたがい、順次電力供給が停止します。1台の場合は設定した時間が経過した時点で電力供給が停止します。

- ⑥ **HOME BSR OFF** でホームメニューに戻ります。

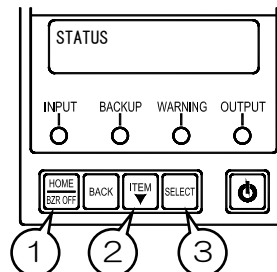
3.28 RING信号*の設定をする

UPS起動時にRING信号を出力するか、しないかを設定します。

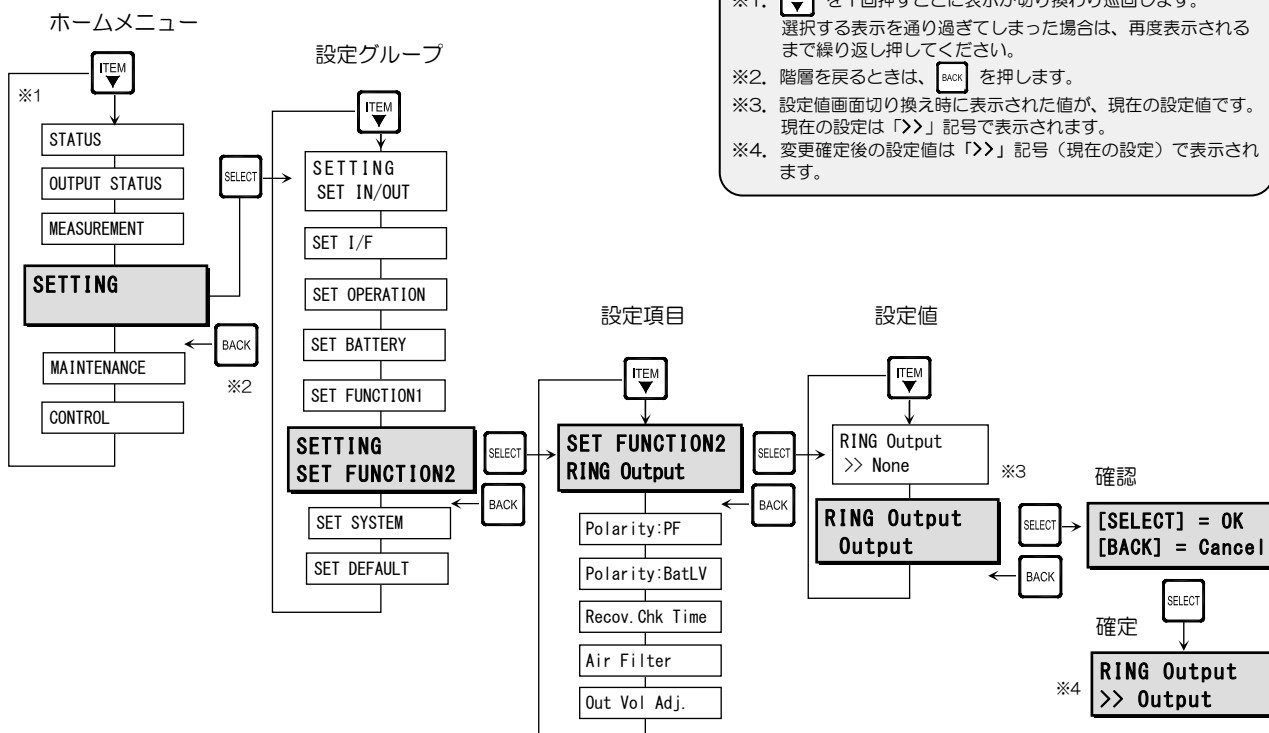
* RING 信号とは・・・

UPSの起動時に、接続されているコンピュータを自動的に起動させる信号です。
Wake Up on Ring機能に対応したコンピュータとUPSがオプションの通信ケーブルで接続されている場合に有効になります。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：Ring 信号を「Output」（出力する）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	None	RING 信号は出力されません。
	Output	UPS 起動時に RING 信号が出力されます。

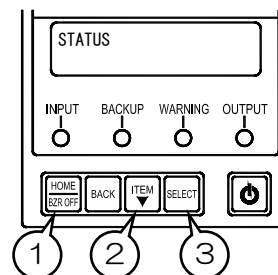
「Output」に設定すると、電源が供給されただけでは起動しないコンピュータをUPSの起動時に、自動的に起動させることができます。
Wake Up on Ring 機能に対応したコンピュータのみに有効です。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

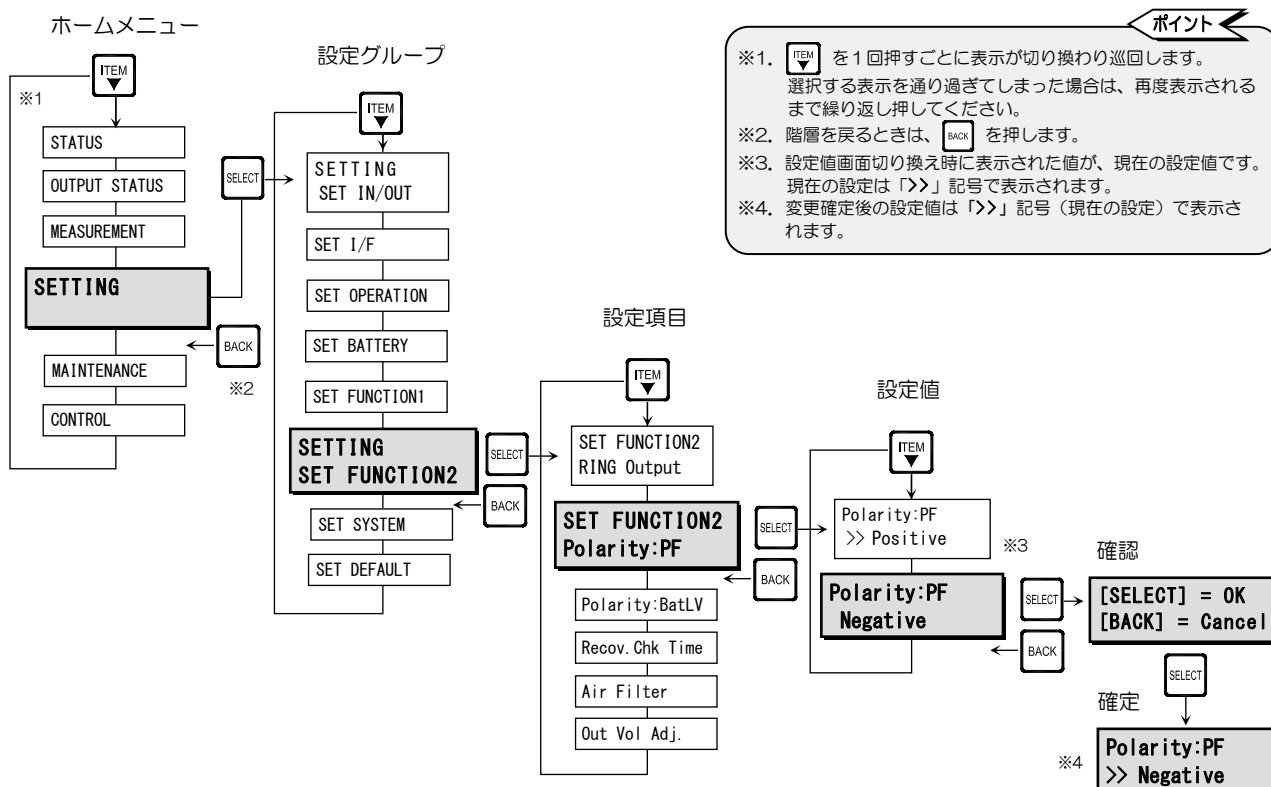
3.29 PC I/F RS-232C の停電信号の極性を設定する

UPS 背面の PC I/F RS-232C コネクタから出力される停電信号の極性を設定します。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：停電信号の極性を「Negative」（負）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 Positive	正 停電信号の極性は「正」に設定されます。
Negative	負 停電信号の極性は「負」に設定されます。

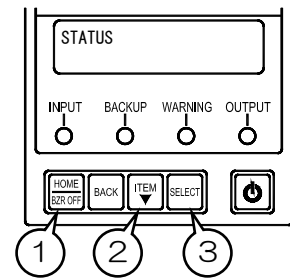
詳細は、UPSの取扱説明書「5.8 PC I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

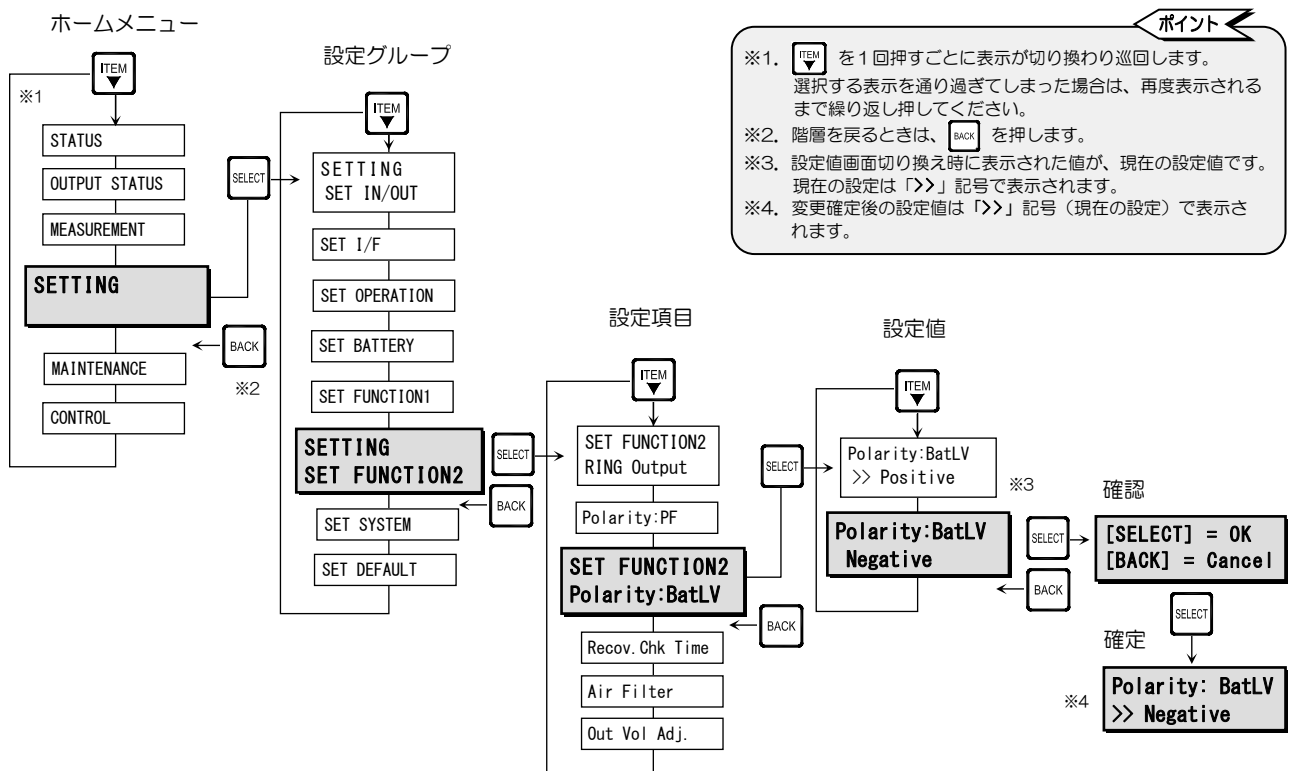
3.30 PC I/F RS-232C のバッテリー電圧低下信号の極性を設定する

UPS 背面の PC I/F RS-232C コネクタから出力されるバッテリー電圧低下信号の極性を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリー電圧低下信号の極性「Negative」（負）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	Positive	正
	Negative	負

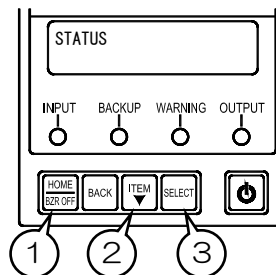
詳細は、UPS の取扱説明書「5.8 PC I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

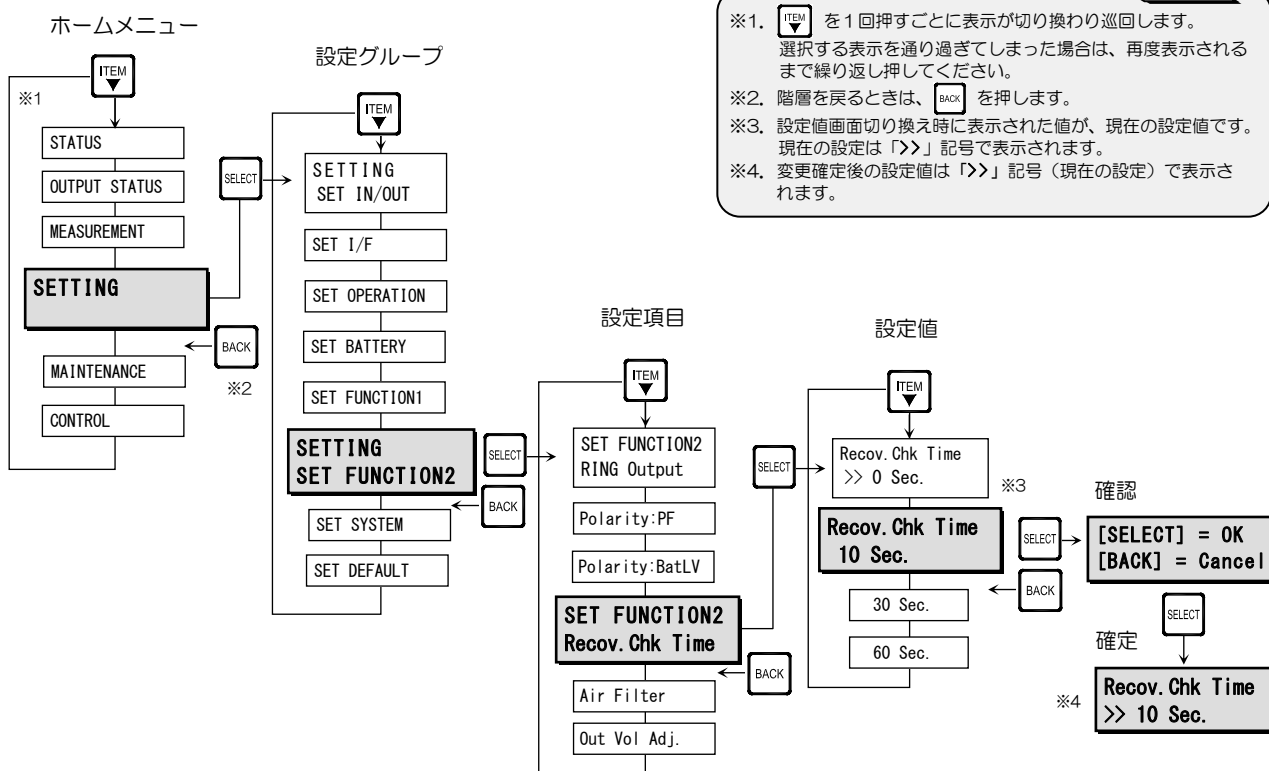
3.31 復電確認時間を設定する

停電発生時、UPSがバッテリー放電終止により停止した後、商用電源が復帰したとき、UPSが復電したと認識するまでの時間を設定します。

- ① **HOME BSR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：復電時確認時間を「10 Sec.」（10 秒）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	0 Sec. 0 秒	停電時、UPSが放電終止により停止した後、停電が復帰したとき、設定した時間が経過した時点でUPSは停電が回復したと認識します。
	10 Sec. 10 秒	
	30 Sec. 30 秒	
	60 Sec. 60 秒	

- ⑥ **HOME BSR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.32 エアフィルタを使用 する／しない を設定する

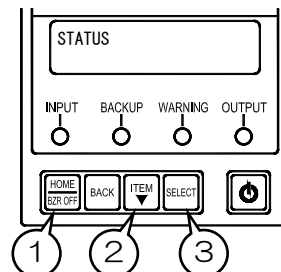
UPSの正面パネルにエアフィルタ（オプション）を取り付けるか、取り付けないかを設定します。エアフィルタを取り付ける場合は、設定値を変更してください。

なお、この設定値を変更してもエアフィルタは自動的ににはセットされません。
エアフィルタの取扱説明書をご覧ください、エアフィルタを取り付けてください。

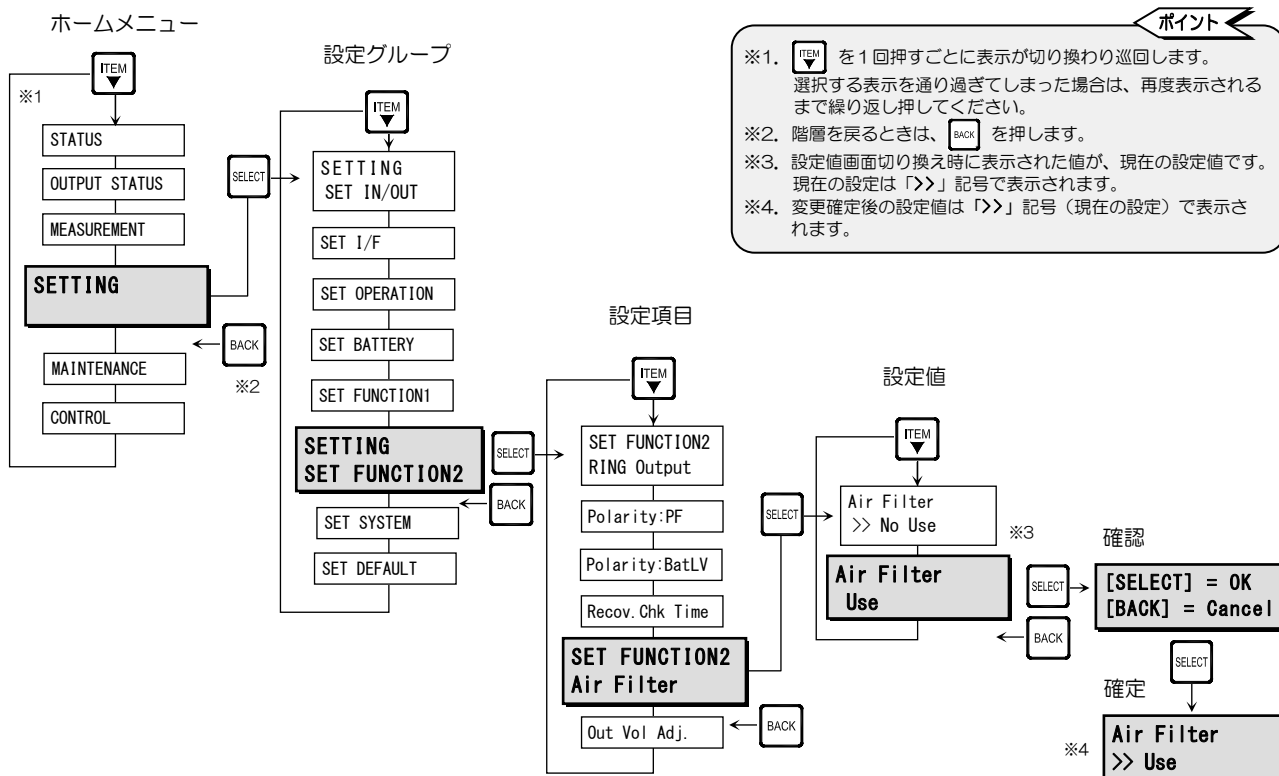
ご注意

エアフィルタにはオプション品を使用し、指定以外のものは使用しないでください。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：エアフィルタを使用する場合の設定



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	No Use	使用しない エアフィルタを使用しない場合
	Use	使用する エアフィルタを使用する場合

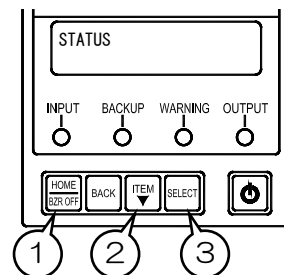
設定値により、UPS内部冷却用のファンモータの制御が異なります。
実際のエアフィルタの使用状況と、異なる設定値に設定されていると
UPSが正常に動作しないことがあります。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

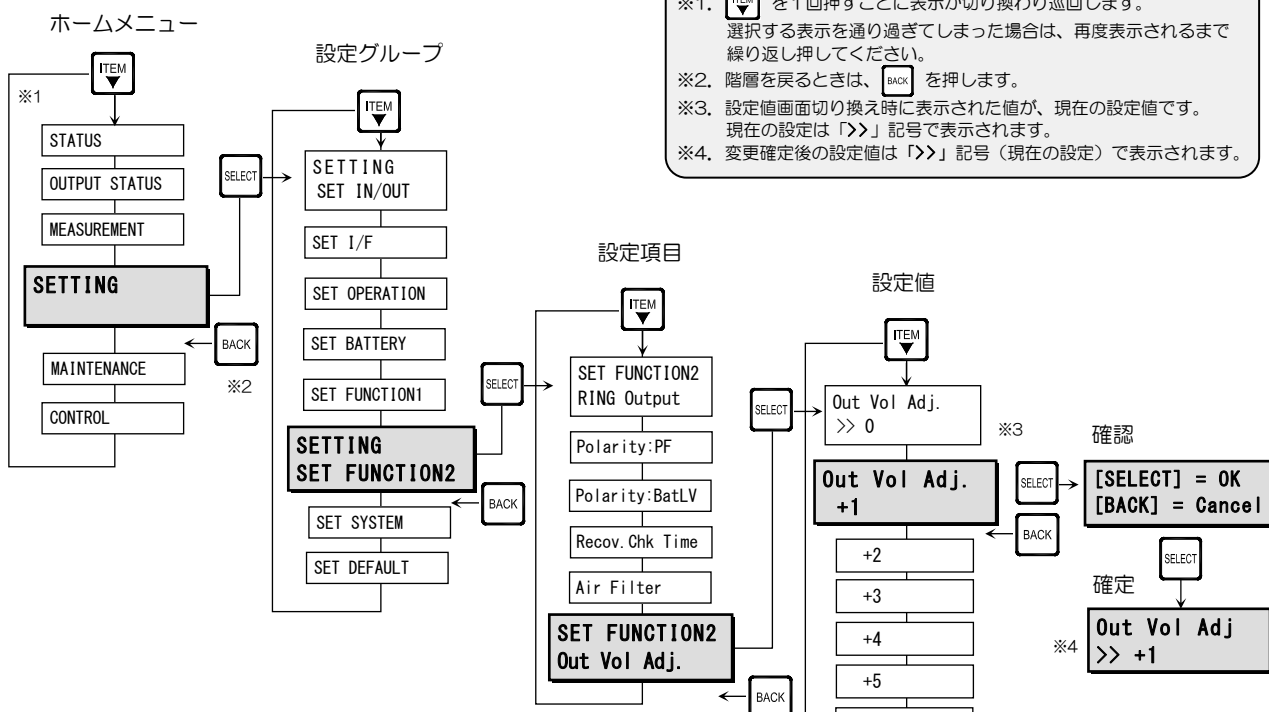
3.33 出力電圧の調整値を設定する

「3.1 電圧を設定する」で設定した出力電圧に対する調整値を設定します。
マイナス側に5段階、プラス側に5段階（約-5V～+5V）の範囲で調整できます。

- ① **HOME** **BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：調整値を「+1」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
+5	プラス側に5段階(約5V)高く設定されます。
+4	プラス側に4段階(約4V)高く設定されます。
+3	プラス側に3段階(約3V)高く設定されます。
+2	プラス側に2段階(約2V)高く設定されます。
+1	プラス側に1段階(約1V)高く設定されます。
初期設定 0	設定電圧のまま出力されます。
-1	マイナス側に1段階(約1V)低く設定されます。
-2	マイナス側に2段階(約2V)低く設定されます。
-3	マイナス側に3段階(約3V)低く設定されます。
-4	マイナス側に4段階(約4V)低く設定されます。
-5	マイナス側に5段階(約5V)低く設定されます。

調整値1段階は約1Vです。

「3.1 電圧を設定する」で設定した出力電圧に対して、選択した値が調整されます。
接続している負荷の状態や設置環境に応じて設定してください。

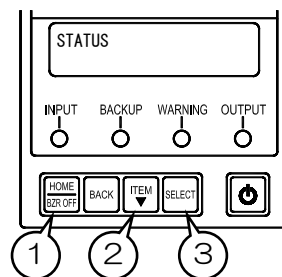
なお、この調整値は、出力電圧のみに適用されます。交流入力電圧の範囲は変わりません。

- ⑥ **HOME** **BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

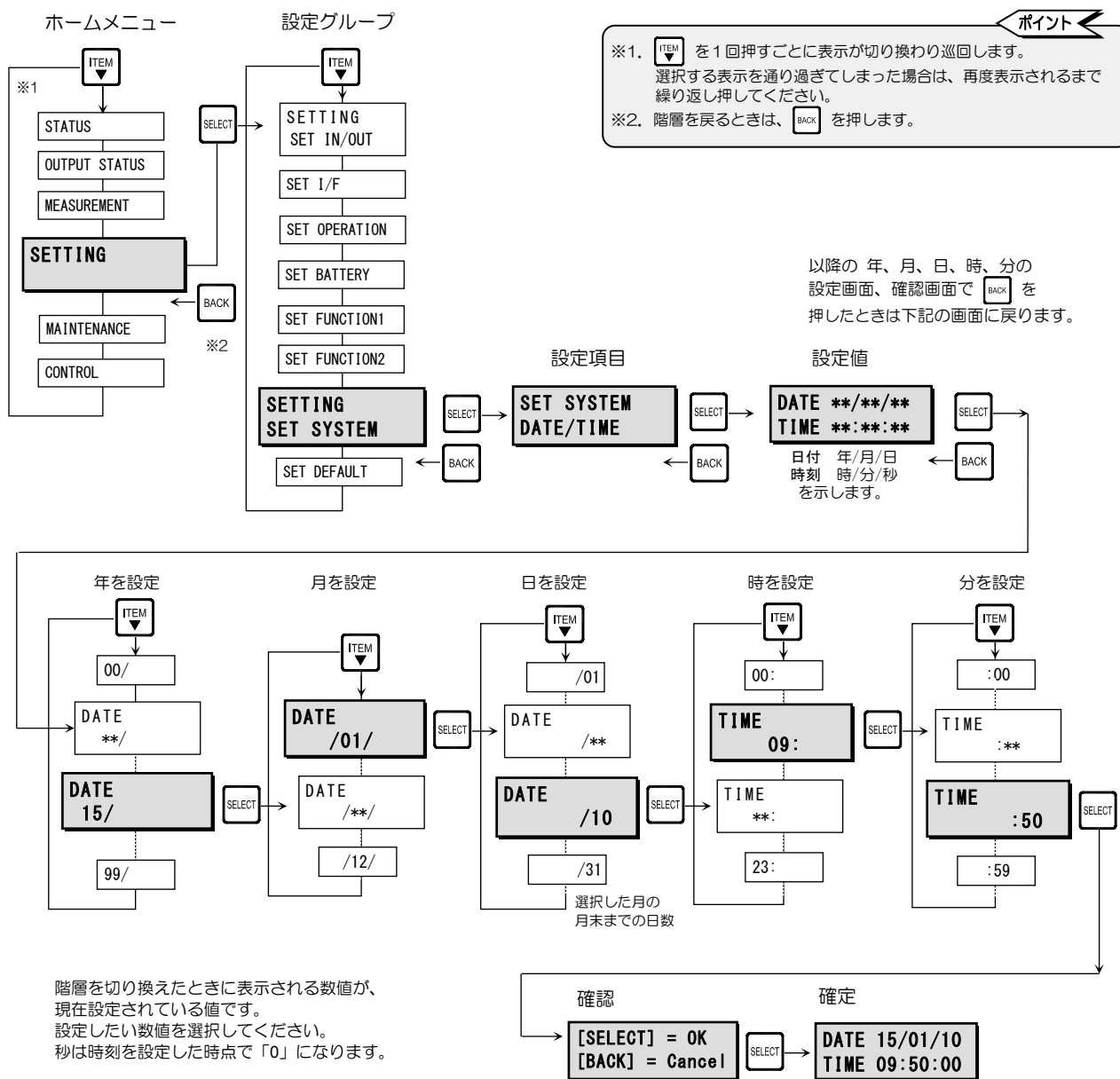
3.34 時刻を設定する

UPSの時刻を設定します。工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。

- ① **HOME** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で切り換え、設定する値を **SELECT** で選択します。この操作を繰り返し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：時刻を「2015年1月10日9時50分」に設定する場合

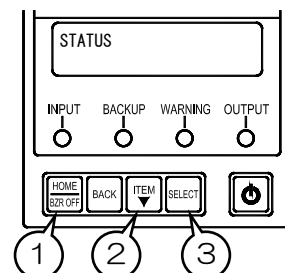


- ⑥ **HOME** を押してホームメニューに戻ります。

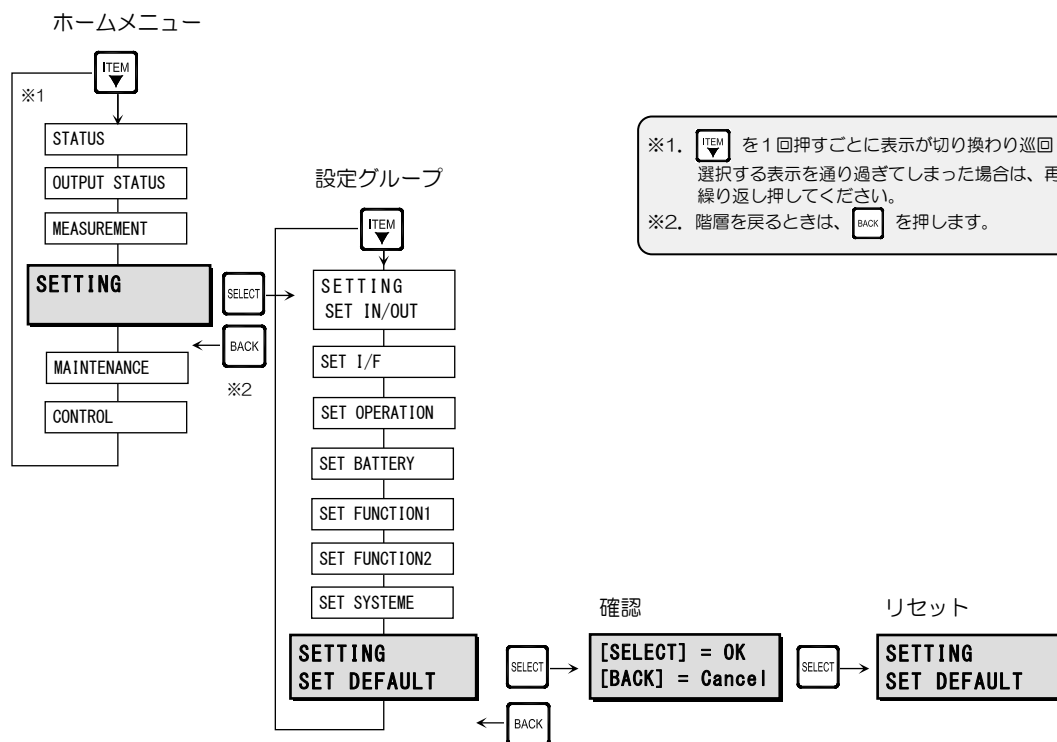
3.35 設定値をリセットする

3.1～3.34 までの設定項目の設定値を工場出荷時の初期設定にリセットします。
初期設定は「3. UPS の設定をする」の設定項目一覧表で確認してください。
この操作をすると、すべての設定項目の設定値がリセットされます。設定項目ごとにリセットすることはできません。
いったんリセットした設定値をもとに戻すことはできません。

- ①  を押して LCD 画面を表示させます。
- ②  を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③  を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」へ進みます。
- ⑤  を押し確認画面を表示させ、再度  を押してリセットします。



例：設定をリセットする場合



ポイント

- ※1.  を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。

- ⑥  でホームメニューに戻ります。

ご注意

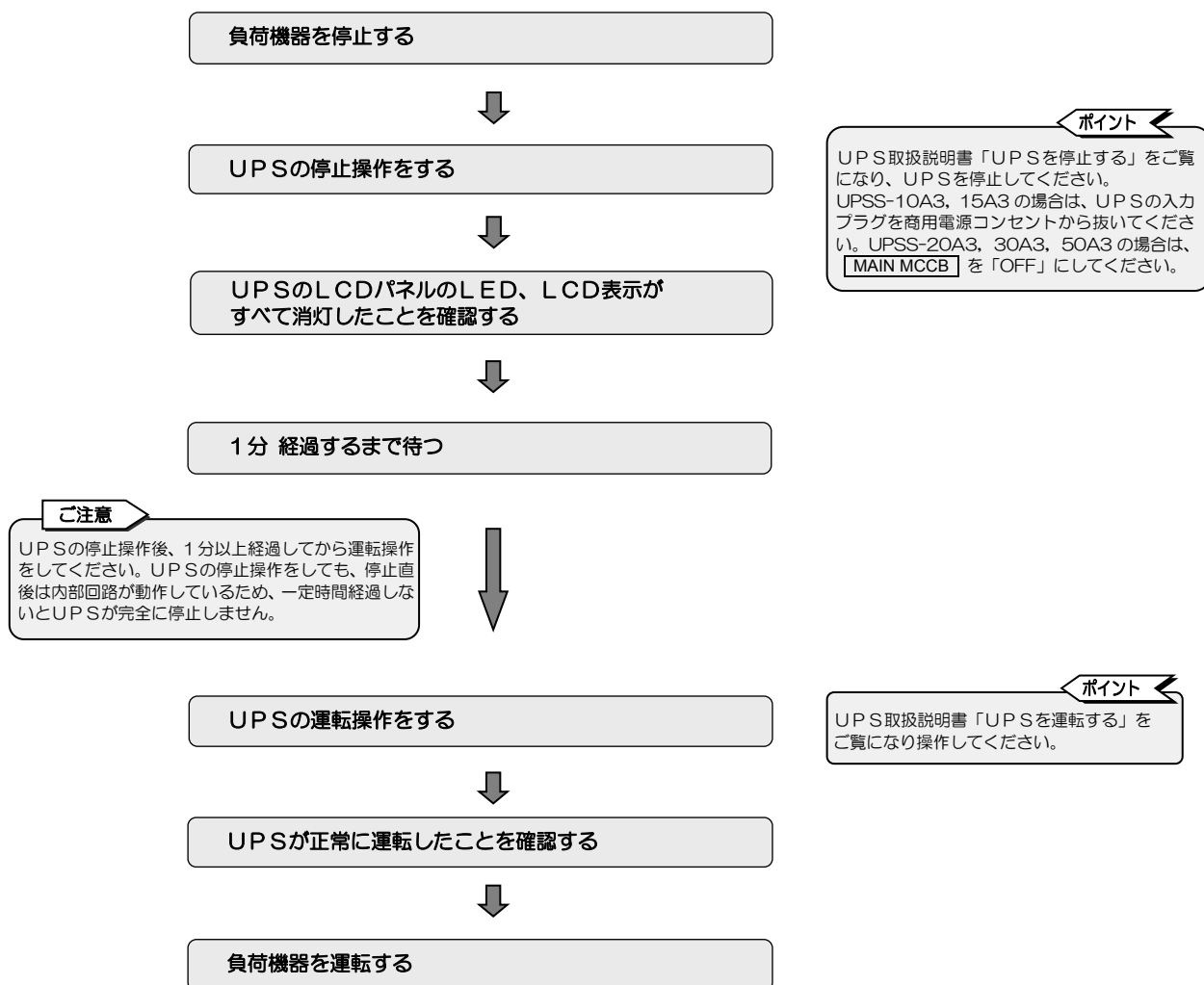
リセット操作により、UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された場合は、UPSの再起動が必要です。
この場合、UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されますので、「3.36 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。

3.36 UPSを再起動※する

※再起動とは・・・

運転中のUPSをいったん停止し、もう一度運転することです。
LCDパネル操作説明書（本書）、またはUPS取扱説明書に、設定メニューの設定値変更を有効にするときなど「UPSを再起動してください。」と記載されている場合は、運転中のUPSを停止し、指定された時間が経過してから、再度UPSを運転してください。

9～10 ページの設定項目一覧表の設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。「★」印のメニューの設定値を変更した場合は、下記の手順をご覧になり、UPSを再起動してください。UPSの停止、起動操作はUPSのモデルにより異なります。詳細はUPS取扱説明書「4.2 UPSの運転操作」の項目をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。



4. UPSの操作をする

「UPSの起動・停止」、「バッテリーテスト」、「バイパス切換」の3つの操作を、コントロールメニューから実行することができます。操作方法の詳細は、4.1～4.4の各項目をご覧ください。

操作項目一覧表

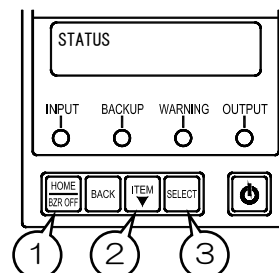
ホームメニュー：CONTROL

操作項目		表示項目		表示内容				参照項目	参照ページ
表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
INV ON	UPS の起動	[SELECT] = OK	起動	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了	4.1	48
		[BACK] = Cancel	取り消し						
INV OFF	UPS の停止	[SELECT] = OK	停止	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了		
		[BACK] = Cancel	取り消し						
BATTERY TEST	バッテリーテスト	Start	テスト実行	[SELECT] = OK	実行する	Control NG	実行中止	4.2	49
				[BACK] = Cancel	取り消し	Control OK	正常終了		
		Cancel (バッテリーテスト中)	テスト中止	[SELECT] = OK	中止する	Control NG	実行中止		
				[BACK] = Cancel	テスト継続	Control OK	正常終了		
		Status	テスト状態	BATTST Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能	4.3	51
						Impossible	テスト開始不可		
						Testing	テスト中		
				Last Test Time	前回テスト実施日	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分		
				Last Result	前回の テスト結果	BATTST:OK	正常		
						BATTST:NG	異常		
						BATTST:No Result	前回履歴なし		
						BATTST>Error	エラー		
						BATTST:Suspended	中断		
BYPASS	バイパス運転 切り換え	[SELECT] = OK	切り換える	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了	4.4	52
		[BACK] = Cancel	取り消し						

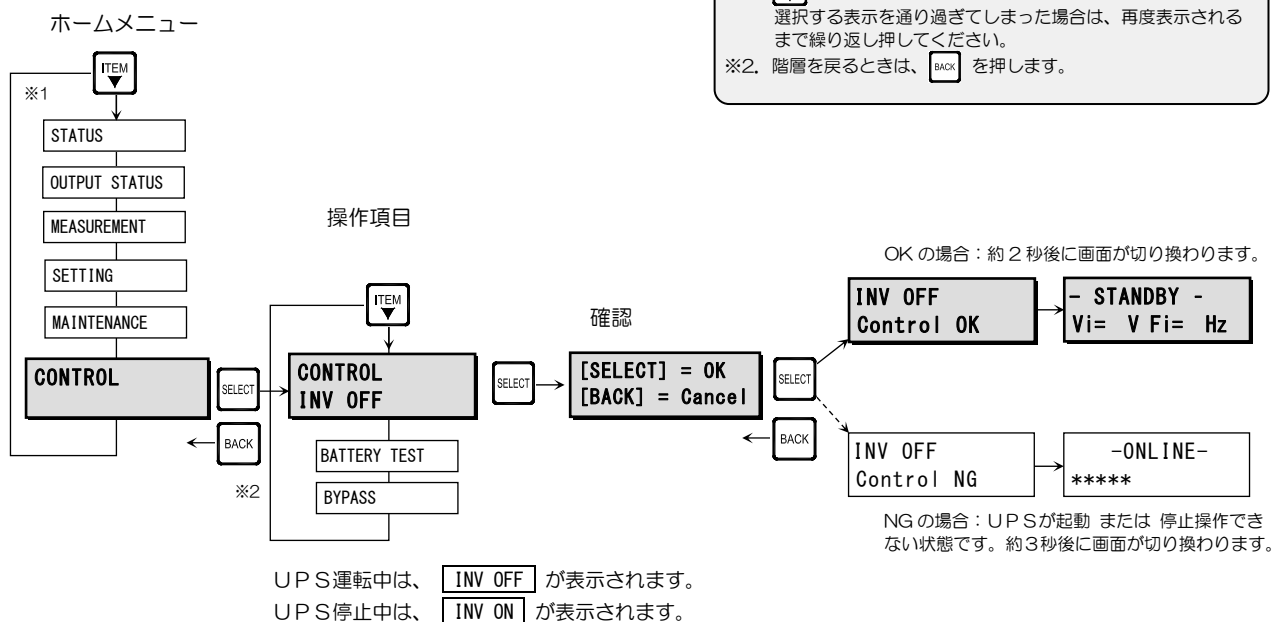
4.1 UPSを起動する または 停止する

LCDパネルのコントロールメニューから、UPSの起動、停止の操作をすることができます。
UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

- ① **HOME** **SCR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で操作する項目を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：UPSを停止する



起動・停止操作についてのご注意

下記の状態のときは、操作はできません。

➤ 起動操作ができない状態

- ① インバータ起動中
- ② 入力電圧、入力周波数が定格範囲外の場合
- ③ UPS故障中

④ Remote OFF 信号連続入力中

⑤ EPO 信号入力中

⑥ インバータ/バイパス切換スイッチが「BYP.」側の場合。

➤ 停止操作ができない状態

- ① バイパス運転中
- ② インバータ停止中

ON/OFFボタンによる起動・停止操作

LCDパネルの **ON/OFF** ボタンでも、UPSの起動・停止操作ができます。
詳細は、UPS取扱説明書「UPSの運転操作」をご覧ください。

- ⑥ **HOME** **SCR OFF** でホームメニューに戻ります。

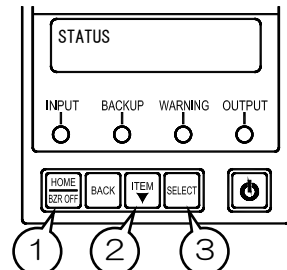
4.2 バッテリテストをする

バッテリーの状態をテストします。出荷時に180日に1回、自動的にバッテリーテストが実施されるように設定されています。
 手でバッテリーテストをする場合は下記の手順で実施してください。
 バッテリーテストは負荷を停止させることなく実施できます。ただし、バッテリーテスト実施前の12時間以内にUPSがバッテリー運転をしていると、バッテリーテスト結果が異常になることがありますので、12時間以内にバッテリー運転をしていない状態で実施してください。

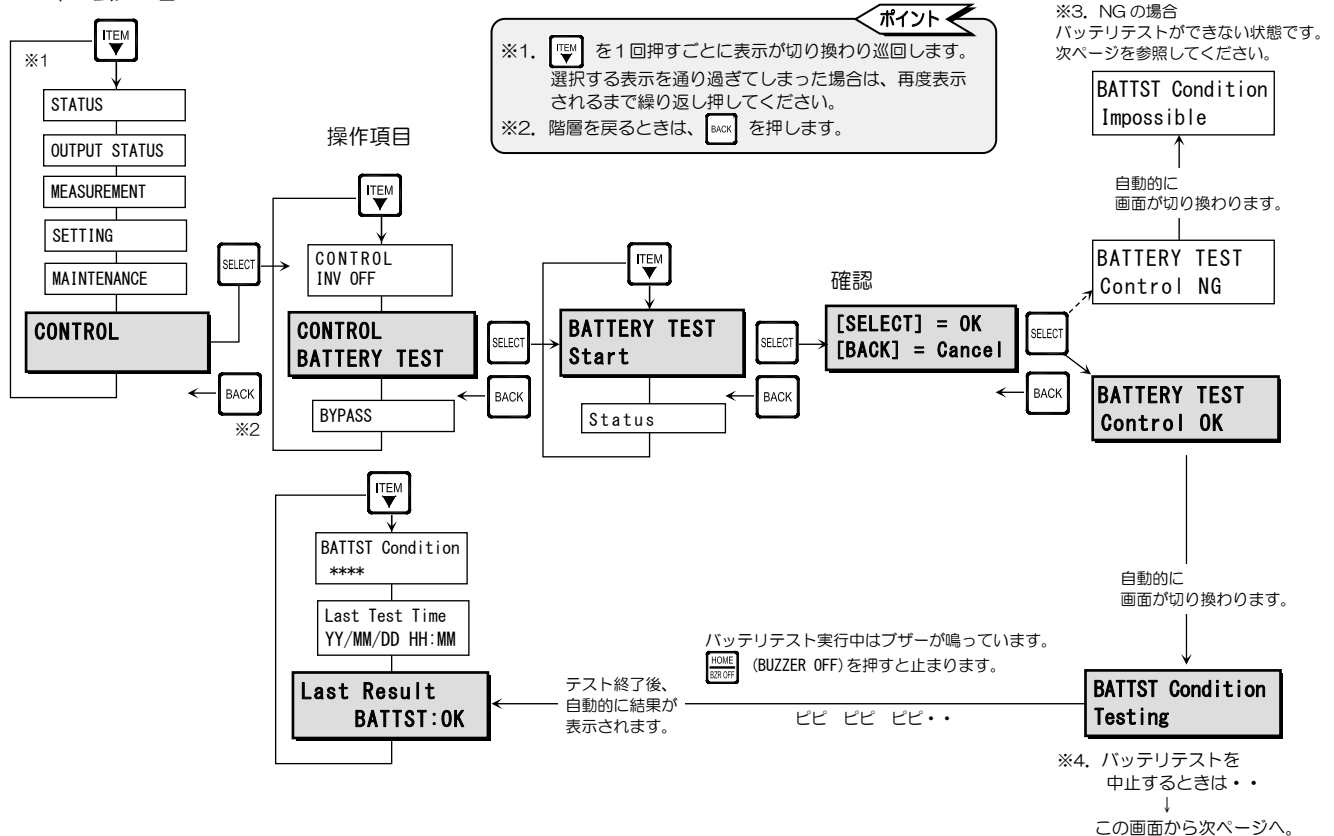
ポイント

- バッテリーテストを実施する時間(分)を設定することができます。「3.16 バッテリーテストの実行時間を設定する」をご覧ください。
- 自動で定期的にバッテリーテストを実施させる期間(日数)を変更することができます。「3.17 バッテリーテストのスケジュールを設定する」をご覧ください。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で操作する項目を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



ホームメニュー



バッテリーテストの表示項目

項目		内容	
表示	内容	表示	内容
BATTST Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能
		Impossible	テスト開始不可
		Testing	テスト中
Last Test Time	前回のバッテリーテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/**:**」が表示された場合は、前回のバッテリーテスト結果がない状態です。
Last Result	バッテリーテスト結果	BATTST:OK	バッテリーは正常です。
		BATTST:NG	バッテリーが異常の可能性があります。
		BATTST:No Result	バッテリーテストの前回履歴がありません。
		BATTST>Error	エラー発生。何らかの要因によりバッテリーテストができませんでした。
		BATTST:Suspended	テストが中断されました。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

バッテリーテストについてのご注意

判定結果は目安です。正常と判定された場合でもUPS取扱説明書の「バッテリーの点検」をご覧ください。交換時期になりましたら、お早めに購入先または当社までご連絡ください。

バッテリーテストができない状態

➤ 下記の①～⑦の状態のときは、バッテリーテストはできません。UPS取扱説明書「こんなときには・・・」をご覧ください。対処してください。

- ① インバータ停止中
- ② バイパス給電中
- ③ バッテリー運転中
- ④ バッテリーテスト実行中（自動、手動、電源管理ソフトウェアによるバッテリーテスト実行中は、バッテリーテストの操作はできません。）
- ⑤ UPS故障
- ⑥ バイパスブレーカトリップ
- ⑦ バッテリー電圧が右表の値未満

型名	バッテリー電圧
UPSS-10A3, 15A3	約 47V
UPSS-20A3, 30A3, 50A3	約 59V

バッテリーテストの中断について

➤ バッテリーテスト中にテストを中止する場合は・・・

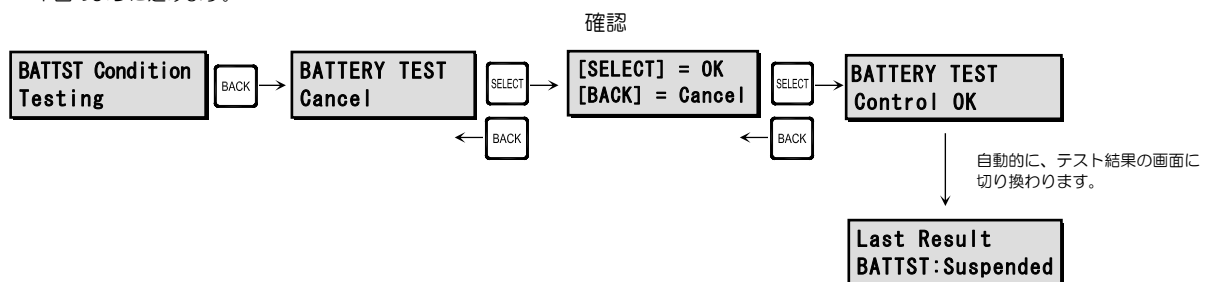
LCD画面に「Cancel」が表示されている状態で **SELECT** を押します。 ⇒ UPSは通常運転に戻ります。

➤ バッテリーテスト中に①～⑤のことが発生、または⑥～⑨の操作をした場合はバッテリーテストは中止されます。

- ① 入力（電圧、周波数）の異常
- ② UPS故障
- ③ 出力過電流
- ④ バイパスブレーカトリップ
- ⑤ バッテリー電圧低下発生
- ⑥ インバータ／バイパス切換スイッチを切り換えた。
- ⑦ **MAIN MCCB**を「OFF」にした。（UPSS-20A3, 30A3, 50A3の場合）
- ⑧ UPSのOFF操作をした。
- ⑨ 電源管理ソフトウェアでバッテリーテスト中止を実行。

※3. 「Control NG」が表示され、バッテリーテストが実行されなかったときは、UPSが上記のバッテリーテストができない状態になっている可能性があります。**BACK** で戻り、UPSの状態を確認し、再度操作をしてください。

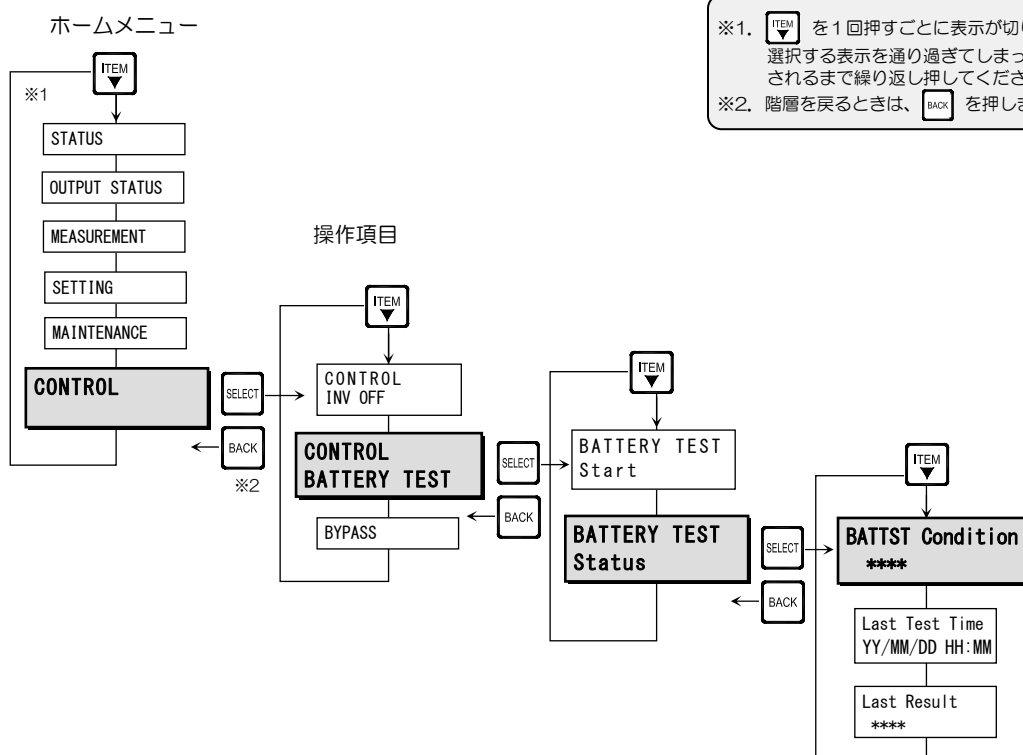
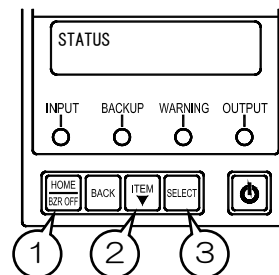
※4 バッテリーテストを中止するときは・・・
下図のように進みます。



4.3 バッテリテストの結果を見る

自動的に実施されたバッテリテスト、または手動で実施したバッテリテストの結果を見ます。

- ①  を押して LCD 画面を表示させます。
- ②  を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③  を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤  で操作する項目を切り換え、 で選択し、表示させます。



ポイント

- ※1.  を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。

バッテリテストの表示項目

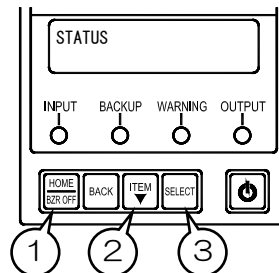
項目		内容	
表示	内容	表示	内容
BATTST Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能
		Impossible	テスト開始不可
		Testing	テスト中
Last Test Time	前回のバッテリテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
Last Result	前回のバッテリテスト結果	BATTST:OK	バッテリーは正常です。
		BATTST:NG	バッテリーが異常の可能性があります。
		BATTST:No Result	バッテリテストの前回履歴がありません。
		BATTST:Error	エラー発生。何らかの要因によりバッテリテストができませんでした。
		BATTST:Suspended	テストが中断されました。

- ⑥  でホームメニューに戻ります。

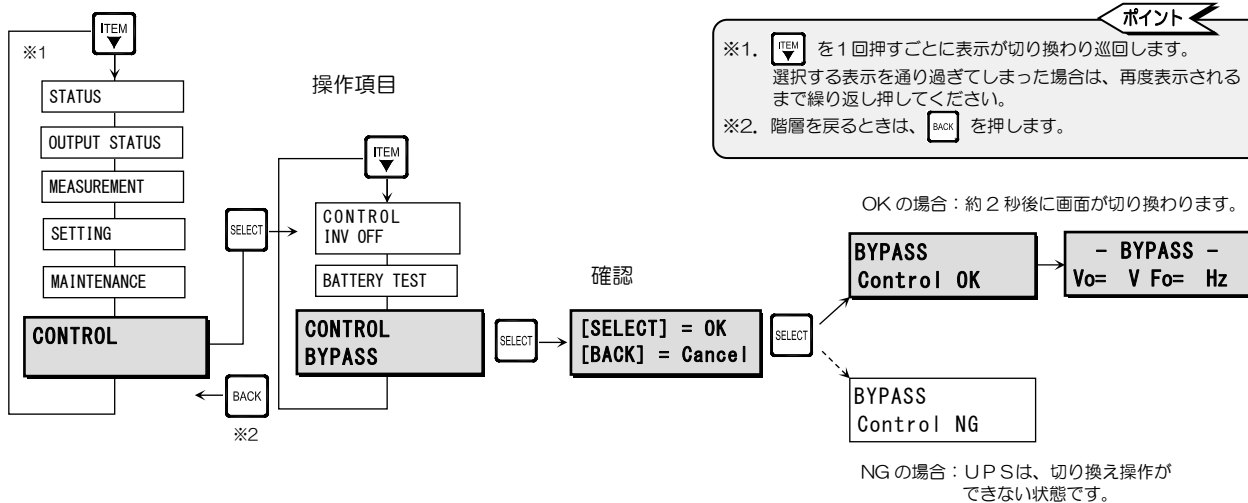
4.4 バイパス運転に切り換える

UPSの保守時、万一の故障時などに、下記の操作でバイパス運転に切り換えることができます。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤ で操作する項目を切り換え、 で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



ホームメニュー



バイパス運転切り換えについてのご注意

- UPSが故障し、出力が停止している場合は、上記の操作でバイパス運転へ切り換えることはできません。
- UPSが同期運転中は無瞬断でバイパス運転へ切り換わります。
- UPSの正面パネル内部にあるインバータ/バイパス切換スイッチの操作により、バイパス運転に切り換えることもできます。
- バイパス運転中に下記の状態になると出力供給が停止しますのでご注意ください。
 - または を「OFF」にした場合。(UPSS-20A3, 30A3, 50A3)
 - 入力過電圧になった場合。
 - 「3.10 入力異常時のバイパス給電切り換え 有効/無効 を設定する」で「Disabled」(無効)に設定した場合に、入力電圧が低下したとき、または入力周波数異常になったとき。
- バイパス運転中にUPSを停止(入力プラグを抜く、または を「OFF」)した後、再度起動した場合、UPSはバイパス運転にはならずスタンバイ状態になります。下記のAまたはBの操作をすると、インバータ運転になります。

バイパス運転からインバータ運転への切り換え方法

下記のAまたはBの操作でインバータ運転へ切り換えます。

- A. LCDパネルの ボタンを押してON操作をします。
- B. 「4.1 UPSを起動する または停止する」の 操作項目 で「CONTROL INV ON」を選択します。
操作手順は「4.1 UPSを起動する または 停止する」をご覧ください。

ただし、上記のAまたはB操作をしても、入力電圧が異常な場合はインバータ運転に切り換わりません。また、入力周波数が「3.2 周波数変動範囲を設定する」で設定した値(±1%, ±3%, ±5%, ±7%)の範囲内ないとインバータ運転に切り換わりません。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

5. メンテナンスメニュー（サービス員[※]用）

メンテナンスメニューは、UPSのメンテナンスをするときに使用するサービス員用のメニューです。メンテナンスメニューの項目は「6. メニュー一覧表」に記載されていますが、お客様は操作をしないでください。

操作方法はサービス員用の保守説明書に記載されています。

※ サービス員について

電気設備施工に関する専門知識を有するサービス技術員、または当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

6. メニュー一覧

1. STATUS / 状態

ホームメニュー	UPS 運転モード		状態表示			
	表示	内容	表示	内容	表示	内容
STATUS UPS の状態表示	STANDBY	待機中	Input Error	入力異常	Batt Life End	バッテリー寿命
	ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	Batt Life Warn	バッテリー寿命警告
	BYPASS	バイパス運転中	Input Vol High	入力過電圧	Batt Vol Error	バッテリー電圧異常 (軽故障)
	BATTERY	バッテリー運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	Batt Vol End	バッテリー放電終止
	BATT TEST	バッテリーテスト中	INV Vol High	インバータ過電圧 (重故障)	Batt Vol Low	バッテリー電圧低下
	SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Low	インバータ電圧低下 (重故障)	Over Load	過負荷
			Output Stop (HV)	バイパス出力断 (過電圧)	CHG Vol High	充電器過電圧 (重故障)
			Output Stop (LV)	バイパス出力断 (不足電圧)	CHG Vol Low	充電器不足電圧 (重故障)
			Byp MCCB Error	バイパスブレーカ異常 (軽故障)	Temp Warn	周囲温度警告 (軽故障)
			Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	FAN Error	ファン異常 (軽故障)
			Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	EEPROM Error	ROM 異常 (重故障)
			LF= % CHG= % ※1	負荷率 %、 バッテリー充電率 %	Arrestor Error	避雷器異常 ※2 (軽故障)
			LF= % Tim= m ※1	負荷率 %、 バッテリー残保持時間 分	LCD COM Error	UPS と LCD パネルの 通信異常 (軽故障)
			Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	DSP Error	コントローラ異常 (重故障)
			Remote	遠隔操作によるバッテリー テスト実行中	BUS Error	直流電圧異常 (重故障)
			Remote OFF	Remote OFF による 停止中	Fin Temp Error	フィン温度異常 (重故障)
			EPO ON	EPO による停止中	Minor Error	軽故障
			Wakeup Wait	復電時確認時限中	Fatal Error	重故障
			ChgRate Wait	充電率起動待ち中	Linked ON = s	連動 ON 遅延中
			Wakeup = s	スケジュール起動遅延中	Linked OFF= s	連動 OFF 遅延中
			Shutdown= s	スケジュール停止遅延中	Req To Restart	再起動要

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

※2. UPSS-10A3, 15A3 の場合は表示されません。

2. OUTPUT STATUS／出力状態

ホームメニュー	出力状態			
	表示	内容	表示※1	内容
OUTPUT STATUS 出力状態	OUT0, A, B, C	OUTPUT0,A,B,C コンセントの電力供給状態	ON	電力供給中
			OFF	電力供給停止
	OUT1	OUTPUT1 コンセント の電力供給状態	ON	電力供給中
			OFF	電力供給停止
			OUT1 ON OFF Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により OFF 遅延実行中
			OUT1 OFF ON Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により ON 遅延実行中
	OUT2	OUTPUT2 コンセント の電力供給状態	ON	電力供給中
			OFF	電力供給停止
			OUT2 ON OFF Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により OFF 遅延実行中
			OUT2 OFF ON Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により ON 遅延実行中

※1. 出力状態により、いずれかの状態が表示されます。

3. MEASUREMENT／計測

ホームメニュー	計測項目		計測値表示	
	表示	内容	表示	内容
MEASUREMENT 計測値表示	INPUT	入力計測値	Vin = V	入力電圧
			Fin = Hz	入力周波数
	OUTPUT	出力計測値	Vout = V	出力電圧
			Iout = A	出力電流
			Watt = kW	出力電力(W)
			VA = kVA	出力電力(VA)
			LF = %	負荷率
			Fout = Hz	出力周波数
	BATTERY	バッテリー計測値	Vbatt = V	バッテリー電圧
			ChgRate = % ※1	バッテリー充電率
			RunTm= Min ※1	バッテリー残保持時間
			Power Failure Times	停電発生回数
			Battery Life Years ※2	バッテリー残寿命が1年以上のとき
			Battery Life Days ※2	バッテリー残寿命が1年未満のとき
			Backup OPE. Time Sec.	バッテリー運転積算時間
	CHARGER	充電器計測値	Vchg = V	充電器電圧
			Ichg = A	充電器電流
	TEMPERATURE	温度計測値	T-Amb = °C	周囲温度

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

※2. バッテリーの残寿命が1年以上の場合は、「**Years」と年数で表示されます。1年未満のときは「**Days」と日数で表示されます。

4. SETTING/設定

(1/2)

ホームメニュー	設定グループ	設定項目		設定値		初期設定
		表示	内容	表示	内容	
SETTING 各種の設定	SET IN/OUT 入出力設定	Voltage	電圧 ★ *1 UPS の電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	100V 110V 120V	出力電圧100V 出力電圧110V 出力電圧120V	※
		FREQ Range	周波数変動範囲 ★ *1 出力周波数の変動範囲(%)を設定。	1% 3% 5% 7%	±1% ±3% ±5% ±7%	※
	SET I/F インタフェース設定	Interface	インタフェース 外部インタフェース部のコネクタ 使用時のインタフェースを設定。	Standalone WS Terminal	スタンドアロン ワークステーション ターミナル	※
		Baud Rate	通信ボーレート パーソナルコンピュータ、LAN インタ フェースカード、ワークステーション 接続時の通信ボーレートを設定。	9600 4800 2400	9600bps 4800bps 2400bps	※
	SET OPERATION 動作設定	Port Selection	PC I/F ポート の選択 使用する PC I/F コネクタを設定。	RS-232C USB	RS-232C コネクタ USB コネクタ	※
		Start Condition	復電時の動作 停電発生時、バッテリー放電終止 による UPS 停止後、商用電源が 復電した場合の UPS の動作を 設定。	Auto STOP BATT>30% BATT>50% BATT>80%	自動起動 停止 充電率30%以上で起動 充電率50%以上で起動 充電率80%以上で起動	※
	SET OPERATION 動作設定	BUZZER	ブザー音 ブザー音が鳴る条件を設定。	ALL Group #0 Group #1 Group #2 SILENT	すべて グループ0 グループ1 グループ2 停止	※
		OVERLOAD	過負荷時の動作 過負荷によるバイパス給電への 切換え後の動作を設定。	Auto Ret BYP Stay on BYP	バイパス自動復帰 過負荷時バイパス給電	※
	SET OPERATION 動作設定	Output @OFF	OFF 時 ★ *1 給電状態 UPS 停止時の給電状態を設定。	OFF BYPASS	出力停止 バイパス給電	※
		Byp OPE. @InputLV	入力異常時の バイパス給電 入力異常時のバイパス給電への 切り換え 有効/無効を設定。	Enabled Disabled	有効 無効	※
	SET OPERATION 動作設定	MinorErr Signal	軽故障時の転送 信号 軽故障発生時に転送信号を送出 する/しないを設定。	Output None	送出する 送出しない	※
		Test Err Signal	装置異常の擬似 転送信号送出 試験用の装置異常の転送信号を送 出。	Output None	送出する 送出しない	※
	SET OPERATION 動作設定	Tst BatLV Signal	バッテリーLVの擬 似転送信号送出 試験用のバッテリー電圧低下の転送 信号を送出。	Output None	送出する 送出しない	※
		Bat Start Freq.	バッテリー起動時 出力周波数 バッテリー電力で起動するときの 出力周波数を設定。	50Hz 60Hz	50Hz 60Hz	※
	SET BATTERY バッテリー設定	BATLV Timing	バッテリーLV タイミング バッテリー電圧低下警告の 発生タイミングを設定。	Voltage 2 Min. 3 Min. 5 Min. 10 Min.	バッテリー電圧レベル検出 バッテリー容量残り2分 バッテリー容量残り3分 バッテリー容量残り5分 バッテリー容量残り10分	※
		BATT TST Length	バッテリーテスト 時間 バッテリーテストの実行時間を設定。	2 Min 5 Min. 10 Min. 15 Min. 30 Min. 90 Min.	2分間実行 5分間実行 10分間実行 15分間実行 30分間実行 90分間実行	※
	SET BATTERY バッテリー設定	BATT TST Period	バッテリーテスト 周期 自動的に実施されるバッテリー テストの期間(日数)を設定。	180 Days 90 Days 30 Days None	180日で自動テスト 90日で自動テスト 30日で自動テスト 自動テストしない	※

ホームメニュー	設定グループ	設定項目		設定値		初期 設定
		表示	内容	表示	内容	
SETTING 各種の設定	SET FUNCTION1 機能設定 1	Output Ctrl	系統コントロール有無 ★ *1, *2	出力コンセントの系統コントロール有効/無効の設定	Enabled 有効 Disabled 無効	※
		OUTPUT0 OPE.	OUTPUT0の動作 *2	OUTPUT1,2コンセント停止後のOUTPUT0の動作を設定。	Stop 給電停止 Continue 給電継続	※
		OUT1 ON Delay	OUTPUT1 ON遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT1コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	0 Sec. 0秒 5 Sec. 5秒 30 Sec. 30秒 1 Min. 1分 5 Min. 5分 10 Min. 10分	※
		OUT2 ON Delay	OUTPUT2 ON遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT2コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	0 Sec. 0秒 6 Sec. 6秒 35 Sec. 35秒 1 Min.30 Sec 1分30秒 5 Min.30 Sec 5分30秒 10 Min.30 Sec 10分30秒	※
		OUT1 OFF Delay	OUTPUT1 OFF遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS停止後、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントから電力供給を停止するタイミングを設定。	0 Sec. 0秒 10 Sec. 10秒 30 Sec. 30秒 1 Min. 1分 3 Min. 3分 5 Min. 5分	※
		OUT2 OFF Delay	OUTPUT2 OFF遅延時間 *2			
		OUT1 RUN TIM @PF	OUTPUT1 停電時運転時間 *2	停電発生時、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントがバックアップを開始してから電力供給を停止するまでの時間を設定。	BATT END 放電終了まで 0 Sec. 0秒 30 Sec. 30秒 1 Min. 1分 3 Min. 3分 5 Min. 5分	※
		OUT2 RUN TIM @PF	OUTPUT2 停電時運転時間 *2			
		Linked ON Delay	連動ON遅延時間 *3	複数台のUPSを連動運転する場合のON/OFF遅延時間を設定。	0 Sec. 0秒 10 Sec. 10秒 30 Sec. 30秒 1 Min. 1分 3 Min. 3分 5 Min. 5分 10 Min. 10分 15 Min. 15分	※
		Linked OFF Delay	連動OFF遅延時間 *3			
	SET FUNCTION2 機能設定 2	RING Output	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する/しないを設定。	Output 出力する None 出力しない	※
		Polarity:PF	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性を設定。	Positive 正 Negative 負	※
		Polarity:BatLV	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性を設定。	Positive 正 Negative 負	※
		Recov. Chk Time	復電時確認時間	復電時、商用電源が復旧したとUPSが認識するまでの時間を設定。	0 Sec. 0秒 10 Sec. 10秒 30 Sec. 30秒 60 Sec. 60秒	※
		Air Filter	エアフィルタ使用の有無	エアフィルタを使用する/しないを設定。	Use 使用する No Use 使用しない	※
		Out Vol Adj.	出力電圧調整	定格電圧に対する調整値を設定。 1段階で約1Vの調整。	-5 5段階マイナス -4 4段階マイナス -3 3段階マイナス -2 2段階マイナス -1 1段階マイナス 0 調整しない +1 1段階プラス +2 2段階プラス +3 3段階プラス +4 4段階プラス +5 5段階プラス	※
	SET SYSTEM システム設定	DATE/TIME	年月日/時刻	UPSの時刻を設定。	DATE YY/MM/DD 月日 年/月/日 TIME HH:MM:SS 時刻 時:分:秒	
	SET DEFAULT 設定値 初期化	SET DEFAULT	工場出荷時の状態にリセット。	—	—	—

ご注意

- *1. 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。
設定変更をした場合は「3.36 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。
UPSの運転操作の詳細はUPS取扱説明書をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。
- *2. UPSS-20A3, 30A3, 50A3の場合、系統コントロール機能はオプションのコンセントボックスを接続した場合に利用できます。
「3.18 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「有効」に設定されていないと、「3.19」～「3.25」の機能が有効になりません。
- *3. UPSを複数台接続し連動運転をする場合は、オプションの接続ケーブル、リモートスイッチが必要です。

5. CONTROL／操作

ホームメニュー	操作項目		表示項目		表示内容			
	表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容
CONTROL UPSの操作	INV ON	UPSの起動	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	起動 取り消し	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了
	INV OFF	UPSの停止	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	停止 取り消し	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了
	BATTERY TEST	バッテリーテスト	Start	テスト実行	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	実行する 取り消し	Control NG Control OK	実行中止 正常終了
			Cancel (バッテリーテスト中)	テスト中止	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	中止する テスト継続	Control NG Control OK	実行中止 正常終了
			STATUS	テスト状態	BATTST Condition	テスト状態	Possible Impossible Testing	テスト開始可能 テスト開始不可 テスト中
					Last Test Time	前回テスト実施日	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分
					Last Result ※1	前回のテスト結果	BATTST:OK BATTST:NG BATTST: No Result BATTST:Error BATTST:Suspended	正常 異常 前回履歴なし エラー 中断
	BYPASS	バイパス運転 切り換え	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	切り換える 取り消し	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了

6. MAINTENANCE／保守（サービス員専用）

ホーム メニュー	操作グループ	表示項目		項目							
		表示	内容								
MAINTENANCE メンテナンス	SYSTEM システム	FAIL HIST	故障履歴	HIST # (1～20)	故障履歴表示 最大 20 件まで保存						
		OPE. HIST	操作履歴	HIST # (1～30)	操作履歴表示 最大 30 件まで保存						
		INTERNAL INFO.	バッテリー情報	BATTERY INFO.	バッテリー情報	Power Failure Times		停電発生回数			
						Battery Life Hours		バッテリー寿命			
						INV OPE. Time Hours		UPS 運転積算時間			
						Backup OPE. Time Sec.		バッテリー運転積算時間			
						Last Test Time YY/MM/DD HH:MM		前回のテスト実施日			
						Last Result ※1		前回のテスト結果			
				RESET BATT INFO.		バッテリー情報リセット					
		BATT. CAPA	バックアップ時間設定			STD	増設バッテリーなし		初期設定は UPS型番に より異なります。		
						設 定 値	30/25Min	30または25分			
						60/50Min.	60または50分				
		BATT. Life	バッテリー寿命設定			120Min.	120分				
						180Min.	180分				
		Unit INFO.	システム情報			設定 値	5Years	5年			
						10Years	10年				
				UPS Model	UPSモデル名	Pow Dist Num	出力系統数				
				ROM Ver.	プログラムバージョン	Always Out	常時出力の有無				
				Run Time	定格バックアップ時間	Serial ID	シリアル番号				
				Out Capa	定格容量	P1-CONT Ver.	CONTプログラムバージョン				
				Input Phases	入力相数	P3-LCD Ver.	LCDプログラムバージョン				
				Output Phases	出力相数	P8-I/F Ver.	I/Fプログラムバージョン				
Rated voltage	定格入力電圧	—	—								

※1. 「MAINTENANCE」メニューの Last Result の項目は、「CONTROL」メニューの Last Result と同じです。

7. 状態表示説明

ホームメニュー「STATUS」でLCD画面に表示されるUPS状態の詳細は下表のとおりです。
お客様で対応できない場合、UPSの故障時は、購入先または当社までご連絡ください。

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
STANDBY	待機中	Input Error	入力異常	入力電源の瞬断が検出されました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態を確認してください。
ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	入力電源が許容周波数範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態を確認してください。
BYPASS	バイパス運転中	Input Vol High	入力過電圧	入力電源が許容電圧範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
BATTERY	バッテリー運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	
BATT TEST	バッテリーテスト中	INV Vol High	インバータ過電圧（重故障）	インバータ出力電圧の異常が検出されました。
SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Low	インバータ電圧低下（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Output Stop (HV)	バイパス出力断（過電圧）	バイパス運転中に入力過電圧が検出されたため、給電が停止しました。
		Output Stop (LV)	バイパス出力断（不足電圧）	バイパス運転中に入力電圧低下が検出されたため、給電が停止しました。
		Byb MCCB Error	バイパスブレーカ異常（軽故障）	バイパスブレーカ [BYPASS MCCB] が「OFF」になっています。または、出力の過負荷、短絡によりバイパスブレーカがトリップしています。接続している負荷機器を減らしてください。
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	出力電圧、出力周波数
		Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	入力電圧、入力周波数
		LF= % CHG= % ※1	負荷率 %, バッテリー充電率 %	負荷率 %, バッテリー充電率 %
		LF= % Tim= m ※1	負荷率 %, 放電時間 分	負荷率 %, 放電時間 分
		Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	インバータ/バイパス切換スイッチが「BYP」になっています。
		Over Load	過負荷	UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を超えています。接続している負荷機器を減らしてください。
		Remote	遠隔操作によるバッテリーテスト実行中	電源管理ソフトウェアからの遠隔操作により、バッテリーテスト実行中です。
		Remote OFF	Remote OFF による停止中	リモートOFF信号が入力されているため、インバータの起動操作が中止されました。
		EPO ON	EPO による停止中	EPO 信号が入力されているため、インバータの出力が停止しています。
		Req To Restart	再起動要	UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された後、再起動されていません。「3.36」をご覧ください。UPSを再起動してください。
		Batt Life End	バッテリー寿命	バッテリーの寿命です。バッテリーを交換してください。
		Batt Life Warn	バッテリー寿命警告	バッテリーの余命が残り半年です。バッテリー交換の準備をしてください。
		Batt Vol Error	バッテリー電圧異常（軽故障）	バッテリーパックが接続されていません。バッテリーパックを確実に搭載してください。接続に異常がない場合は、バッテリーが劣化しています。バッテリーを交換してください。
		Batt Vol End	バッテリー放電終止	バッテリー放電終止です。
		Batt Vol Low	バッテリー電圧低下	バッテリー電圧が低下しています。
		Temp Warn	周囲温度警告（軽故障）	UPS周囲の温度が使用範囲を超えています。周囲温度を適切な温度にしてください。
		Linked ON = s	連動 ON 遅延中	連動運転時のON遅延時間設定によりON遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは起動します。
		Linked OFF= s	連動 OFF 遅延中	連動運転時のOFF遅延時間設定によりOFF遅延実行中です。設定時間経過後、UPSは停止します。
		ChgRate Wait	充電率起動待ち中	復電時のUPS起動条件が充電率に設定されている場合の充電中の状態です。設定された充電率になるとUPSは起動します。
		Wakeup Wait	復電時確認時限中	復電時、UPSが復電したと判断するまでの確認時間の待機中です。
		Wakeup = s	スケジュール起動遅延中	電源管理ソフトウェアのスケジュール運転の設定によりON遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは起動します。
		Shutdown= s	スケジュール停止遅延中	電源管理ソフトウェアのスケジュール運転の設定によりOFF遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは停止します。
		CHG Vol High	充電器過電圧（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		CHG Vol Low	充電器不足電圧（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		LCD COM Error	UPSとLCDパネルの通信異常（軽故障）	UPSとLCDパネルの通信に異常が発生しています。購入先または当社へご連絡ください。
		EEPROM Error	ROM異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Arrestor Error	避雷器異常※2（軽故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		DSP Error	コントローラ異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		BUS Error	直流電圧異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		FAN Error	ファン異常（軽故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		FIN Temp Error	フィン温度異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Minor Error	軽故障	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Fatal Error	重故障	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

※2. UPSS-10A3, 15A3 の場合は表示されません。

8. 計測情報表示について

バッテリー充電率表示について

- (1) バッテリーは出荷時に充電されていますが、UPS初起動時、LCDパネルでバッテリー充電率「ChgRate = %」を表示させると「0%」と表示されます。充電率はUPSの運転時間に応じて増加しますので、UPS取扱説明書「使用前の準備をする」の項目をご覧ください。UPSを運転してください。充電率が100%と表示されるまでの時間は、接続されているバッテリーの構成により異なります。
- (2) UPSのバッテリーが十分に充電されている場合でも、UPSをいったん停止させてから再度運転すると、充電率「ChgRate = %」が80%または90%と表示されることがあります。これは周囲温度などの環境に影響されるため、1～2時間程UPSを運転すると正常に表示されます。
- (3) バッテリーが正しく接続されていない状態でUPSを運転すると、充電率「ChgRate = %」が正常に表示されません。この状態のときは、バッテリーを正しく接続し直し再度UPSを運転しても正常な値はすぐに表示されません。UPSを12時間以上通常運転すると正常な値が表示されます。なお、正常な値が表示されるまでの時間は、UPSの仕様（バッテリーの構成）により異なります。
- (4) 表示される充電率「ChgRate = %」は目安です。実際の充電率と異なる場合もあります。

バッテリー残保持時間について

- (1) バッテリー残保持時間「RunTm = Min.」は、負荷率が30%以下の場合、正確に表示されないことがあります。
- (2) 表示されるバッテリー残保持時間「RunTm = Min.」は目安です。実際の保持時間と異なる場合もあります。
- (3) 計画停電などが予定されている場合は、予定時間の12時間以上前にバッテリーテストを実施し、実際にバックアップできることを確認してください。バッテリーテストについては「4.2 バッテリーテストをする」をご覧ください。



【本社】〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第3ビル

TEL : 03-5833-4061 FAX : 03-3861-0920

テクニカル・サポートグループ

【中部支店】〒464-0074

名古屋市千種区仲田 2-15-12 ワークビル 4F

TEL : 052-734-9200 FAX : 052-734-9500

【北海道営業所】〒060-0004

札幌市中央区北4条西 12-1-28 北4条ビル 7F

TEL : 011-280-0015 FAX : 011-280-0016

【西日本支店】〒532-0011

大阪市淀川区西中島 6-11-25 第10新大阪ビル 6F

TEL : 06-6838-4881 FAX : 06-6838-4882

【九州営業所】〒812-0011

福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第7岡部ビル 3F

TEL : 092-481-3441 FAX : 092-481-3442

[http:// www.ups-sol.com/](http://www.ups-sol.com/) support@ups-sol.com

受付時間 平日 9:00~18:00 (当社休日を除く)

本取扱説明書に記載された会社名と商品名は、それぞれ各社の称号、商標または登録商標です。

※本取扱説明書記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各種ダウンロード URL <http://www.ups-sol.com/download/index.html>